

ORIGAMI

TANTEIDAN

折紙探偵団

M A G A Z I N E

【イベント速報】吉野一生基金 海外招待者決定!

定価 500円

第5回 折紙探偵団コンベンション

The 5th Origami Tanteidan Convention



【新装刊記念連載1】Tomoko in the Box

Tomokoのびっくり箱

Fuse Tomoko

布施 知子

【新装刊記念連載2】Tomoko's Shikishi-hyakka

ともこさんの色紙百花

Tanaka Tomoko

田中 具子

【新装刊記念連載3】Dr.Lang's Plactical Gemetry

ラング博士の役に立つ幾何学

Robert ·J ·Lang

ロバート・J・ラング

【新装刊記念座談会】10 Years of Tanteidan

折紙探偵団歩んで来れた10年間

今回の
折り図

Kangaroo Plesiosaur Rabbit

カンガルー／プレシオサウルス／うさぎ

Nishikawa Seiji

西川 誠司

通巻

55号

号

創刊のあいさつ

お待たせいたしました。雑誌「折紙探偵団」をお届けします。

折紙探偵団はこれまで、皆様のご支援に支えられて発展を続けながら10年目を迎えることができました。これを機に「折紙探偵団」は団体名を改称して、新しく下記の理念を掲げた「日本折紙学会」を再組織し、機関誌「折紙探偵団」の発行団体とすることといたしました。これは、コンベンションなどの企画について会場や教育委員会など公共機関等と折衝する際、「折紙探偵団」なる団体名が予想以上に障壁となる実状に対応してのことではありますが、折紙探偵団のこれまでの実際の活動やここに掲げた理念は、「日本折紙学会」と称するにけして遜色ないものと考えております。

団体名は改称いたしますが、愛着のある「折紙探偵団」は雑誌の名称として残し、定期購読者の皆様が今まで通り「団員」と通称していただくことは大歓迎です。また、折紙探偵団新聞54号でお願い申し上げました賛助会費を単に会費と称し、これをお納めいただきました方々を「日本折紙学会」の会員と位置付けさせていただきたいと考えております。何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。「日本折紙学会」の詳細な規約につきましては、現在、草案を作成中であり、年内には誌上でお知らせできると存じます。

お陰をもちまして、会員約100名、定期購読者約1500名で新たなスタートをきることができました。まだまだ、ご期待に添えるほどの力はありませんが、これまで同様、折り紙愛好家の皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

日本折紙学会設立委員会メンバー

岡村昌夫、川崎敏和、川畑文昭、木村良寿、西川誠司、羽鳥公士郎、布施知子、北條高史、前川淳、山口真

Here we send the first issue of ORIGAMI TANTEIDAN magazine. When we reached our tenth year with your support, we Origami Tanteidan decided to change our name to Japan Origami Academic Society. The name Origami Tanteidan will remain as the name of this magazine. To be a member of JOAS, pay the membership fee (described as "supporting membership fee" in the subscription sheet) besides the subscription fee. We will announce the detail soon. We have made a new start with 100 members and 1000 subscribers. We would like to ask you all origami-lovers to support us as before. Thank you.

The founder members of Japan Origami Academic Society : Okamura Masao, Kawasaki Toshikazu, Kawahata Fumiaki, Kimura Yoshihisa, Nishikawa Seiji, Hatori Koshiro, Fuse Tomoko, Hojo Takashi, Maekawa Jun, Yamaguchi Makoto

日本折紙学会 (JOAS) の理念

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

No. 55

C O N T E N T S

■ 新装刊記念連載1

TOMOKOのびっくり箱 4
Tomoko in the Box

奇数角形編 7角形基本／七角箱ふた・ねじり・花／ショートエッセイ
Odd Polygons
布施知子 Fuse Tomoko

■ 新装刊記念連載2

ともこさんの色紙百花 8
Tomoko's Shikishi-hyakka

がく紫陽花 Hydrangea
田中具子 Tanaka Tomoko

■ 新装刊記念連載3

ラング博士の役に立つ幾何学 14
Dr.Lang's Useful Geometry

Folding Proportions 比を折る
ロバート・J・ラング Robert.J.Lang

■ 新装刊記念座談会

折紙探偵団 歩いて来れた10年間 11
10 Years of Tanteidan

出席者：木村 良寿、西川 誠司、山口 真
司会者：前川 淳

■ つまみおり

第5回 折紙探偵団コンベンション 36
5th Origami Tanteidan Convention
～吉野一生基金 海外招待者決定～

■ リニューアル連載陣

日本の折り紙史を読む 16
A Brief History of Paperfolding in Japan
第1回 日本折り紙前史
岡村昌夫 Okamura Masao

折紙散歩 — 東京路上観察編 — 18
Origai San-po (Origami Walk)–Tokyo Rojou Kansatu–
前川 淳 Maekawa Jun

■ 新企画登場

折り紙テクニック講座 22
The tecnic of Paper Folding
FILE 01: 古紙染色法／高井弘明
Dyeing Used Paper / Takai Hiroaki

神谷くんの展開図折りに挑戦! 35
Crease Pattern Challenge
エンシェントドラゴン／神谷哲史
Ancient Dragon / Kamiya Satoshi

今回の折り図

カンガルー
Kangaroo
プレシオサウルス
Plesiosaur
うさぎ
Rabbit

P.24
西川誠司
Nishikawa Seiji



■ カラーページ Photogravure

がく紫陽花 田中具子／恐竜折り紙 高井弘明／エン
シェントドラゴン 神谷哲史／カンガルー 西川誠司 20



奇数角形編

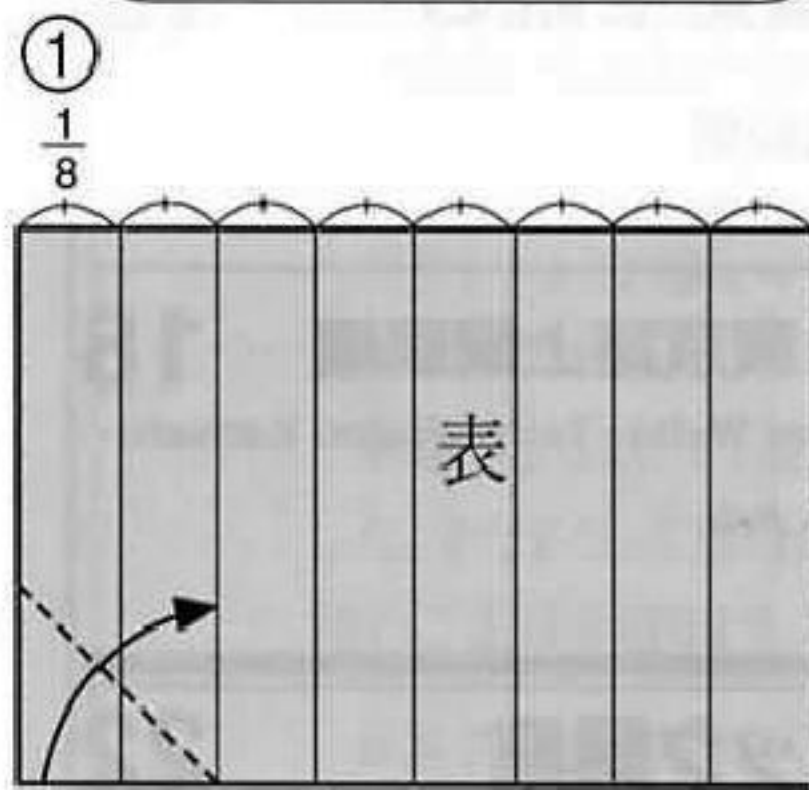
Odd Polygons

布施知子 Fuse Tomoko

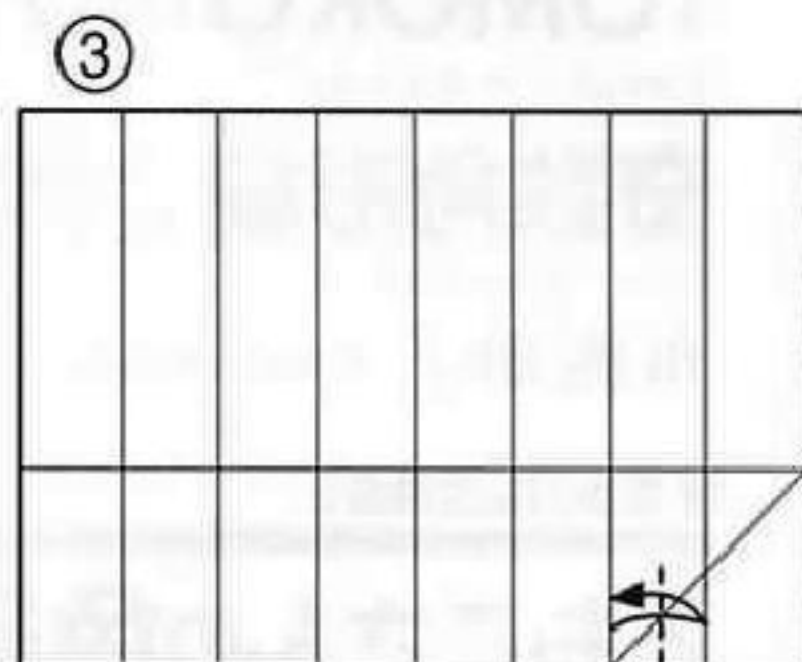
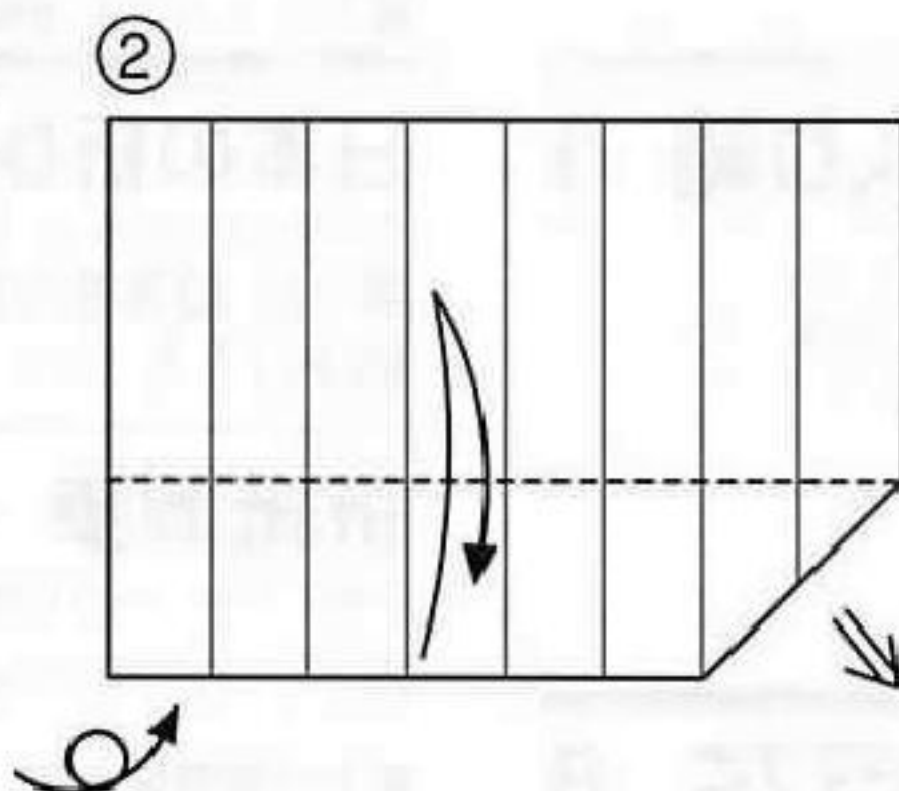
昨年のコンベンションで5角箱を披露したので、連載第一回は7角箱です。以降9角、11角と進み、3角5角と戻り、さてそれからどうなりますか、お楽しみに。7角箱は誤差を含んでいますが、できあがりは気になりません。



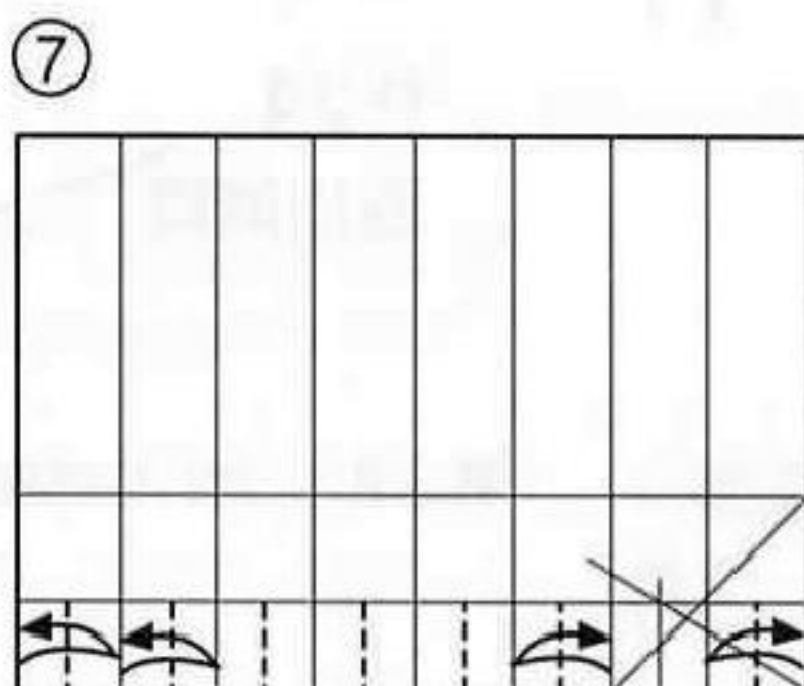
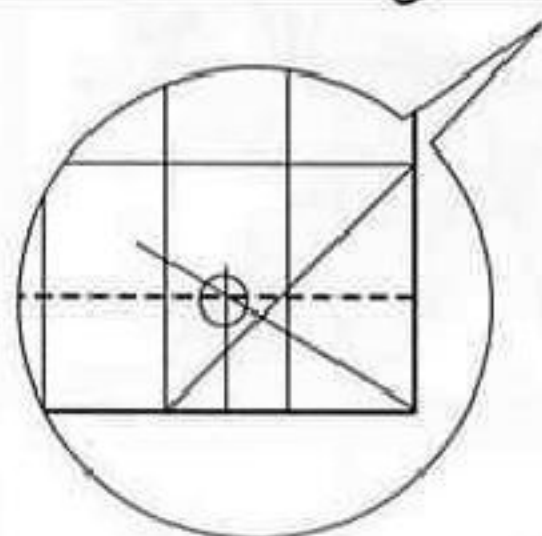
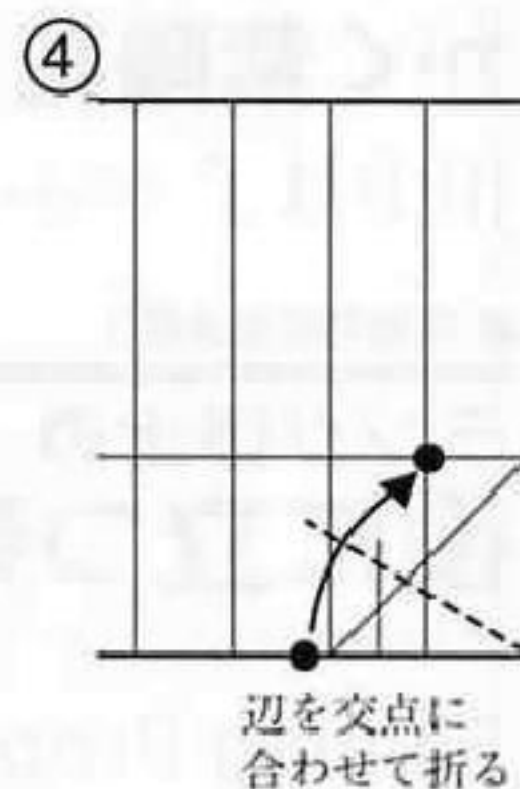
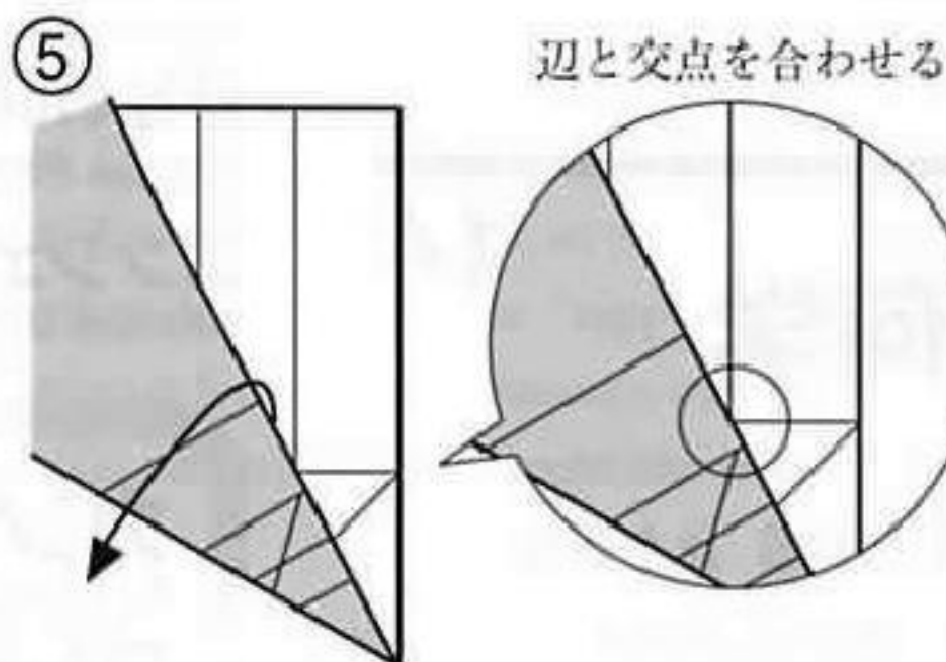
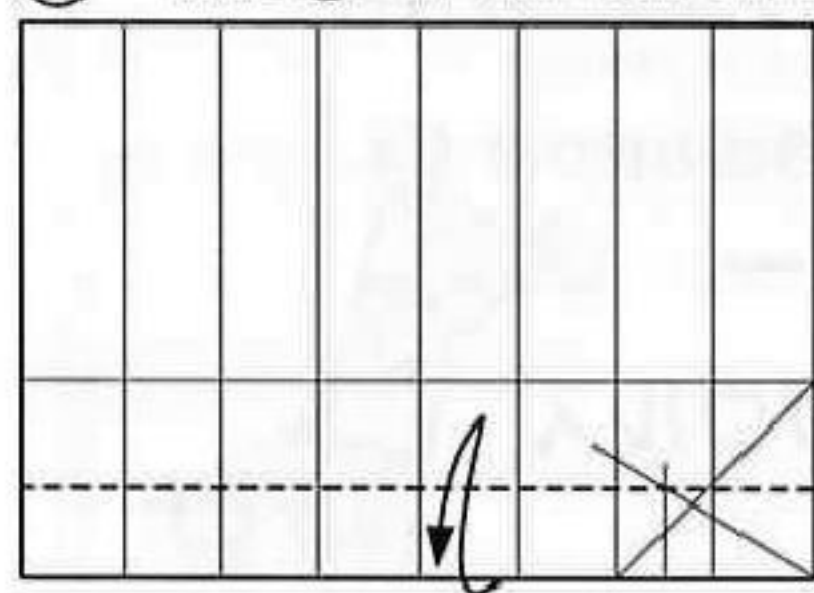
初めはA4版 (210×297mm)
くらいの紙で練習するとよい



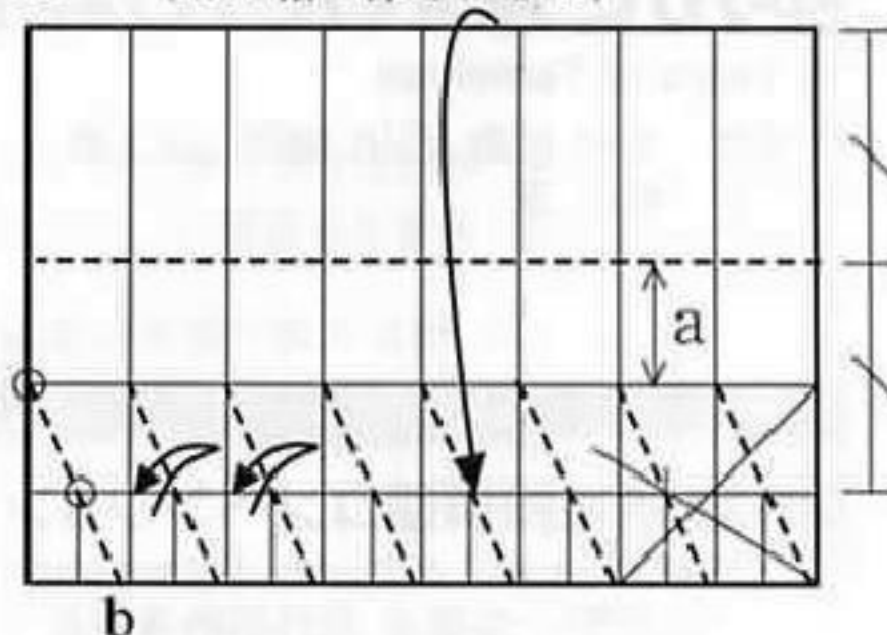
辺を8等分し、山線谷線
両方の折り線をつける



⑥ 縦線と⑤の折り線の交点で折る



⑧ ○印の所で折る。bは少しずれる
(aが箱の深さになる)

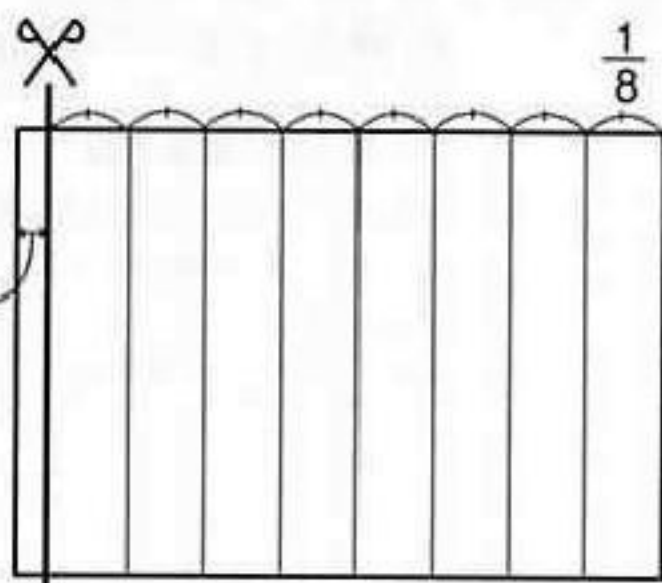


[ひと組みの箱にするための寸法]

A 4 の同じ大きさの紙から作るとして説明してあります。

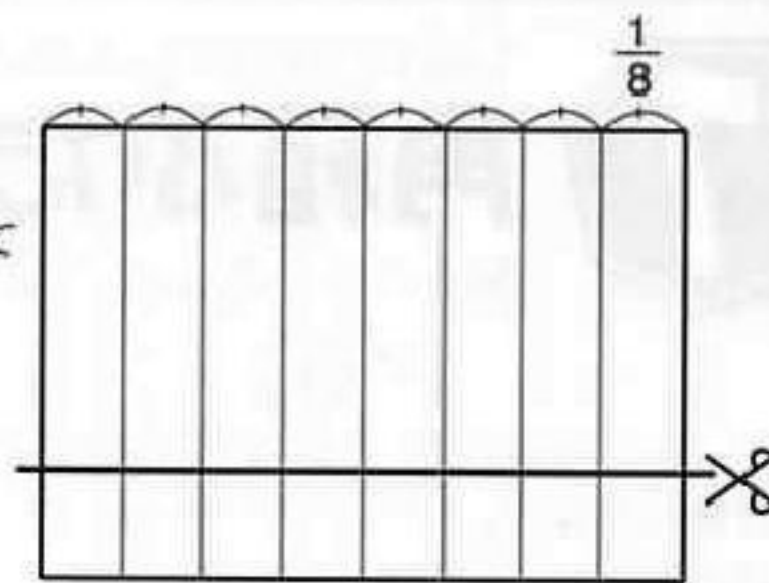
▶ 本体 ◀

ふたより小さく
するためはじを
1cm 位切り取る

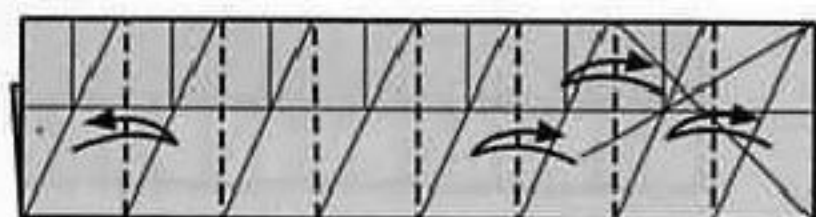


▶ ふた ◀

本体との寸法を考えて
下を適当に切り取る
(1/4 くらいがよい)

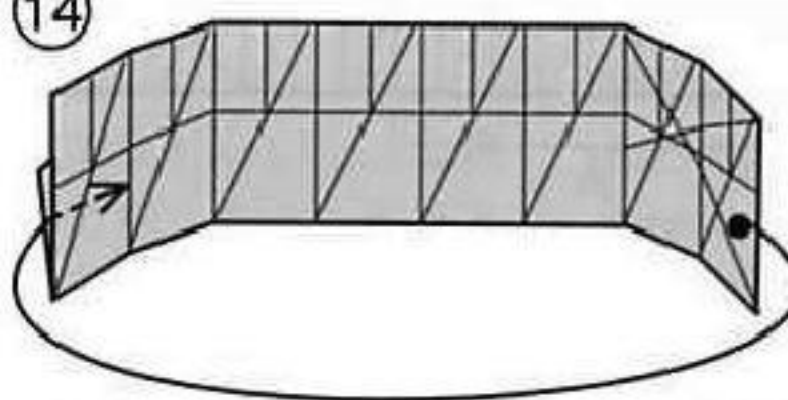


⑬

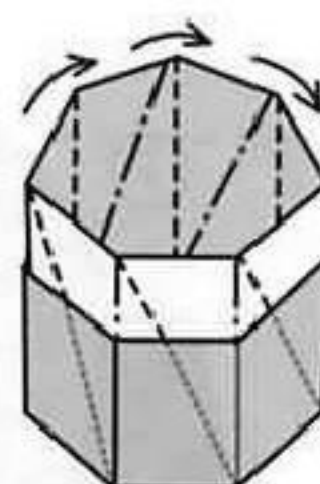


内側と外側をいっしょに
図のような折り線をつける

⑭

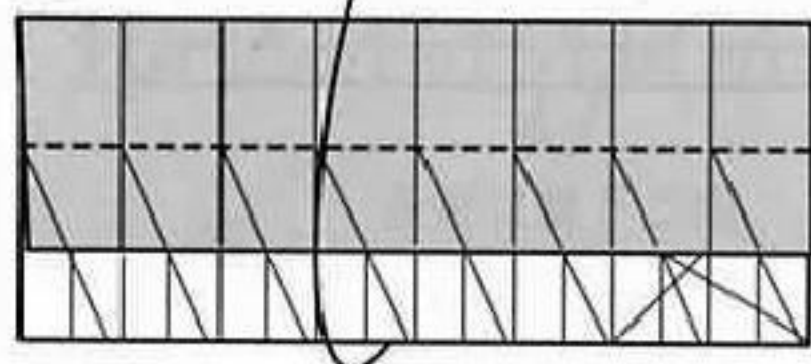


端をはさんで7角の輪にする

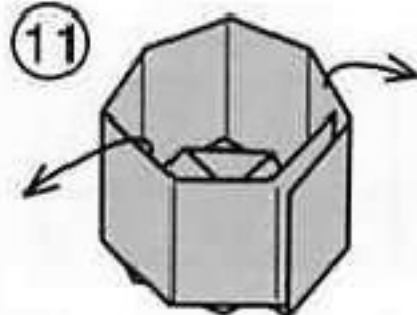


ねじって底を
平らにする

⑫

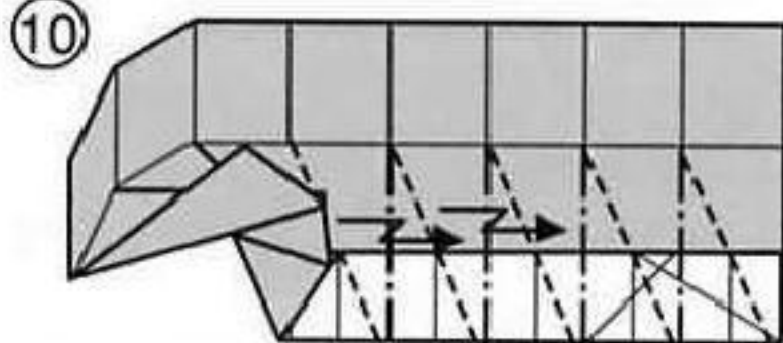


⑪



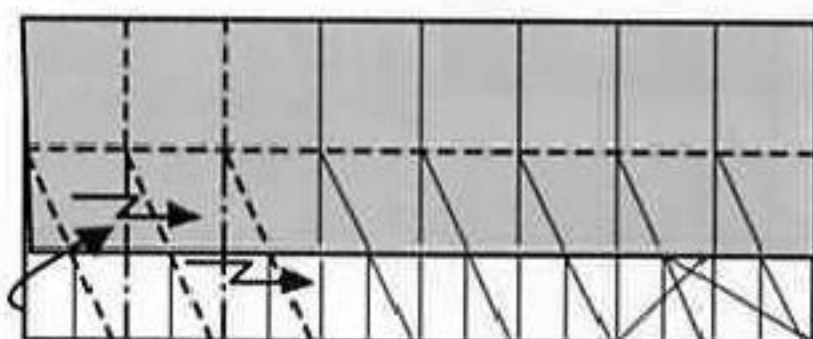
いったん開く

⑩



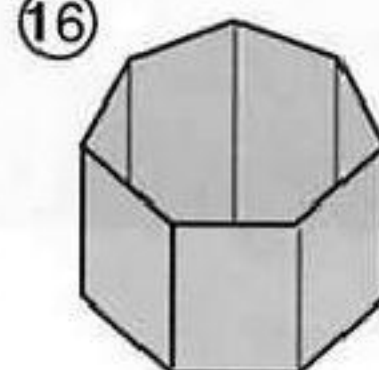
順に折り、ひとつ重ねて
7角にする

⑨

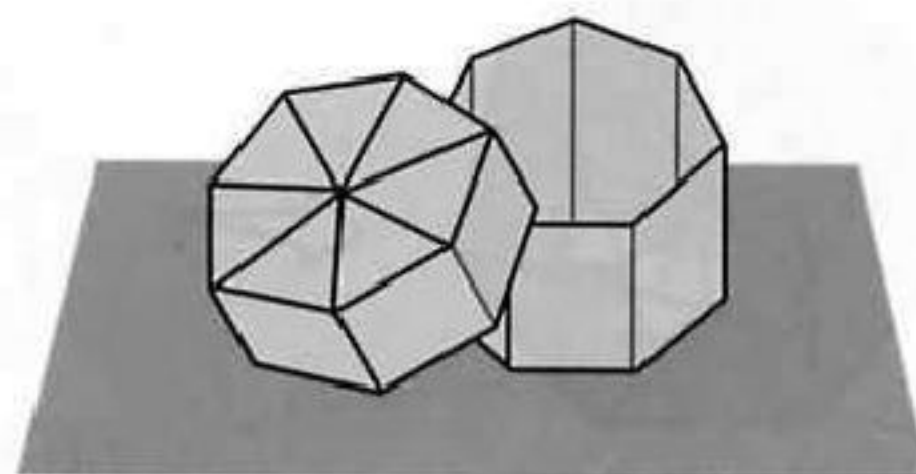


ひだを寄せて折っていく

⑮

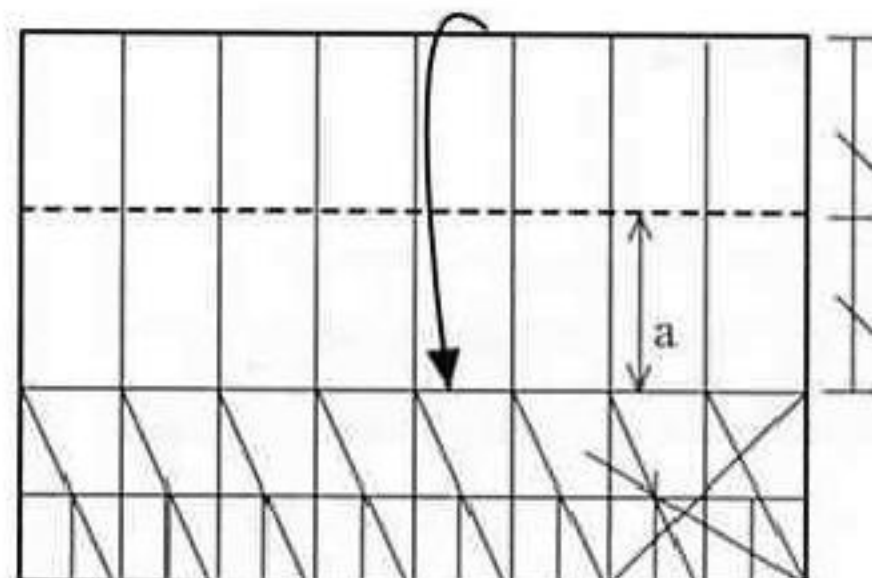


(底の内側)



⑧

▶ 厚い紙のとき ◀



以下⑨につづく

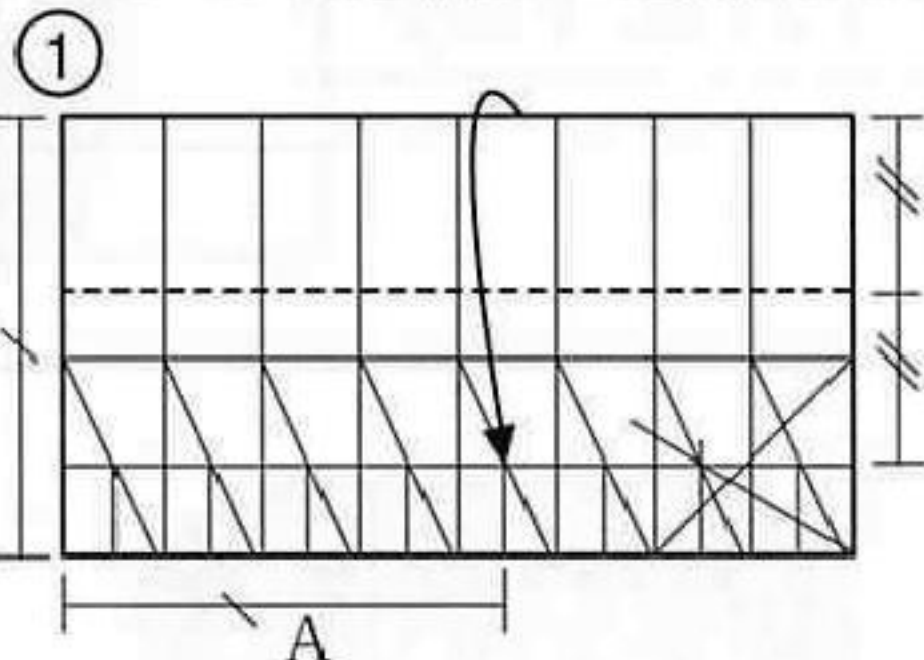


Lid of heptagon box Twist · Flower

角箱ふた ねじり・花

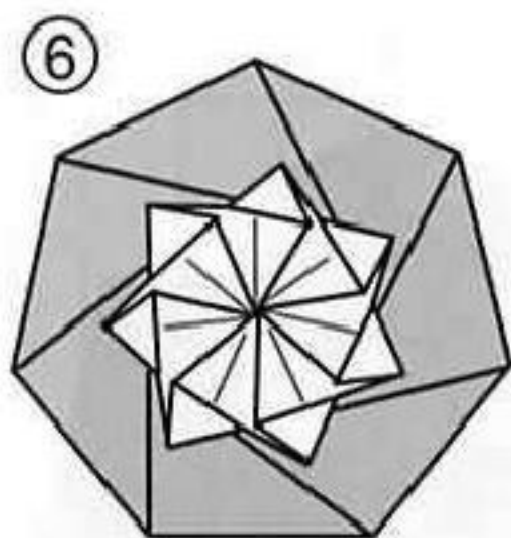
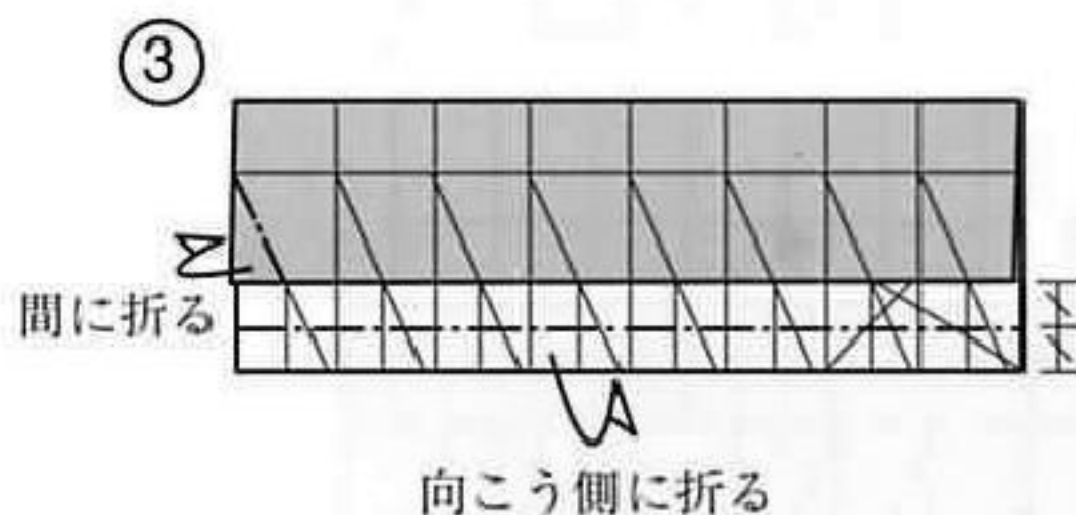
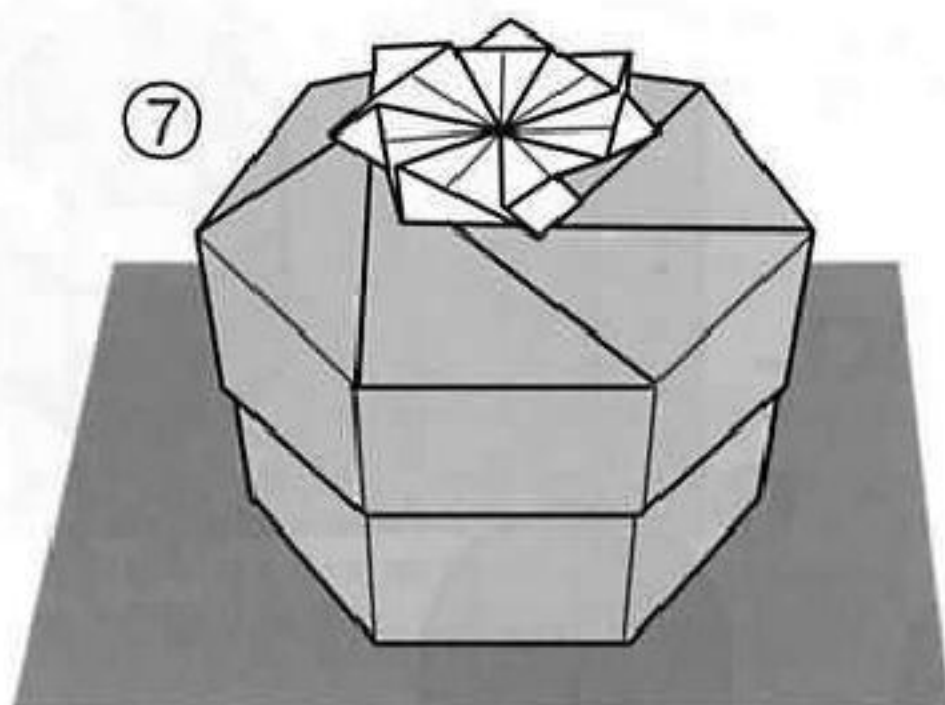
飾りのついたふたです。今回は二種類紹介します。

本体の⑧から。
紙の大きさの
目安は図のよ
うにしました。

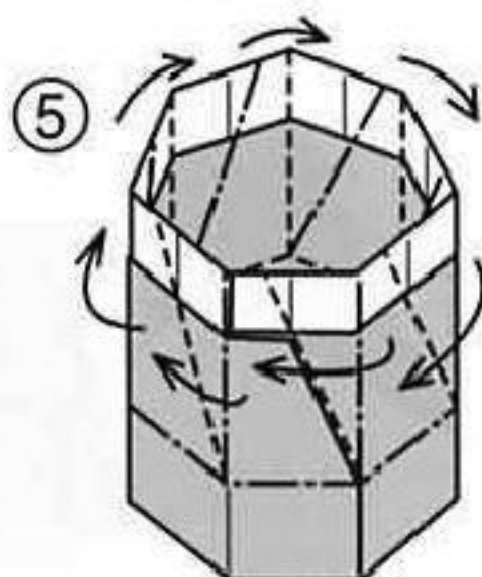


▶ねじり◀

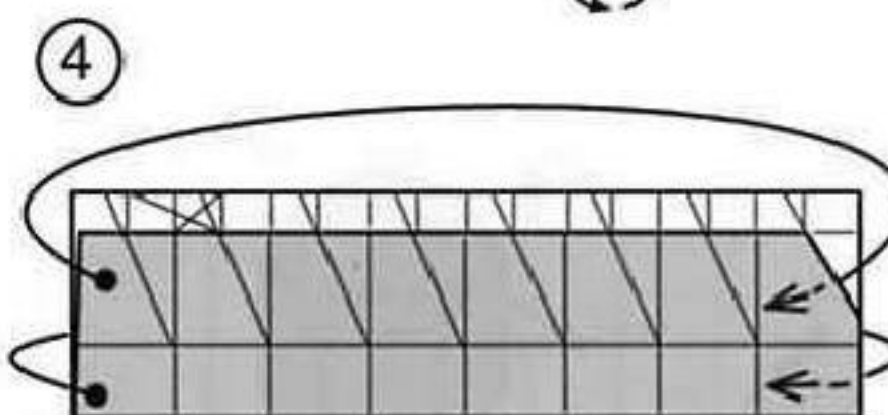
図のような折り線をつける



[真上から見た図]



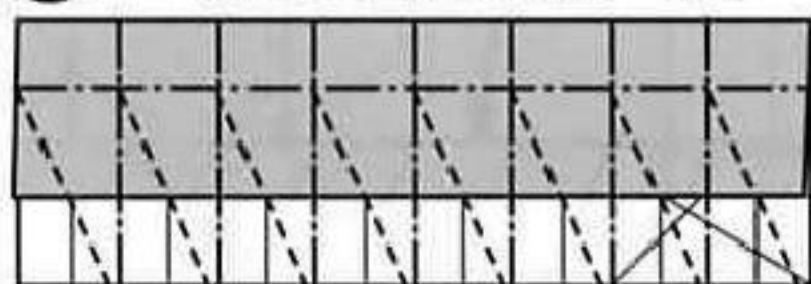
ねじって上を平らにする



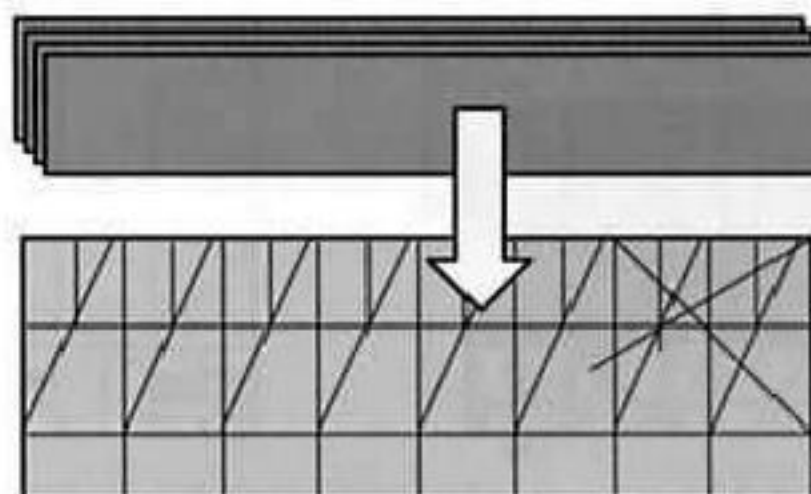
端をはさんで7角の輪にする。
上もはさむ。

▶花◀

② 図のような折り線をつける



③



典具帖紙など、ごく
薄い紙を数枚重ねて、
下だけ軽くのりづけ
する。
テープでとめてもよ
い。

「クレスリングさんとの散歩」

「明日、伺ってもいいか？」
突然、ビルタ・クレスリングさんから電話があった。クレスリングさんは、パリ在住のデザイナーで、大学で教鞭もとって、三浦公亮先生を慕っておられ、昆虫の翅や葉など、折り開き折り畳まれる自然を研究なさっている。私には刺激的な人だ。

家の中で話すのがいいか、散歩がいいか。彼女は散歩を選んだ。

彼女の立ち止まる所が新鮮だった。

コナラとクリの混交林では、落ち葉に目をやり、

「虫が喰っている。この落ち葉全体の、1/3 かそれ以上も！」

ツクシ、フジのつる、彼女はあらゆる筋に、配列に、興味を示した。

枝に引っ掛かっていたクルミの枯葉の、枯れて曲っている、その曲り具合に目を輝かせ、カキドオシの葉を光りに透かし、紫色の裏面が逆光の中では緑に転ずることを示し、葉脈の有り様を点検し、私はすっかり生徒になった。が、呈示される物よりむしろ、そういう彼女自身の方に気を引かれた。

坂ばかりの道で疲れないか、と聞くと「歩かない方が、もっと疲れる」と笑った。

フジの実を拾い、ツガの球果に喜

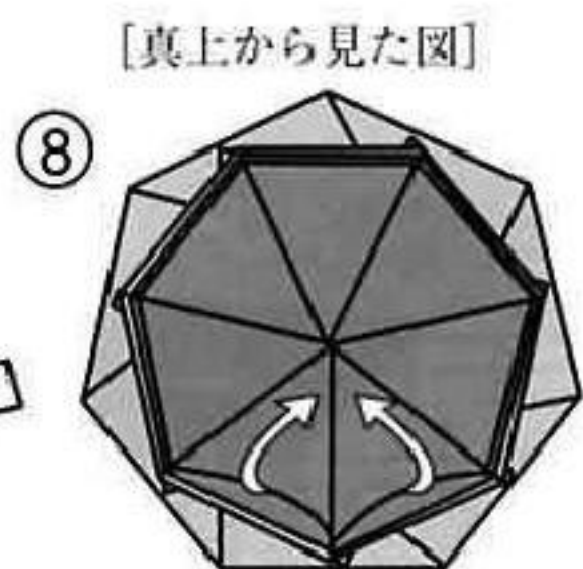
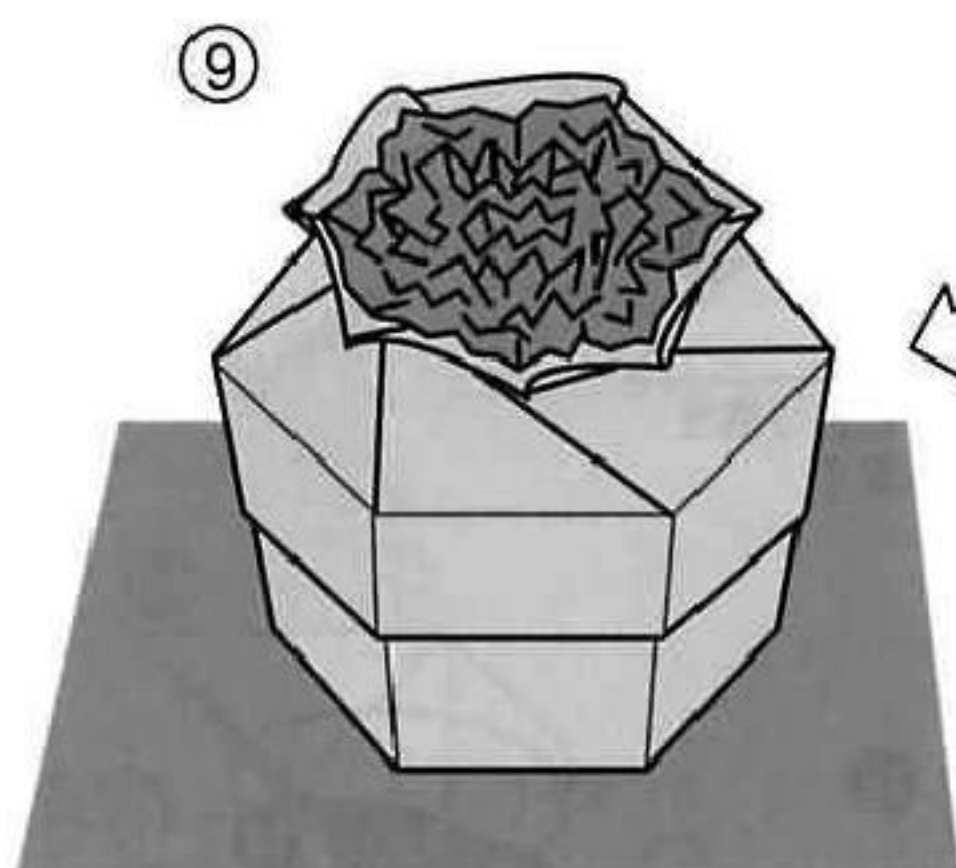
び、クスサンのまゆを空のフィルムケースに納め、枯れて立つウバユリの実の、種から周りの薄膜に伸びる筋に目を注いだ。

私とその和名を説明すると、「まあ。じゃ。私のユリね」「私たちの、よ」

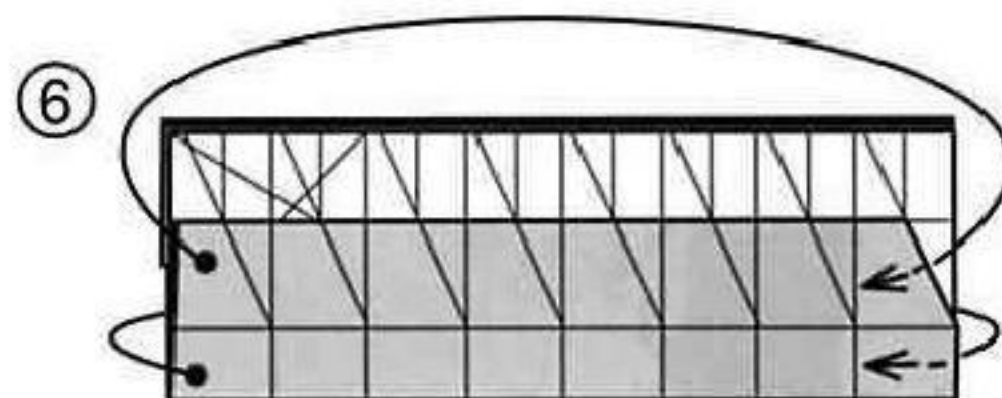
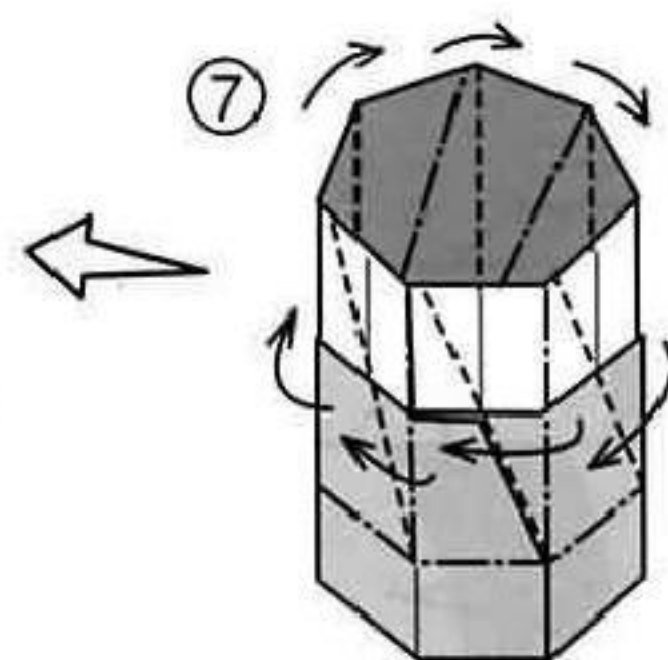
私たちの歩みはどこおりがちで、頓着しないクレスリングさんはぶんぶんしゃべり、ついに淋しい山中の路上で薄暮となった。心配して迎えに来た連れ合いの車にめでたく拾われて、3時間半にも及んだ散歩は終わった。クレスリングさんの目を見たマイ・コースだった。

折り畳まれている自然。自然という意味を、今ほんやりと考えている。

ねじって上を平らにする。
紙の重なりが多いと、中央部は
もり上がるが、極端でない限り
ふたとしての機能に影響はない。

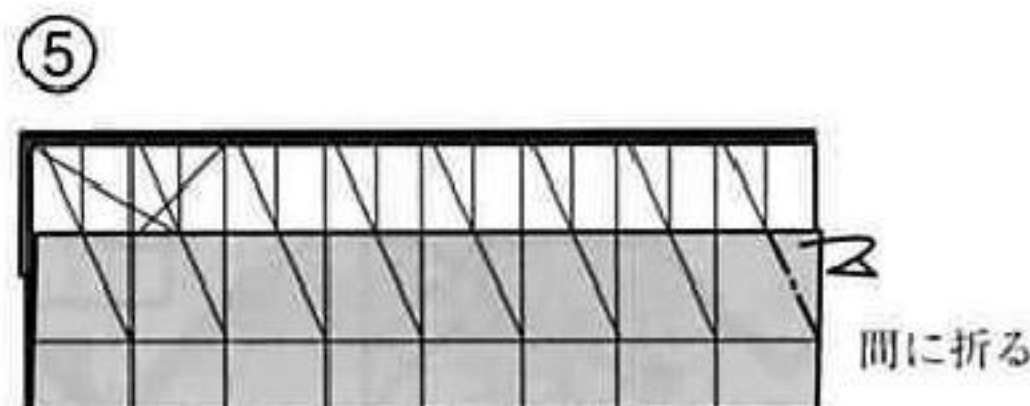
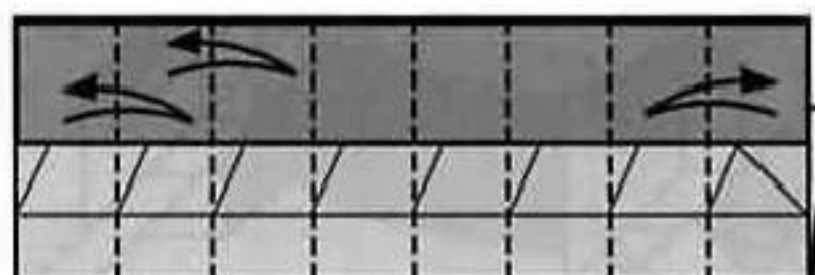


薄紙を一枚ずついねいにはずして、花にしてい



端をはさんで7角の輪にする。
上もはさむ。

④ 図のような折り線をつける



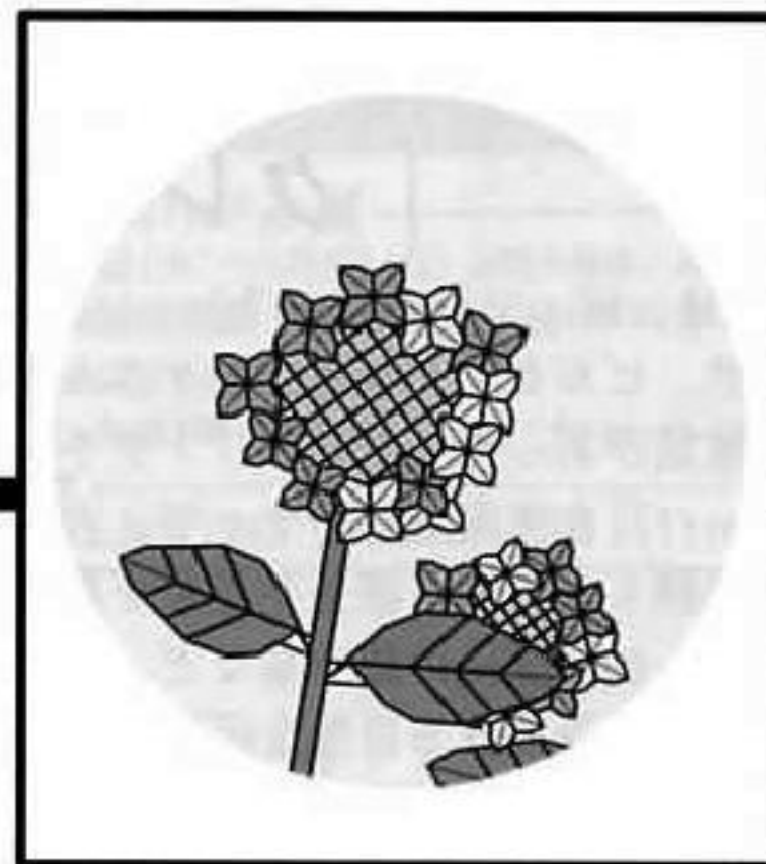
間に折る

ももこさんの
色紙
百花

あじさい
がく紫陽花

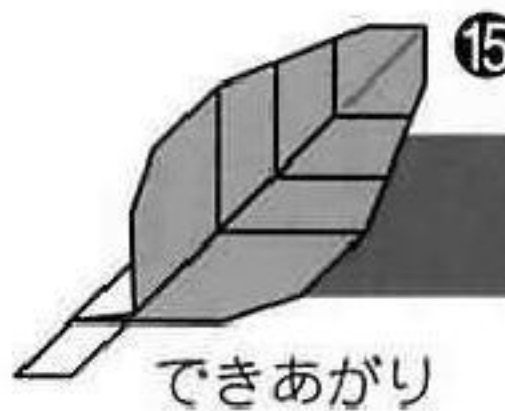
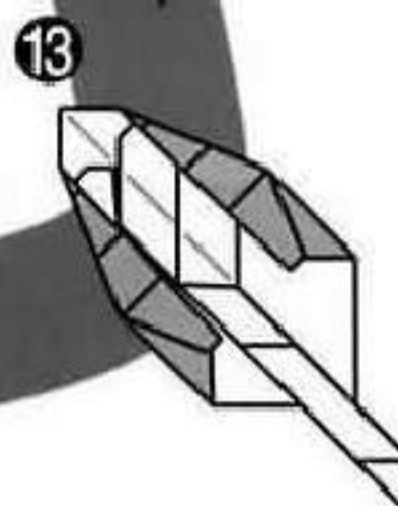
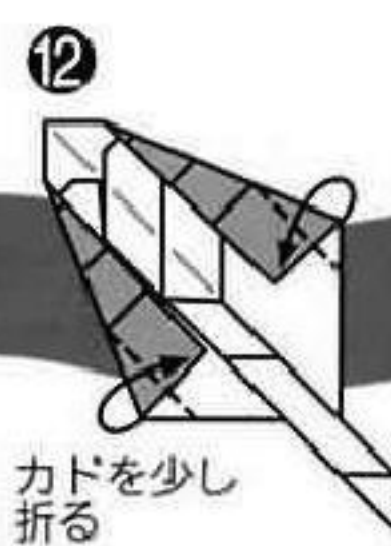
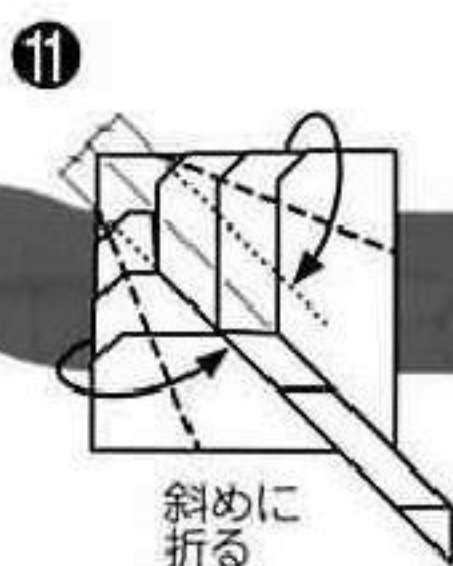
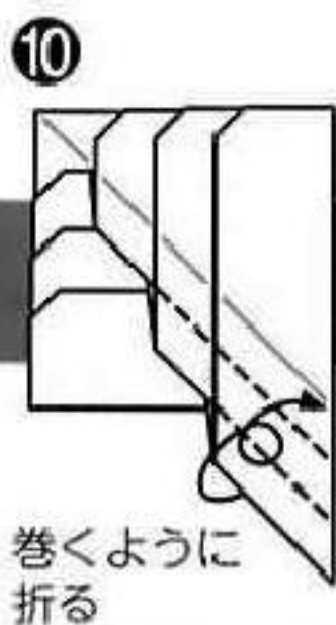
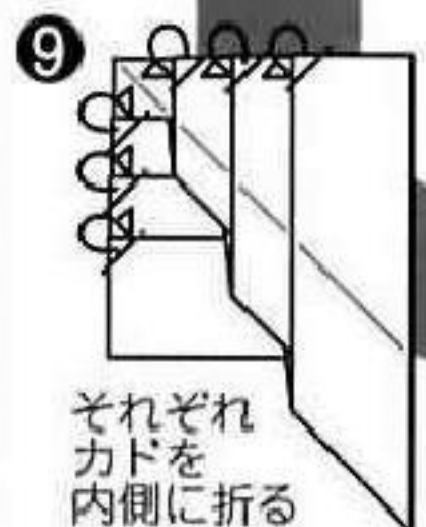
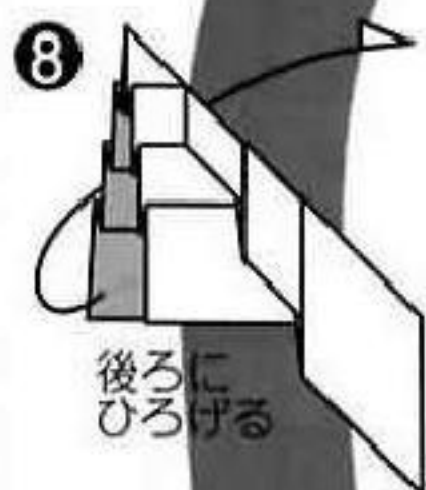
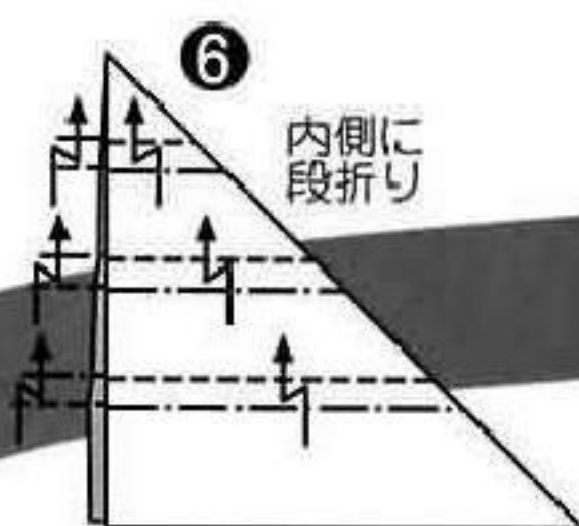
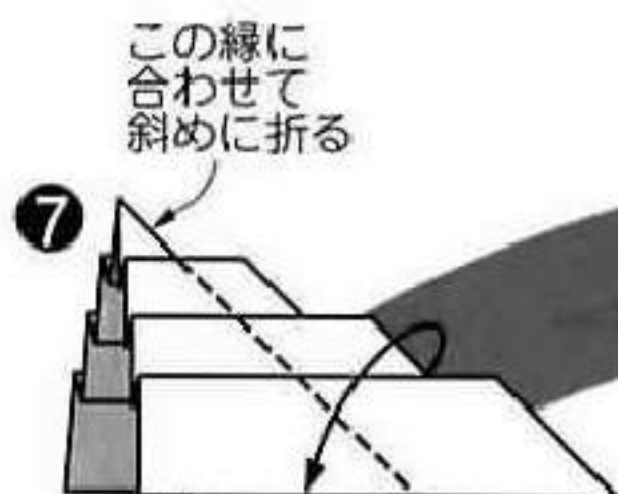
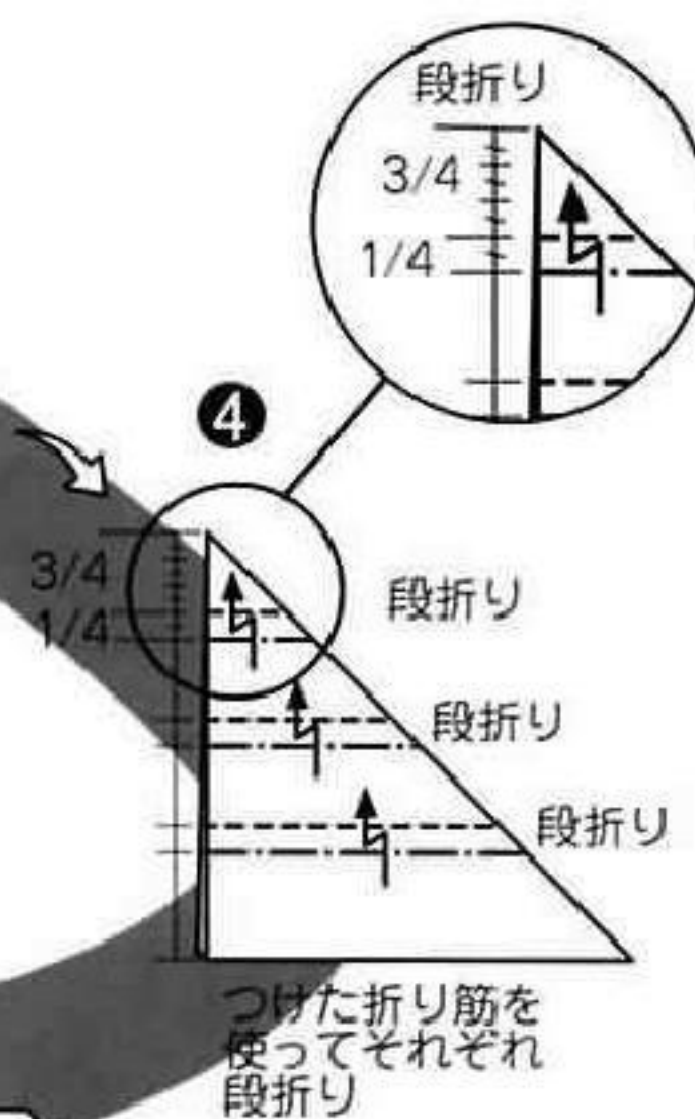
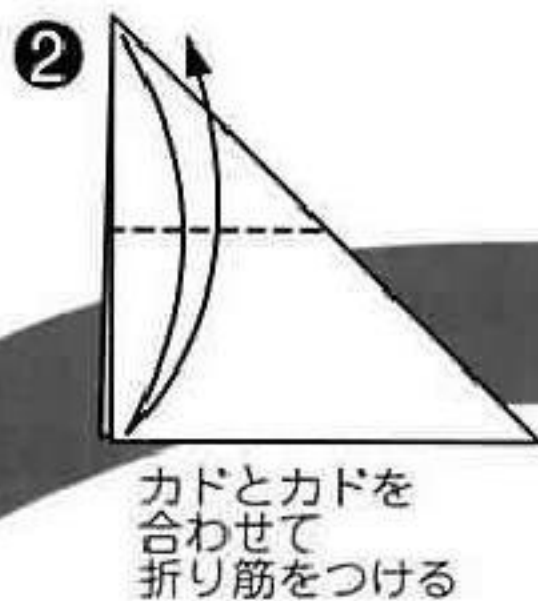
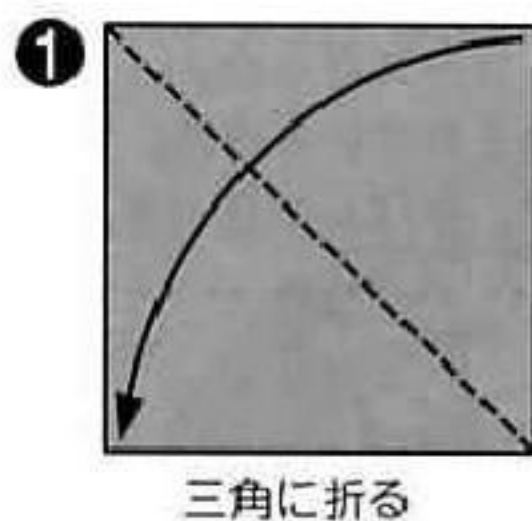
田中具子

婦人層に一つの分野を作ったといわれている色紙百花。単行本発行後も新作を求めるファンが多く、要望にお応えして連載開始。



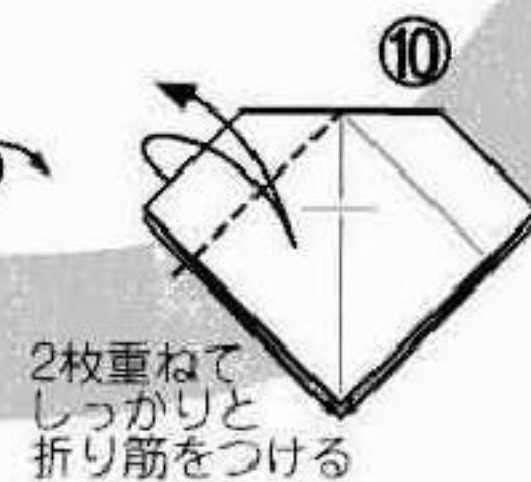
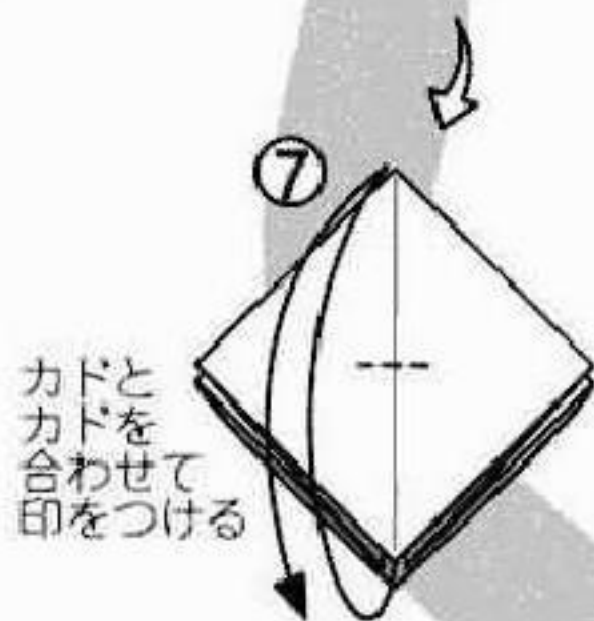
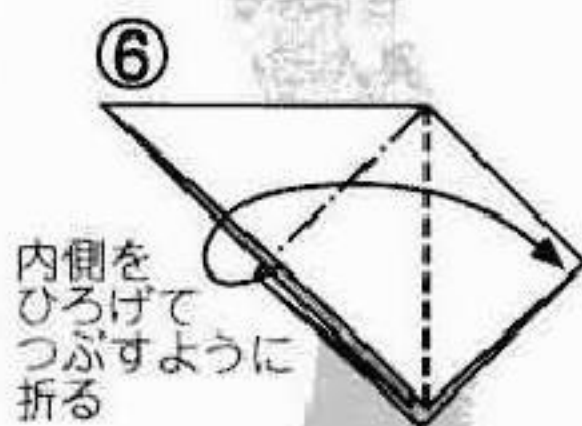
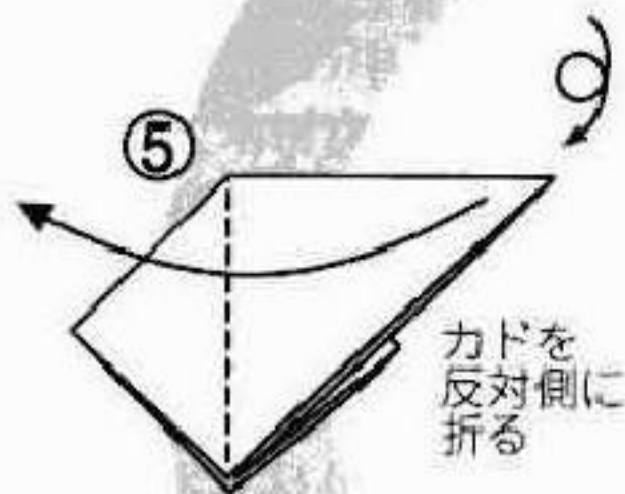
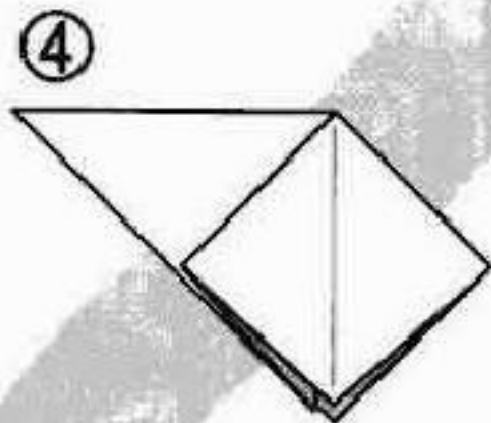
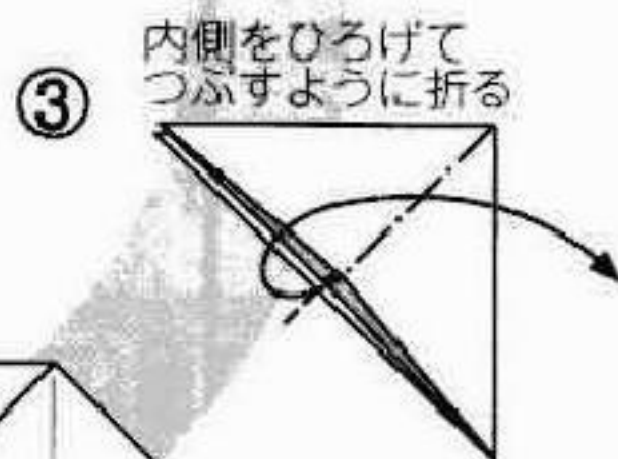
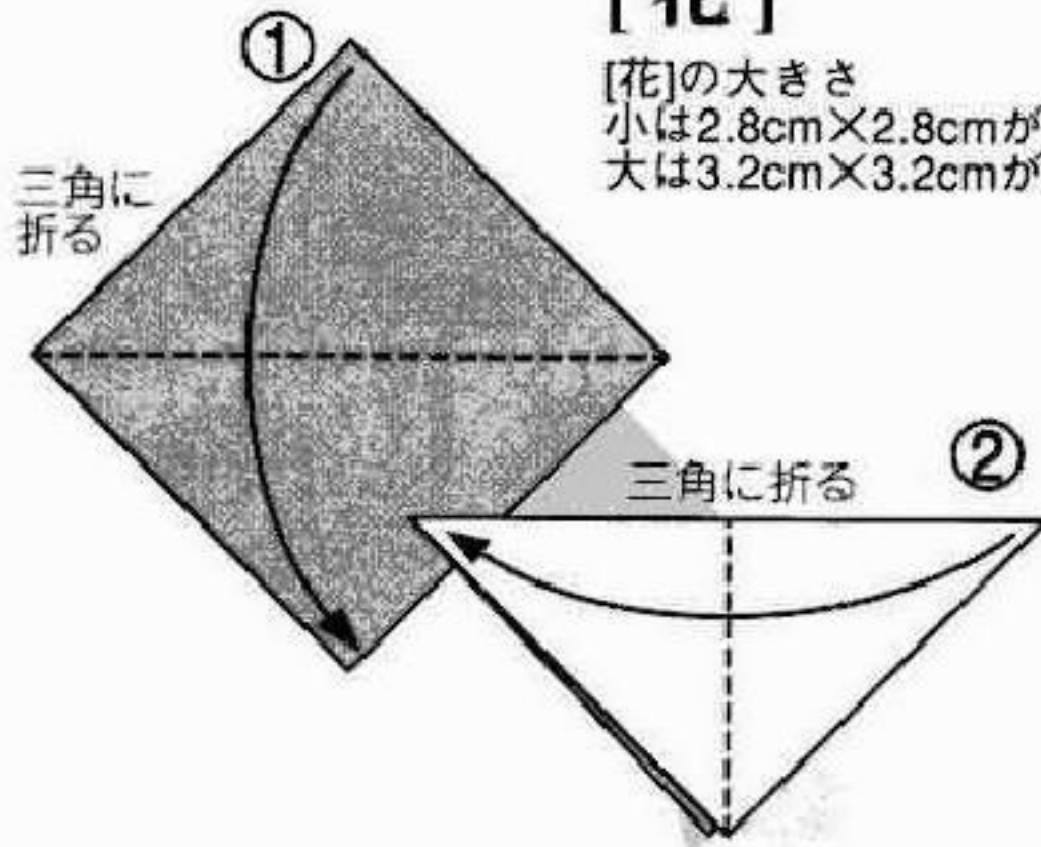
[葉]

[葉]の大きさ
小は8cm×8cmが2枚
大は12cm×12cmが1枚

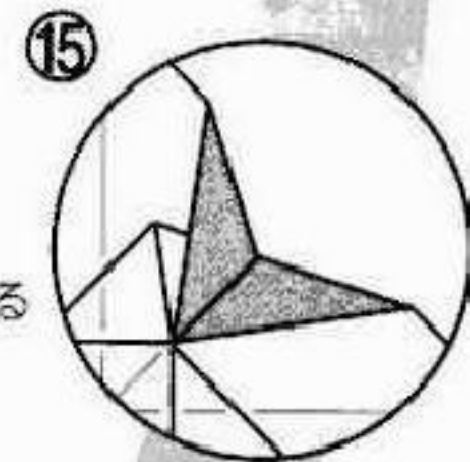
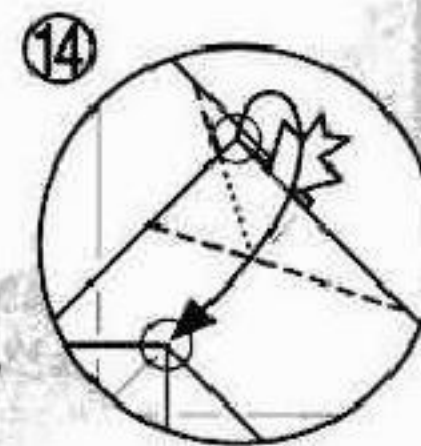


[花]

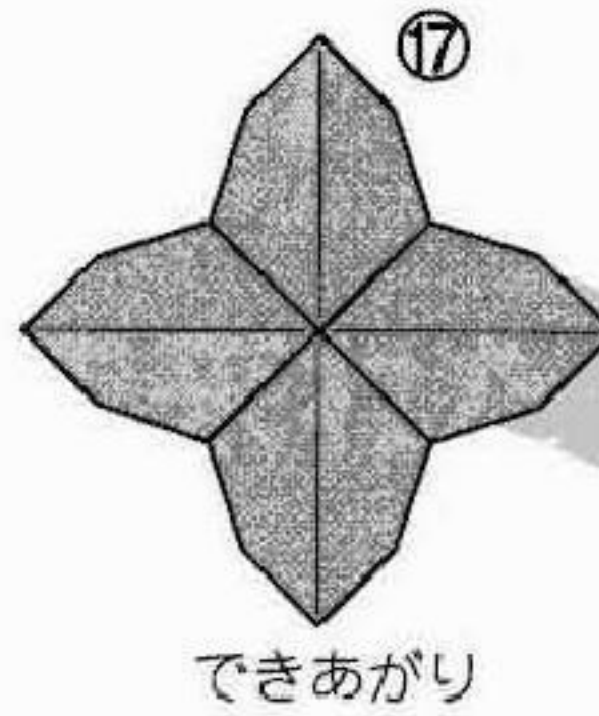
[花]の大きさ
小は2.8cm×2.8cmが10枚
大は3.2cm×3.2cmが9枚



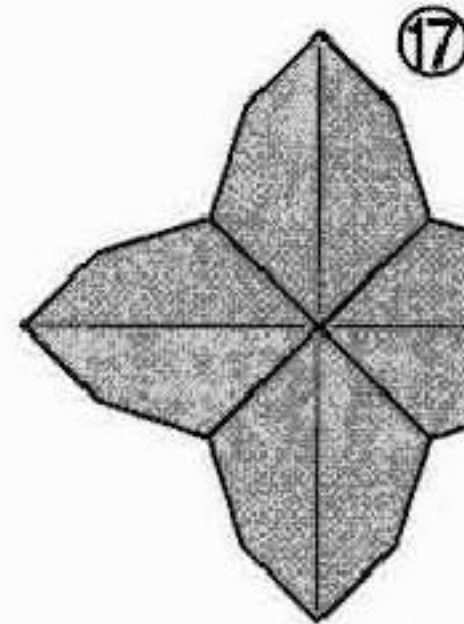
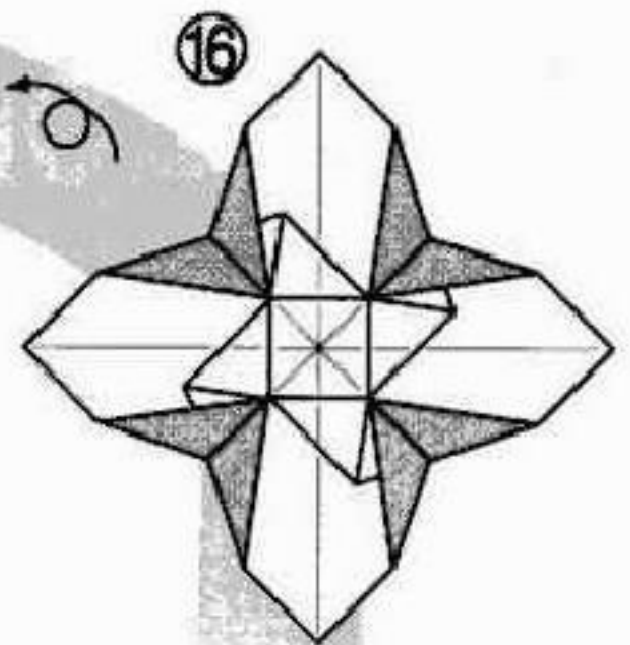
ねじる
ようにして
中心を平らに
つぶす



残りも
同じに折る



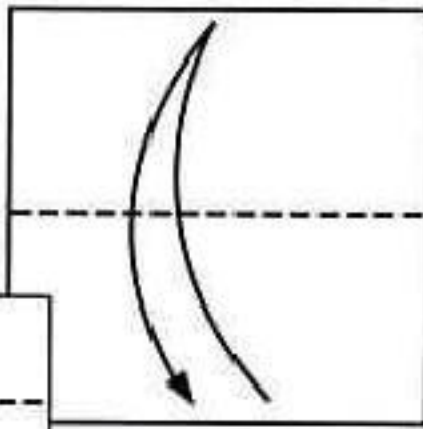
できあがり



【がく】

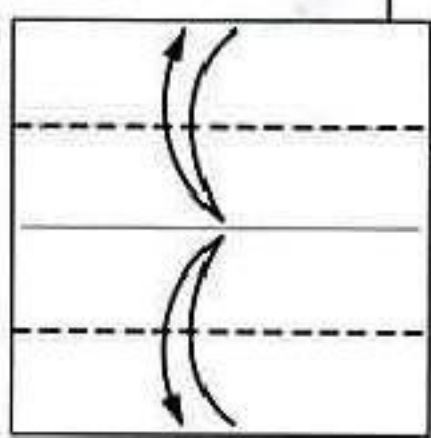
【がく】の大きさ
小は6cm×6cmが1枚

①



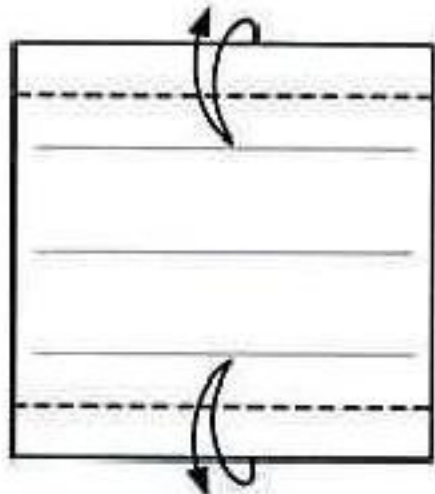
半分に
折り筋をつける

②



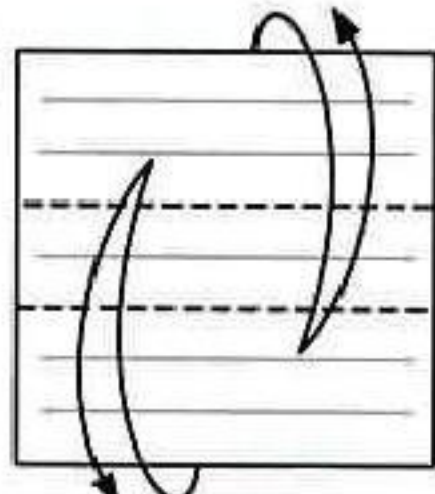
縁を中心に合わせて
折り筋をつける

③



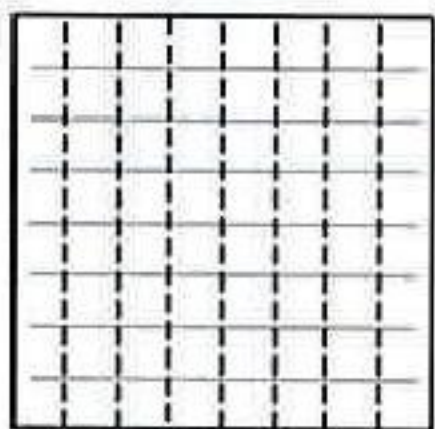
つけた折り筋に合わせて
折り筋をつける

④



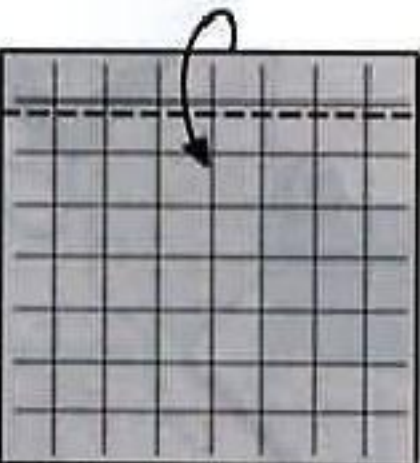
②でつけた折り筋に
合わせて折り筋を
つける

⑤



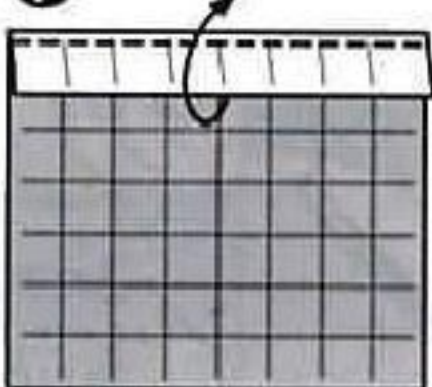
同じようにして
縦にも1/8の
折り筋をつける

⑥



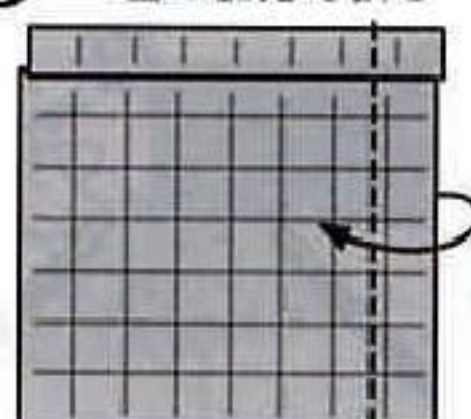
上から1本目の
折り筋より少し
下の部分で折る

⑦



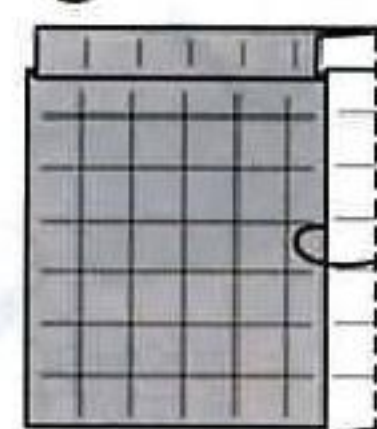
ついている
折り筋で
折り上げる

⑧



右から1本目の
折り筋より少し
左の部分で折る

⑨



ついている
折り筋で
反対側へ
折る

【茎】

【茎】の大きさ
10cm×2cm

①



【3等分で
巻くように
折る

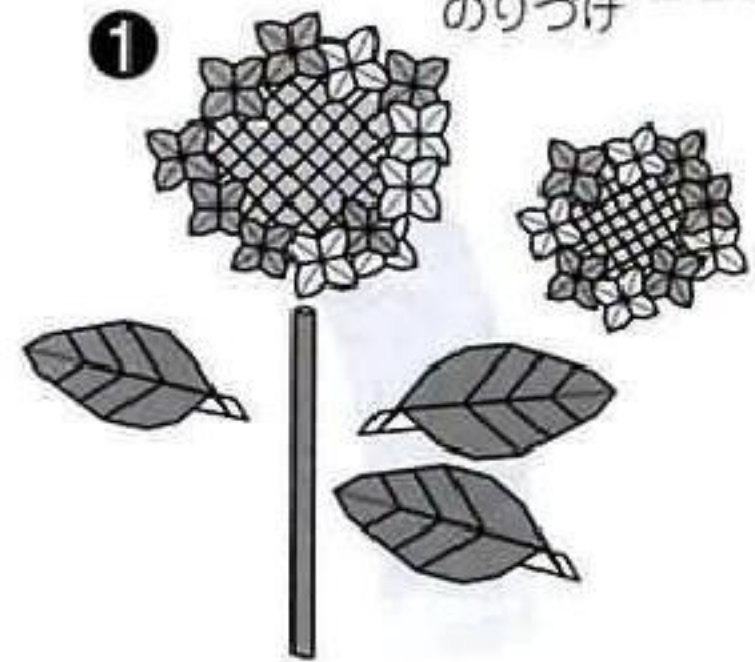
②



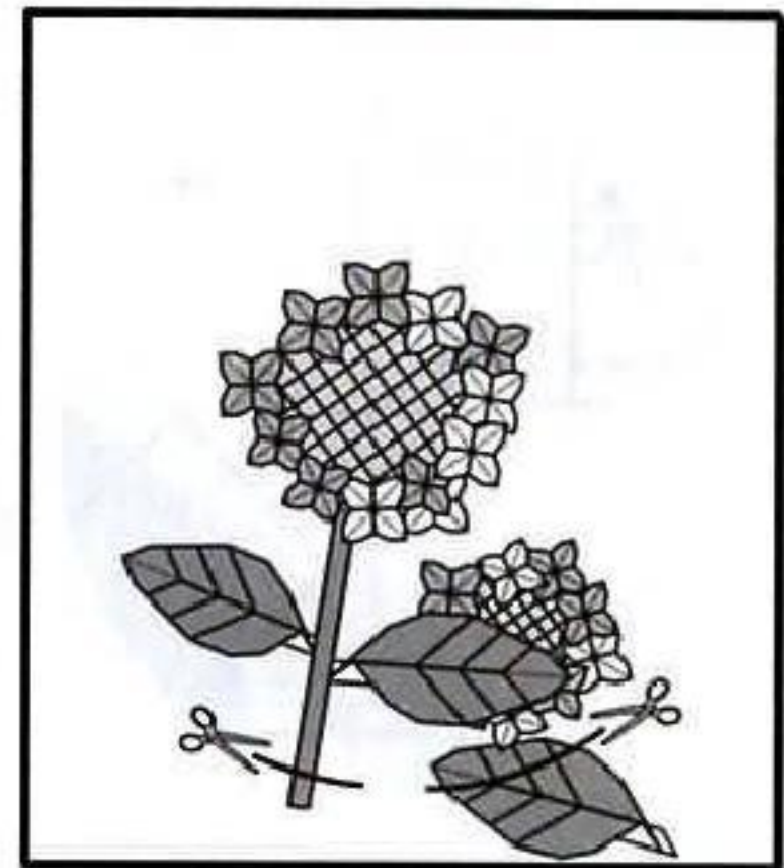
【組み方】

図のように
がくに花を重ねて
のりづけ

①



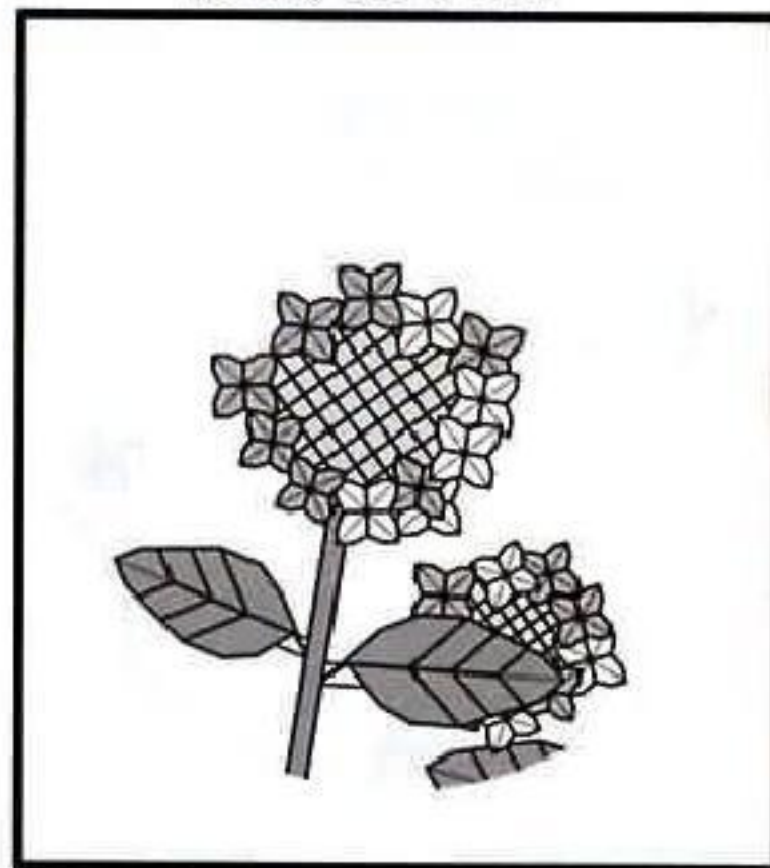
②



適当にレイアウトして
円窓のところではみ出る
部分を切り落とす

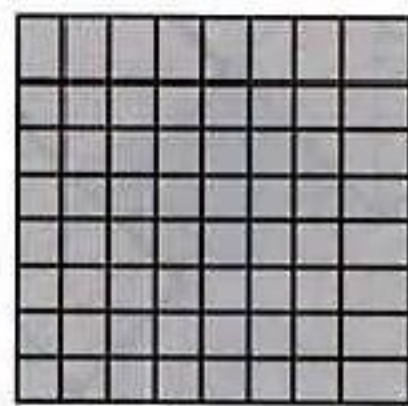
それぞれを色紙の上
に重ねてのりづけ

③



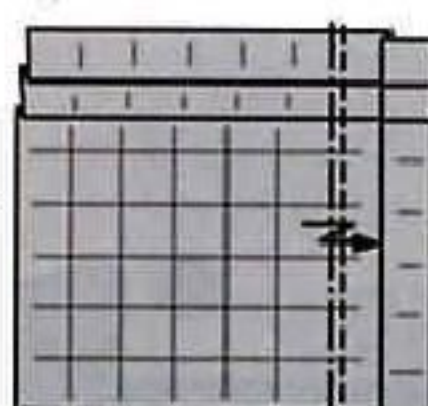
できあがり

⑫



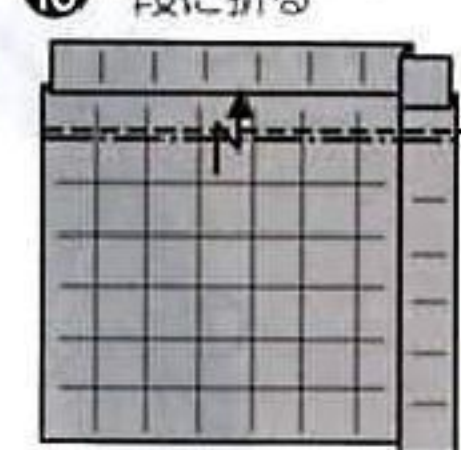
できあがり

⑪



同じようにして
段に折る
同じこと繰り返
して

⑩



同じようにして
段に折る

特集＝新装刊記念座談会

「折紙探偵団：歩んで来れた10年間」

出席＝木村良寿、西川誠司、山口真 司会＝前川淳

10年間休む事無く活動を続けてきた折紙探偵団が、このたび日本折紙学会となり雑誌「折紙探偵団」を新装刊した。今回雑誌創刊を記念して

折紙探偵団創立時のメンバーに集まっていたき、折紙探偵団の10年とこれからについて語ってもらった。

前川 淳：“悪魔の前川”でお馴染みの折紙作家。今回は司会進行を務める。



「折紙探偵団」その生い立ち

前川：それでは雑誌「折紙探偵団」新装刊を記念して、探偵団創立時のメンバーによる座談会を開きたいと思います。創立時の中心メンバーは西川誠司さん、木村良寿さん、吉野一生さん、そして創立に尽力した山口真さんです。この中で残念ながら吉野さんは亡くなっていますが、最初に創立のいきさつなどを。

山口：最初に「おりがみはうす」ができて半年が過ぎた頃に(89年11月)、西川さん、木村さん、吉野さんの3人で「恐竜おりがみ三人展」というのをやりました。ちょうど先達の人達の個展が一回りした頃でね。そのときは入場料をとってもいいんじゃないか、というぐらいの盛況でね。あのときは涙したよ「これで俺にも蔵が建つ」とね(笑)。その「恐竜おりがみ三人展」がとても反響があって、その後にその三人と僕とあと数人が月一ぐらいで集まるようになった。それで「このままで終わらせるのはもったいないので、会のような形にしよう」ということになってね。会の名前をどうするかというときに木村さんが。

木村：みんなが色々言う中で、本当に思いつきで、いいとか思ってあげた訳ではなくて「折紙探偵団」と。なんでこれが出てきたかという、当時テレビ探偵団という番組がはやっていて、雑誌なんかでもよく使われて

いたんだよね。だから自分としてはいいものとは思わなかった。

前川：有り触れたものが強いということですかね

西川：僕が(名前が)いいと思った決定打は、小林君(注1)がいたからだね。「小林少年」が(笑)。

前川：おりがみはうすについて説明してもらえますか？

山口：はうすは僕が日本折紙協会の事務局をやめてしばらくたって、どこにも折り紙の常設の展示場が無いということが寂しくてね、何とかできないかと始めたんですよ。

西川：はうすが始まったのは89年の4月だけど、僕の記憶では89年の8月に初めて三人展の話を山口さんから聞いた。考えてみたら吉野君は3ヶ月であれだけの作品を作ってきたんで

すね。

山口：それまでの吉野君は恐竜の作品はほとんど無かったからなあ。

木村：一時期にかけると集中力がすごかったんだね。

山口：初めて吉野君が作品を搬入したときの顔は「してやったり」という感じだったね。自分のまだ見せてない作品をね、途中の形すら誰にも見せてない作品をあれだけ持ってきた吉野君の顔はまだ印象に残ってるよ。

西川：あの「骨格」も8月の時点ではなかったんですよ。

探偵団の活動とは？

前川：探偵団新聞を実際に出すのは、色々ステップがあったと思うのですが。当初の苦労話などは何かありますか。

山口：僕が前に雑誌の編集などをしていたので、作業としては簡単にできると思っていた。一つのイメージとしては「折り紙ニュース」(注2)というのがあったね。そして最初に新聞

ができるなと思ったのは、ワープロの普及でね。それまでは写植などの経費がかかったから難しかった。執筆者にはとりあえず16字詰めで原稿を書いてもらった。後はひたすら切り張りだった。そういう作業は慣れたから。

木村：今でこそ図なんかはFree Hand(マクロメディア社のドローソフト)

木村良寿：初代折紙探偵団団長。探偵団の名付け親でもある。初期の探偵団新聞に多くの漫画、イラストを発表している。



で出来るけどね。昔は花子(ジャストシステムのドロソフト)や手書きばかりで大変だった。

山口：本当に最初は手作りだった。

前川：探偵団新聞というと巻頭論文ですが、最初は西川さんですね。あれは書きためていたものがあつたんですか。

西川：いや、書いたのは無かったです。ただこういうロジックを出しておかないといけな、というのはありましたよ。こういう集まりに力を感じて、気持ち先行、理屈は後からといったところです。

前川：最初は8ページから始まって、この座談会が載る雑誌はカラーを含んだ40ページになっている訳ですが、当時はこのようになるとか、会としてもこのように大きくなるとは考えていましたか。

山口：もう予想もしてないし、当時は誰彼かまわず「入ってくれ」と勧誘していた。

木村：「折紙探偵団」に入ると幸せになれると言って勧誘していた山口さんが印象に残っています(笑)。

山口：ところが数年経つと強く「入ってくれ」と頼まなくても、それ以上の人数になっていたんだよね。最近で変化を感じるのは中学生のメンバーが増えてきたことだね。

木村：それは非常に希望が持てることですね。

前川：基本的に10年間やってきて危機は無かったんですか。

山口：つぶれるかどうかってこと？それは無かったなあ。

木村：会員がいなくなって(新聞を)出せなくなるというのは無かった。

山口：会員は年々増えていたし、とに

かく投資をしていないから金銭的につぶれるということが無い。

西川：あと、探偵団もそれなりにユニットとしてしっかりしてきたというか、器としてちゃんとあって、それをある程度積極的な人間がその器をどう利用するかっていうのを膨らませてきた、ということがあると思うんですけど。

前川：発表の場、出会いの場として利用しようと。

山口：探偵団の大きな力は誰もがマニア的な折り紙を創作できて、それを発表できる場でもあると、そういう場を与えたというのがとても大きなことだと思う。だからどんどん知らない若手が出てくる結果に繋がっていると思う。実際に探偵団の人間同士がつきあわないと生まれてこなかった作品というのがいっぱいある。

木村：(バックナンバーを見ながら)川崎(敏和)さんや前川さんが出てきたのが19～20号ぐらいか。

西川：それもあるていど器が出来てきた、ということだよ。その器に対してそれぞれの人の思いを投影できる可能性を示し始めたというかね。

木村：(またバックナンバーを見ながら)しかし昔は連載する作品が多かったんだねえ。図の数は多くてページは少ないということもあったけど。

西川：それも商業誌的に見たら後ろめたい部分もあるかもしれないけど、連載でもしなければ世に出せない作品をも表に出すということを取った訳ですよ。

前川：他の折り紙のメディアに載りそうもない作品が載っているというのが読者の楽しみでもある。

山口：今でもそうだけど、探偵団新聞というのはまず折り図がいちばん大事ということ。海外でも会員がいるというのは折り図が欲しいということだよ。

主な出来事

前川：その後会員数も増えて、コンベンション(注3)を始めたりと発展してきた訳ですが、何か思い出というのはありますか。

木村：最初に言っておきたいのは、比較的似たような団体である「恐竜

倶楽部」と一緒に日本橋三越で(展示を)やったことかな。

山口：「恐竜おりがみ三人展」の半年後にやったんだけど、あのときは民放が何局も来てね、夕方のニュースではほぼみんな同時に流れてた。あれは凄かったね。

木村：そのとき7～8人がかりで6.5m四方の紙で(吉野一生氏の)ブラキオサウルスを折ったんだよね。

山口：三越の企画として企画料もらってみんなでやった。「恐竜倶楽部」の展示のイベントの一角に恐竜折り紙の展示依頼をうけてやったもんでね。

木村：結果として恐竜倶楽部は探偵団に軒先を貸して、母屋を取られるという形になりましたけど(笑)。

前川：エピソードとして他になにかありますか。

西川：さっき折り図の話がでてましたけど、コンピューターで折り図を描けばうまく描けるのではないかとみんな結構思うのだけど、例えばジョン・モンテロールさんがフリーハンドで折り図を描く、それを吉野君が集中的に導入してこういう集まりの中で広げていったという、そういう効果もあったかなと思いますね。

木村：折り図のコンピュータ化というのは吉野君が日本に持ち込んで普及させたと言っていいと思う。

西川：それを探偵団新聞がかなりリードしたという事ですね。

前川：10年を振り返るといくつかの転機があったと思うんですけど、やはり大きな関わりを持った「をる」(注4)という雑誌が出たのは大きかったと思うのですが。

木村：やはり「をる」というのは石川(光則)さんという人がいたというのが非常に大きいですね。

前川：その編集長だった石川さんは、探偵団新聞をみてから話がきたんですか。

山口：いやそれは布施さん経由でうちに話がきたんですよ。うちに来て「をる」がいちばん良かったと思うのは、僕は好き嫌いで人を選ばないので、幅広く人を紹介できるってことです。これが個人のところに行っていたらみんな自分のことでくっついてしまいかねない。とにかく創刊号(93年夏)には時間をかけたね。

西川誠司：学会設立委員会代表。探偵団設立当初から精力的に活躍、多くの作品、論文を発表している。



西川：その石川さんの企画書作りに探偵団新聞というのはとても影響を与えたと思うんですよ。

山口：本当、折紙探偵団というものがあつたから「をる」はできたと言ってもいいんじゃないかな。

前川：しかし残念ながら「をる」は事実上廃刊になってしまったんですが。

木村：「をる」が無くなって途方に暮れている人たちを取り込むというのがこれからの「折紙探偵団」に期待されていることだと思うんですけど。

前川：「をる」が果たしてくれたことを探偵団が引き継いでいくという事ですね。次はコンベンションの話をお聞きしたいんですが。これは会にとって新聞発行に並ぶ大きな位置づけになっていると思うのですが。

山口：探偵団ができて我々も海外のイベントに出向くことが出てきた訳

ですよ。そこでOrigami USAのコンベンションに行ったんです。その時僕はそのコンベンションの運営スタイルをととても気に入ってね、ボランティアで出来る素晴らしいものを感じたんですよ。そこで帰って来たときに、まずはコピーでいいから始めようと思ったんです。

木村：向こうは作家とファンとの距離が近いのかな。

西川：Origami USAというのも探偵団の成り立ちとよく似たものがあると思うんですよ。オープンハイマーさんという人がいて、そこに折り紙好きの人が集まってオリガミフレンズというものから大きくしていったところなんかね。割とそういうものなのかなって気はしますね。こういうものが出来上がってくるというのは。

山口：やはり欲張って大きなものから始めなかったというのが良かったんだよね。

西川：逆に、面子を気にするというか、折り紙は日本の物だという責任感をあんまり持っていない若手が（探偵団では）中心でしたからね(笑)。

山口：(コンベンションの)参加者は最初から150人ぐらいいたね。今年は海外からも結構来るようだしね。あと途中から「吉野一生基金」(注5)の招待客も・・・これも発想はまったくOrigami USAなんだよね。

木村：なんかアメリカの真似ばかりしてるみたいだなあ(笑)。

山口 真：おりがみはうす代表。雑誌「折紙探偵団」の編集長を務める。



木村：もともととなにかのためにあるわけじゃないですからね。自然とやってきたことが人に受け入れられて大きくなってきた訳だから。

山口：自分の場合はすごくせっかちで、すぐ結果を出したがる人間なんだけど、こと折紙探偵団に関してはものすごくゆっくり進んできたと思う。それが今に生きてるんだろうね。

前川：まとめてみると自然体で来たことがよかったと。名前を変えて多少組織をしっかりとさせようということだけれど、これからも自然体でやっていきたいという事ですかね。今日はどうもおつかれ様でした。

(注1)小林君：探偵団の初期のメンバー。発送などの雑務をよく手伝っていた。

(注2)「折り紙ニュース」：山口氏が日本折紙協会時代に作っていたB-5判16ページ隔月刊の小冊子。当時、会員に配布されていた。後にA-4判となり、雑誌「おりがみ」の間の月に発行してモノクロの「おりがみ」となり、雑誌「おりがみ」の月刊化過渡期に読まれていた。

(注3)コンベンション：正式には折紙探偵団コンベンション。探偵団が主催する折り紙教室大会。有名講師陣から直接指導を受けられるのがポイント。昨年は東京、静岡で開催された。今年も8月に東京で開催される。

(注4)「をる」：双樹舎から出版されていた季刊誌。他に類を見ないグレードで多くの読者を獲得したが97年の春号(通巻16号)をもって休刊となる。

(注5)「吉野一生基金」：類い希な才能を持ちながら夭折された吉野一生氏を偲んで設立された、海外交流を目的とした基金。主な活動としては、海外の若手折紙作家をコンベンションに招待している。

探偵団のこれから

前川：思いつきでここまで大きくなってきた折紙探偵団もこの辺で少し組織を整備しようということで「日本折紙学会」に脱皮する訳ですが。まあ折紙探偵団という名前を変えた理由は探偵団というふざけた名前では通用しなくなったということもあると思いますがそれだけではなくて名前を変えることによって抱負のようなものがあると思います。この十年間に対しての思いと合わせてお願いします。

山口：さっきも言ったけど粹を先につくってしまつて自然とその形になっていくことを期待するというかね(笑)。

木村：折紙学会という名前ゆえに出てくる権威っぽいものに対する責任感というものもある。

西川：言ってしまうとよく続いたなと。後はやってる間に大きくなってしまふ物だということを感じましたね。で、その大きくなってしまふということに関する責任の取り方をどうしたらいいのだろうと。

前川：学会という名前でもわかるように普及も視野にいれつつ専門性を持たせていくということもあると思うんですが。

西川：その辺は双頭の理念ということで、大変ですが頑張っていきたいと思っています。

ラング博士 の 役に立つ 幾何学

"Folding Proportions" 「比を折る」

ROBERT・J・LANG

翻訳／羽鳥公士郎

はじめに 折り紙の創作法の一つに、いくつかの部品をつくっておいて、それらを正方形の中に収めるというやり方があります。このようにして創作された作品を折るとき、部品同士の境界に印をつけるという問題に直面します。たとえば、まず最初に辺の長さの $3/7$ の点に印をつけなければならない場合があるかもしれません。また、角度を三等分するという場合もあるでしょう。必要となる比は無理数か

もしれません。これらの比を折るだけで求められたらうれしいですね。任意の比を正確に、または近似的に得るための折り方がいくつか知られています。正確な方法はしばしば、余計な折り線で紙を満たすということになりかねないので、そのような場合は近似法の方が好ましいでしょう。実用的には誤差が0.5%以下であれば十分です。この連載では、比を折るための役に立つ方法をいくつか紹介し、分析します。

(4) (2)と(3)を必要なだけくり返します。差が0になったらそこでやめます。

分母が2の累乗である分数は、どこかで差が0になり、有限小数で書くことができます。それ以外の有理数は、差が0になることはなく、循環小数になります。たとえば、 $1/3$ に上の手順を適用してみると.010101…と無限に続きます。

第1回 二進数法

二進数とは

二進数は、コンピュータで使われている数字の表記法です。二進数では、0と1の二つの数字しか使いません。たとえば、1から10までの数を二進数で書くと、表1のようになります。

二進数を理解するためには、ふだん使っている十進数と対比させるとよいでしょう。十進数では、小数点の左にある数字は、10の累乗の倍数を表しています。たとえば、十進数の1043は式1のように理解されます。二進数は、10の累乗の代わりに2の累乗を使うという点が違うだけです。たとえば、二進数の1011は、式2のように、十進数の11を表しています。

分数や小数も二進数で書くことができます。十進数の.753が式3のよう

	1 = 1	6 = 110
表1	2 = 10	7 = 111
	3 = 11	8 = 1000
	4 = 100	9 = 1001
	5 = 101	10 = 1010

に解釈されるように、二進数の.111は式4のように解釈されます。

分数を二進数に

次の手順で、1より小さい任意の分数(小数)を二進数に直すことができます。

- (1) 小数点を書きます。
- (2) 分数を2倍します。
- (3) 整数部分(1か0のどちらか)を引いて、その数を最後に書いたものの右に書き加えます。

折り手順

このように比を二進数で表すと、次の手順で比を折ることができます。小数が無限に続くときは途中までの概数にしておきます。

- (1) 比を二進数で書きます。
- (2) いちばん右の桁は1なので、紙の上端を下端に合わせ、折り目をつけます。
- (3) 以下、右側の桁から順に、数字が1なら上端を直前の折り目に合わせて折り目をつけます。数字が0なら下端を直前の折り目に合わせて折り目をつけます。

分析

この手順がどうしてうまくいくのか、0.11001(25/32)を例にみてみましょう。この数は式5のように解釈できますが、式6のように書くこともできます。式6をよく見ると、

- (a) 0を足して $1/2$ を掛ける
 - (b) 1を足して $1/2$ を掛ける
- のどちらかの操作をくり返していることがわかります。

◆ロバート・ラング＝Robert J. Lang アメリカ合衆国オハイオ州生まれ。
6才から折り紙をはじめ、折り紙歴は32年。これまでに6冊の著書とCD-ROMを出版する。
代表作の一つ "Black Forest Cuckoo Clock" はテレビ番組「なるほど・ザ・ワールド」で
紹介された。
不切正方一枚の昆虫などを得意とするが、近年は折り紙の数学に興味をよせている。
レーザー装置を製作するSDL社の副社長も勤める。カリフォルニア州プリザントン在住。

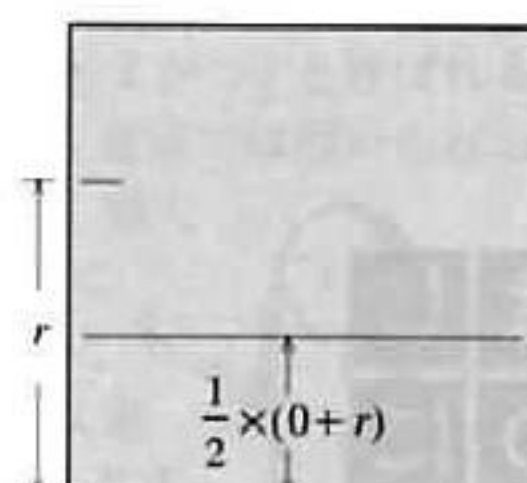
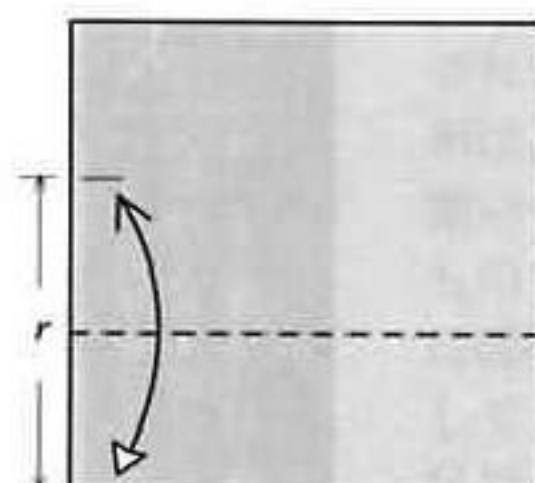


さて、折り紙に注目しましょう(図1)。
今、下端から r の距離のところに折り目がついているとします。下端を折り目に合わせると、新しい折り目は下端から $(r/2)$ の位置につきます。これはちょうど(a)の操作に対応します。

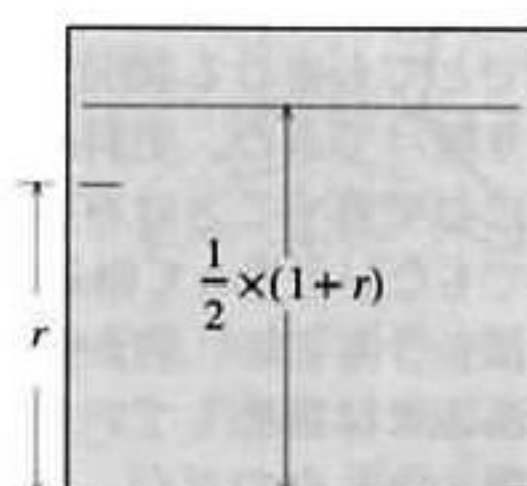
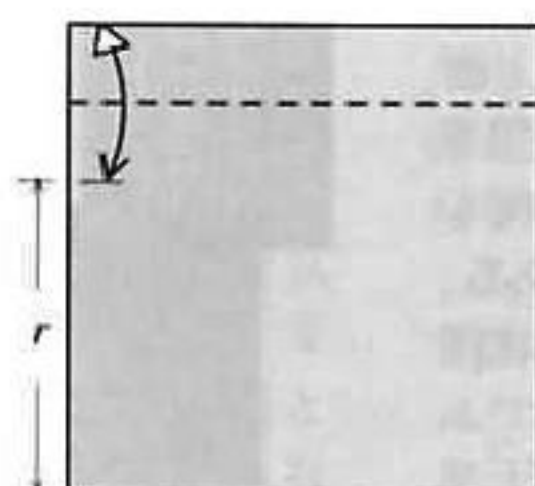
一方、上端を折り目に合わせると、新しい折り目は下端から $((1+r)/2)$ の位置につき、(b)の操作に対応します。

図1

上: 下端を下から r の位置にある折り目に合わせると、下から $(r/2)$ の位置に新しい折り目がつく。



下: 上端を下から r の位置にある折り目に合わせると、下から $((1+r)/2)$ の位置に新しい折り目がつく。



● 実用性について

この方法の利点は、どんな比でも、比較的少ない手順で十分正確に折ることができるという点です。誤差を ϵ より小さくするために必要な手順の数は $(-\log_2 \epsilon)$ です。たとえば、誤差を 0.1% より小さくするためには、 $-\log_2(0.001) \approx 10$ ですから、小数を 10 桁までの概数にして、10 回折れば十分です。

現実にはそれほどの精度は必要ありません。また、同じ数字が続いているときは「四捨五入」して、さらに手順を減らすことができます。たとえば、.011010001 を .01101 にしてもそれほどかわりませんし、.101011111 を .1011 にすることもできます。

さらに、折り目を紙のはじにすこしだけつけばよいという利点もあります。この方法では、正方形の内部に余計な折り目がつきません。

任意の有理数を正確に折る方法がいくつかあります。次の二回ではそれらの方法を紹介します。

[式 1]

$$1043 = 1 \times 10^3 + 0 \times 10^2 + 4 \times 10^1 + 3 \times 10^0 = 1000 + 0 + 40 + 3$$

[式 2]

$$1011 = 1 \times 2^3 + 0 \times 2^2 + 1 \times 2^1 + 1 \times 2^0 = 8 + 0 + 2 + 1$$

[式 3]

$$.753 = 7 \times 10^{-1} + 5 \times 10^{-2} + 3 \times 10^{-3} = \frac{753}{1000}$$

[式 4]

$$.111 = 1 \times 2^{-1} + 1 \times 2^{-2} + 1 \times 2^{-3} = \frac{7}{8}$$

[式 5]

$$0.11001 = 1 \times 2^{-1} + 1 \times 2^{-2} + 0 \times 2^{-3} + 0 \times 2^{-4} + 1 \times 2^{-5}$$

[式 6]

$$0.11001 = \frac{1}{2} \times (1 + \frac{1}{2} \times (1 + \frac{1}{2} \times (0 + \frac{1}{2} \times (0 + \frac{1}{2} \times (1))))))$$

A BRIEF HISTORY OF PAPERFOLDING IN JAPAN

Okamura Masao

はじめに

折り紙の通史を書けという要望が寄せられているが、史料不足、力量不足でとても書ける状況ではないと断わり続けてきた。史料なしで空想を主にして書くことは有害以外の何ものでもないと思っているからである。とはいっても、何か書くべき状況であるとは痛感していた。そこでふと思い出したのだが、成安造形大学で開催された折り紙の科学国際会議に提出してあった論文が、昨年出版されたものの、拙論は英文版だけだったし、残念ながら国内の多くの人の目に触れてはいなかった。あの論文は「おりがみ」を意味するいくつかの単語を中心にまとめたもので、その形式なら何とか書けるかも知れないと考えた。日本語版は発表していないので、あえて重複はお許しいただいて書き始めたいと思う。用語の変遷を追いつながら、折り紙文化の変遷をたどるつもりである。

いわゆる遊戯折り紙に限って言えば、現在知られている最も古い用例は、西鶴の「折りすえ」であることは事実であるが、礼法折り紙でその前から「折りかた」だったとされている点については、その可能性はあるが、事実であるかどうか確認できない。(遊戯折り紙と礼法折り紙を区別して考えるようになるのは近年のことで、礼法の専門家は別として、一般には同

第一回

日本折り紙前史

岡村昌夫

一九三四年東京生まれ、都立高校の国語教師を五年前に定年退職。折り紙以外の主な趣味は能・歌舞伎を観ること



じ呼称が用いられていたと思われる。)

やがて「折りすえ」は、現在と同じく、一種の紙箱を平面的に押つぶした形の容器を指すように意味が狭まり、もっぱら「折りかた」が使われるようになる。幕末近くなると、特に江戸では、「折りもの」が一般化していた。

明治初期に幼稚園教育の場で、「たたみがみ」「かみたたみ」が使われ、すこし遅れて始まった小学校などの手工科では「折紙細工」または「折紙」が使われたが、一般では「折りもの」もずっと後まで用いられていた。

その他、平安後期からの「たとうがみ」や平安末期か鎌倉初期からの「折りかみ」も関連して考えなければいけない。

新連載 II 岡村研究

日本の

折り紙史を

読む

「ふみかたどり」は 宗教上の産物

読者の中には、「みふみかたどり(神典形象)」「つつみ・たたみ・むすび」を何故入れないのかという疑問を持つ向きがあるかと思うので、一応触れておきたい。

昭和15年、広島から上京していた松浦彦操が「みふみかたどり」という著書を出している。具体的な包み畳みの形象については一図のみの掲載で、これは風船の基本形による「黄な粉包み」の一種と思われる。(松浦は、美耶古流家元を名乗って礼法折り紙を教え、創作折り紙も作っていたという。「彦操」は「ひこぞう」と読まれる事が多いが、中西康夫氏によると、松浦と交流のあった内山光弘周辺の人達は「ひこそうさん」と澄んで呼んでいたそうだ。)

「みふみかたどり」については、大宮司朗氏の解説に依りたいが、氏の大著『太古真法玄義』(八幡書店、平成2年刊)には、「他見、譲渡ならびに他伝を固く禁じます。またそうした行為による霊的障害については一切、当方は責任を負いません。」という断わり書が添えられているので差し控えることにしたい。ただし同氏



は、『古神道の本』(学研、1994)『古神道の秘術』(新人物往来社、別冊歴史読本特別増刊、1995)などにも概略を執筆しておられるので、その範囲の概略紹介ぐらいは差し支えなからう。

それは一枚の清浄な和紙を折り、包み、結ぶことによってある種の形象を作り、宇宙創造、万物の起源、神々の働き、人としての生き方を悟らしめるもので、同時に宇宙に充満する神秘的なエネルギーを凝縮発散し、森羅万象あらゆる事に霊的な力を及ぼすものであり、神道祭祀の至樞であった。

もとは天孫降臨のとき高天原から三種の神器とともに地上に伝えられ、神事にかかわる重大秘義として宮中にのみ伝承されたという。後に伊勢神宮を現在の地に定めた倭姫命によって大成され体系づけられ、斎宮に代々伝えられていたものが、南北

朝の動乱で民間に漏洩した。松浦家はその斎宮にゆかりがあって、代々の女性によって伝えられてきた。しかし昭和24年、ある事情のために彦操が43歳で急逝してしまい、心無い遺族によって遺品は焼かれ、多くの口伝もほとんど絶えてしまった。

以上は大宮司朗氏の解説によったが、神代に和紙があったかのような表現と、松浦の「つつみたたみむすび」が「折り包み結び」に変わっている点は理解に苦しむ。松浦は「上代にあっては木皮や麻紐を用ひ、中世以後は、紙や糸紐を用ひて、」と書いているのである。従って、伊勢神宮云々の伝承を信じたところで、折り紙は「中世以後」のものということになり、また口伝による秘事というのだから当然のこと、「みふみかたどり」(松浦によれば「神道を形象に顕はした聖典」の意)という用語は松浦の著書(昭和15年)以前には見つけられない。

ここで宗教的真実について云々するつもりはない。しかし、松浦彦操作として『古神道の秘術』に写真が掲載されている「恵比寿・大黒」は、昭和6年刊『折紙教本』の内山光弘作を彩色だけ変えたものであり、また、松浦家伝来という「倭姫世記」という写本は、実は世間に数えきれないくらい伝えられているものの一冊に過ぎず、所謂「神道五部書」という、偽書として有名なものの一種であることを付け加えておきたい。

ることを忘れてはいけない。平安時代以来、京都の賀茂神社の「賀茂祭り」で毎年流し続けている物(この神社では「解除具」と称す)も、木製の人形である。したがってこれらも、折り紙史に関連づけることはできないと思われる。

「ほうこ」は 折り紙に関係？

病氣やけがれを人に代わって引き受けてくれるとされて、平安時代に使用されていた「あまがつ」と呼ばれる人形は、現代でも皇室では用いられると聞いているが、似た

もので、古代には確証がないとしても中世以来民間で使用されてきた「ほうこ」という人形は、もしかしたら、折り紙に関係が有るかもしれない。



もとは白い絹で作って、着物を別に着せ掛けたもの

で、のちには同じ形の赤い布製のものを裸のまま「おさるさん」と呼んで、これは昭和初期まで女の子が背負って遊んでいたものだが、

これらは、頭は別として、長方形の布の周辺を縫合せて中に詰め物をして作る。似たもので「括り猿」は正方形で同じ様に縫って作るのであるが、この布の形を紙で作るとすると、所謂「風船の基本形」、畳みかたによっては「折り鶴の基本形」になることに注目されよう。

これらが折り鶴のルーツであるという確証はない。しかし、折り鶴が最後に息を吹き込むものとして伝承されたことから、祓えの具としての性格を備えているとも考えられるので、「ほうこ」や「括り猿」は無視できないのである。しかしこの連載は、史料的に確認できるものを優先するので、一応棚上げにしておきたい。

「かたしろ」としての「ひとかた」

現代の「流し雛」や諸神社の「かたしろ」から短絡的に、古くから紙で作った「ひとかた」を川に流していたと考えて、折り紙のルーツのように言う人がよくいるが、文献的にも考古学的史料からも、奈良・平安時代に紙で作られた「ひとかた」が用いられた形跡は存在しない。「延喜式」(10世紀)の規定によって集計してみると、天皇ひとりのために1年間に使用される祓えの人かたは1764枚にもなるそうで、それらは奈良や京都の遺跡から大量に発掘された遺物からも実態が把握されるが、これらは木や鉄などで作られること

になっており、紙製ではなかった。一般には草や薬の「くさひとかた」(漢字で「翳霊」と書く。要するに中国でも紙製ではなかったのだが)が多く使用されたい。『源氏物語』に出てくる「ひとかた」には、作り物の肖像、祓えとして流すものの2種類があり、どちらも紙ではないようで、有名な「須磨」の海岸で3月上巳に流したものは「ことごとしきひとかた」であって、「紙」とは書かれていない。注釈書では「ことごとしき」は等身大の形しろであろうとしているが、おそらく薬人形のようなものだった。当時の紙は貴重品であ

前川 淳の

折紙散歩

東京
路上観察編

第一回

This pages "Origami Sampo" (Origami Walk) show "origami in the streets" and travel notes about origami.

In this issue, I introduce three structures I found in Tokyo, a park like a huge sheet of paper, a bridge decorated with paper cranes, and a wastepaper-shaped roof.

折紙散歩オー？

「折紙散歩オー？ 東京路上観察編？
また、わけのわからないことを」
「いやあ、編集会議で決まったもので」
「中身はなんなの？」

「街で見かけた折り紙らしきものとか、折り紙伝説探訪とか。路上観察や紀行だね」

「なにそれ？ 6回も連載続けられる？」

「いくつか腹案はあるよ」

「いくつか？ そんなのでいいの。新生雑誌なのに」

「折紙散歩という題なら、いざとなれば、何を書いても違和感がないぞ」

・・・ということで、連載開始。ホン



トーにそんなのでいいのか。

しかし、わたしたちの身の回りに、そう思えば、「折り紙」は案外多い。今回はその中から、「世田谷の巨大折り紙」「東十条の折鶴の橋」「杉並の紙屑屋根」の3つを取り上げよう。

世田谷の巨大折り紙

東急新玉川線用賀駅から世田谷美術館までの道は、歩道に百人一首が刻まれ、木陰に鬼瓦や彫刻がひそみ、いわくあり気なベンチや橋が並ぶという、実に奇妙な道である。名付けて「用賀プロムナード」。施工されたのはバブルの頃で、そうした時代の刻印を感じなくもないが、歩いていて面白い道であることは間違いない。その道のとっつき、駅近くの世田谷ビジネススクエアの足下にある「用賀くすのき公園」が、問題の物件である。この公園で目を引くのは、その名にあるくすのきではなく、高さ4m余りの鋭角的構造物



「用賀くすのき公園」全体像
9対5の長方形の隅が「折られて」いる。

である。これは一見するとピラミッドのようなのだが、そうではない。公園の設計者の意図は、少し離れて見るとわかる。道路をまったく9対5の巨大な長方形。その端が折り返されている。そう、ピラミッドのようなものは、地上に張り付いた長方形の折り返し部分なのである。公園全体としては、植栽のある円形のスペースと組合わされており、ペーパーウェイトに押さえられた紙切れのようでもある。

折り紙者(※注1)としては、長方形の比率が、正方形や1対ルート2では



今まさに折り畳まれんとする(?)公園。

本文にもあるように「わけのわからない、ネタがどこまで続くのか心配な」新連載のスタートです。著者は「仕事も忙しい。阪神タイガースもそこそこ闘っている。時間が足りない。でも、折り紙も忘れてはいないぞ。・・・創作はあんまりしていないけれど」と言っています。読者のみなさんも、このページに相応しい情報があったら、編集部にお寄せください。



筆者紹介＝東京生まれ。折り紙創作・研究家。折鶴モノコレクター。「一足めのわらじ」は科学技術計算。阪神タイガースの熱狂的なファン。

なく、9対5である点が気になる。この比率で何を折ろうというのか。用紙形は正方形でないと、マニアは納得しないぞ。

公園の全容を見るには、地上27階の世田谷ビジネススクエア・タワービルの上階からの眺望が一番だが、残念な

がら、このビルの上階はすべて外資系のコンピュータ企業のオフィスになっていて、関係者以外は入ることができない。

なお、「用賀プロムナード」の設計者は、その名も怪しい「象設計集団」なる建築家グループである。

東十条の折鶴の橋



環状七号線「平和橋」欄干の折鶴。
上を通るのは東北・上越新幹線。

JR東十条駅から徒歩5分、JRと立体交差する環状七号線の橋梁・平和橋。京浜東北線・東北本線と高崎線をまたぎ、東北および上越新幹線がそのまた上を通る。この橋の欄干に、鋳鉄製1m四方ほどの折鶴の透かし彫りが使われている。折鶴の数は全部で・・・おっと、数えて来るの忘れた・・・かなりの数であり、細工も悪くない。橋上の街灯にも、「正方形の紙がひらりと舞う」という折り紙を思わせる意匠がどこかされている。近くのひとは見に行っても損はないだろう。別に得もないとは思いますが。わざわざ見物に行かなくても、東北や信越に行く際、逆に上京する際に、「折鶴の欄干のある橋をくぐったぞ(あるいは またいだぞ)」と思ってはどうだろう。前項の「用賀くすのき公園」があるのも、交通の要衝、東名高速道路の用賀インターチェンジ横である。東名高速道路で東京から出る際、逆に東京に入る際、「巨大折り紙の横を通ったぞ」と思っ

うだろう。どうだろうって、どうもこうもないか。まあ、いいや。

平和橋の由来は未調査だが、それにしても、平和とくれば折鶴。折鶴の持つ平和の象徴性は完全に定着している。一方、戦争の折り紙と言え、紙鉄砲。まあ、これも平和といえ、平和である。空砲だし。なお、この橋の存在は、小笹径一氏(※注2)から聞いた。

杉並の紙屑屋根

折り紙に関係があるとするのはこじつけかもしれないが、あまりにぶつとんでいるので取り上げたい。JR中央線荻窪駅から徒歩10分、杉並区天沼2丁目24番。ごくごく普通の住宅街にある変な家、I氏邸。窓や装飾もかなりキているが、なんといっても屋根がすごい。秩序なるものが感じられず、まさに、くしゃくしゃと丸めた紙屑のごとくなのである。いや、じっさいは、丸めた紙を超えた無秩序さと言ってよいだろう。丸めた紙の形状は平面を伸び縮みなく変形(等長変換)させたもので、ランダムな中にもある種の秩序があるが、この屋根には等長変換とは言えない部分も多いからである。「なんじゃこりゃ度」が滅法高いこの物件の設計者は、建築家の堀川秀夫氏とのことである。

以上、「折紙散歩、東京路上観察編」の一席。次回は、関西食い倒れ編? そ

折紙辞典

【折り紙者】(おりがみもの) 名詞
折り紙をするひと。paper folderの訳語。かつてはオリガミアンという言葉が一般的だった。David Brill氏によると、origamianには、「茶道や華道のように、正装をして折り紙をするような堅苦しい感じがある」ということだ。そうすると、われわれはたしかにorigamianではない。origamianは最近英語圏では使われず、paper folderと言うことが多い。origamistという言い方もあるが、origamerとは言わない。ゲーマーになるからか? 日本では、折り紙愛好家が一般的で、折り紙者は、たぶん「ここ」でしか使われない。

【小笹径一】(こざさけいいち) 人名
折り紙作家。代表作にカメラ、ギャオス、キングギドラなど。おなじくカメラの創作で知られる巨体の作家に笹出晋司氏がおり、珍しい笹を含む姓もあって、大笹、小笹と並び称されている。本職はトラックのドライバーで、渋滞にはまると、運転席で折り紙を折っている。飄々とした雰囲気を持ち主。

れとも、青森折紙集落探検記編? 文京折紙散歩編? 神奈川・静岡に巨大折鶴を見た編? 期待しないで待て。



杉並区天沼I氏邸
屋根の「折り目」は類を見ない。

1 がく紫陽花 田中具子(色紙百花より)



ついにオープン!

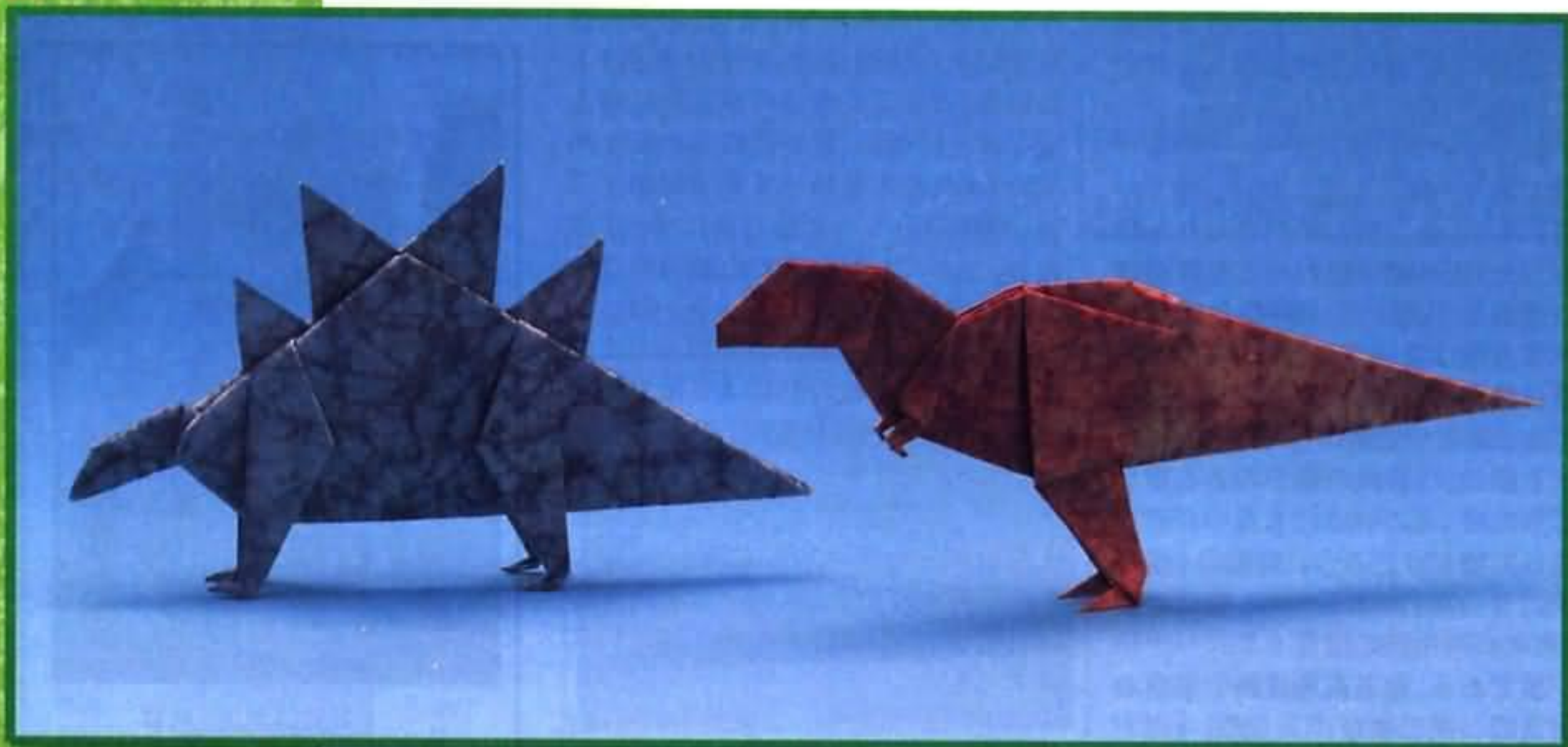
新装刊により、ついにカラーページが登場。

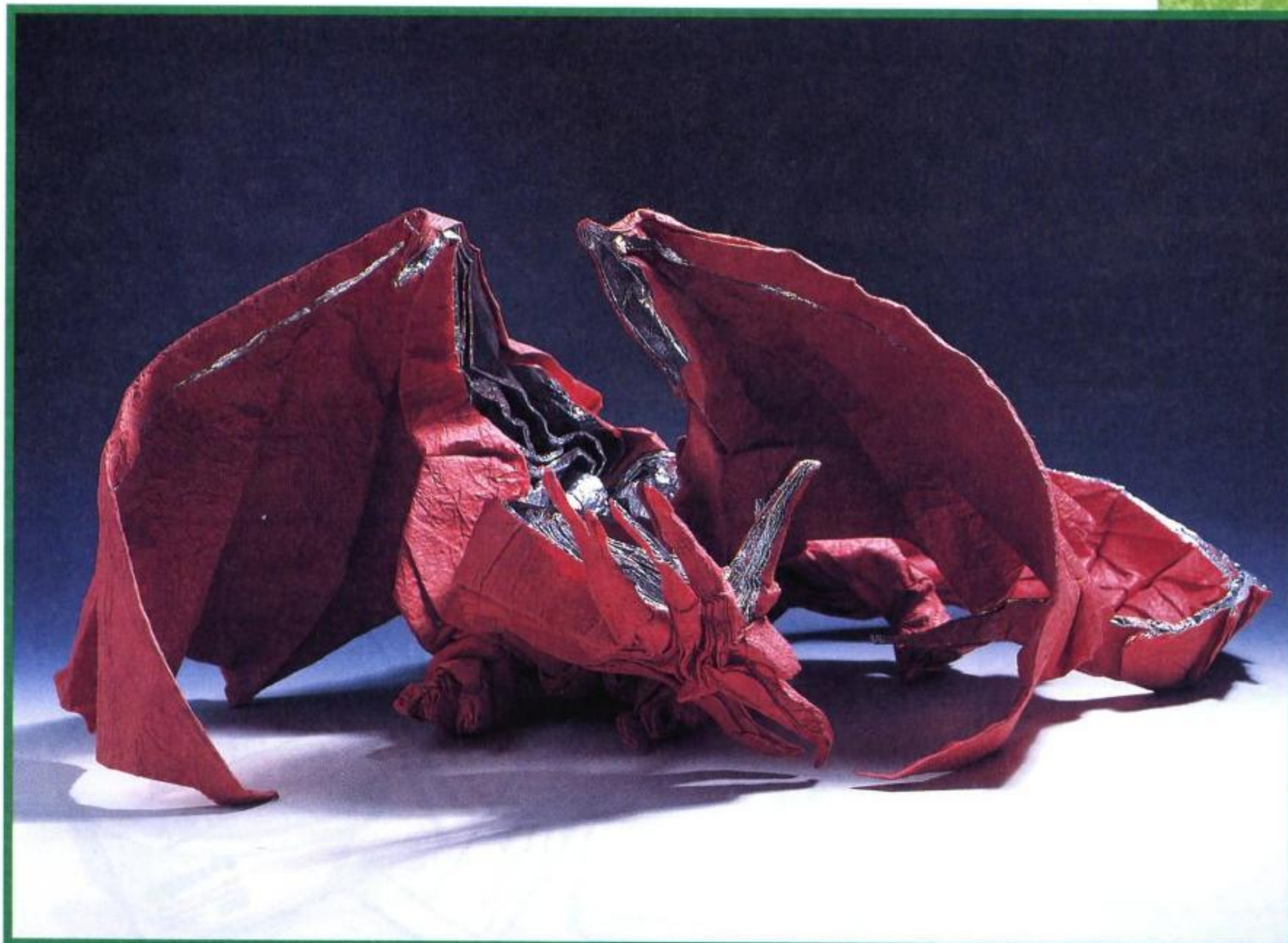
ここでは特集や折り図のコーナー、連載等で使われた作品と共に、優れた新作、名作などを掲載していきます。

まずは、新連載の「折紙色紙百花」から「がく紫陽花」の登場です。色や細かい配置などを知ることができるので、皆さん是非参考にして下さい。

2つ目は「古紙染色法」からの2点です。染色というからにはやはり色が

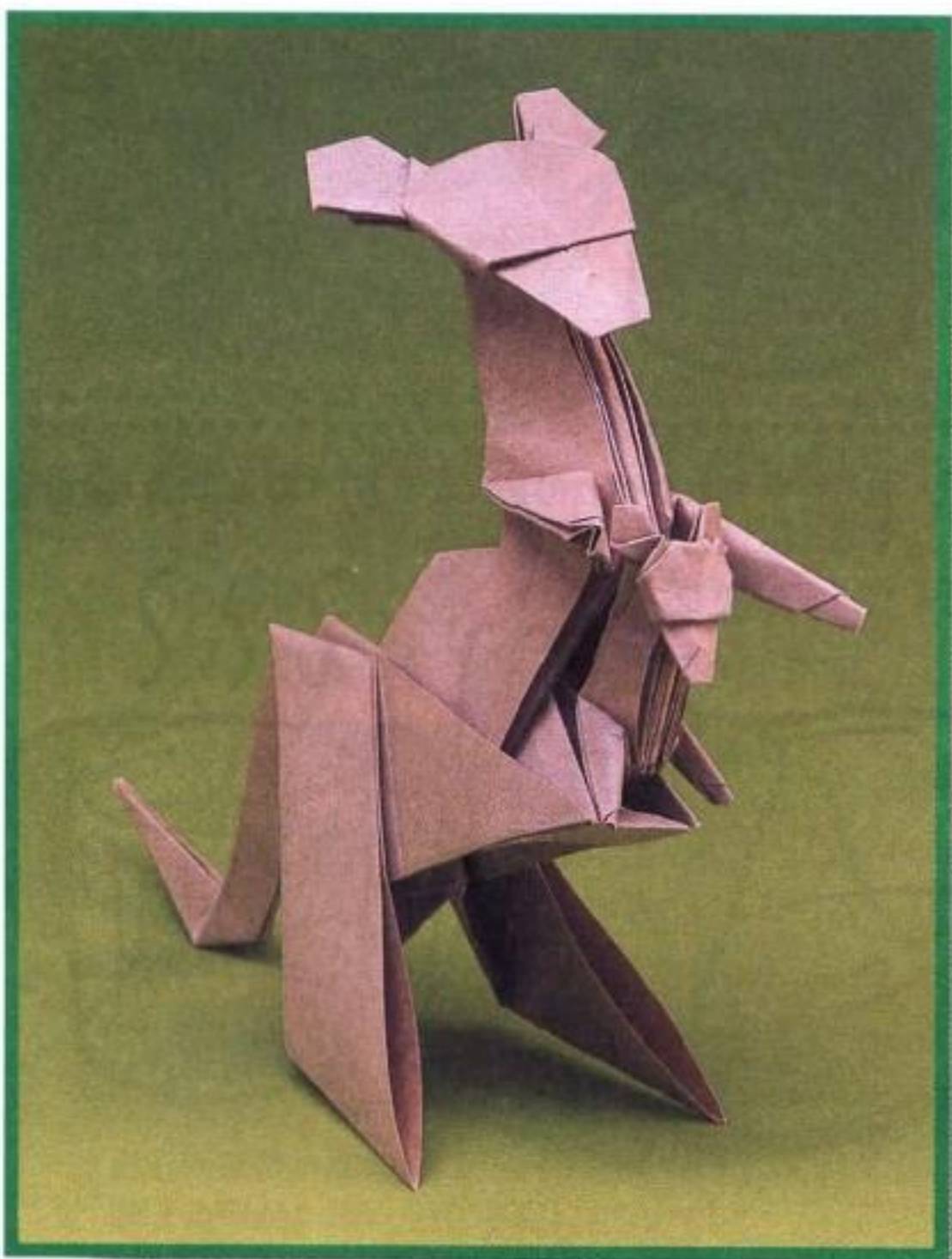
2 ステゴサウルス/ティラノサウルス 高井弘明(古紙染色法より)





3 エンシェントドラゴン 神谷哲史(展開図折りに挑戦)

4 カンガルー 西川誠司(今回の折り図より)



分からないとしょうが無いですよ。どうです、いい色でしょう？

3つ目はあのTVチャンピオンにも登場した、エンシェントドラゴンです。若い力が繰り出すコンプレックス作品の凄さに触れて下さい。

4つ目は折り図で特集した西川誠司氏の「カンガルー」です。「パンダ(未掲載)」、「うさぎ」で構成される、複合動物三部作の一つになります。今後も沢山の素晴らしい作品を掲載していきます。乞うご期待。

折り紙 テクニック 講座

The tecinc of Paper Folding

オリガミアンとしてもっとステップアップしたいあなたに贈る、プロの技を伝授するコーナー。第1回は恐竜折り紙でおなじみの高井弘明さんです。

大の読書好きの高井さん。本の包装に使われている袋がよく貯まるため、なんとかこれを有効利用できないかと思ったのがこの染色法の始まりだそう。

この紙は、高井さんの恐竜作品など自然物の折り紙に最適。貴重な資源がオリジナリティ溢れる紙に大変身して、大きな作品も作れて一石二鳥です。

教えてくれるひと



高井 弘明

Takai Hiroaki

1957年、東京都生まれ。東海大学卒業。笠原邦彦氏の著書に影響を受けて創作の道に。恐竜と怪獣の折り紙に命をかける会社員。

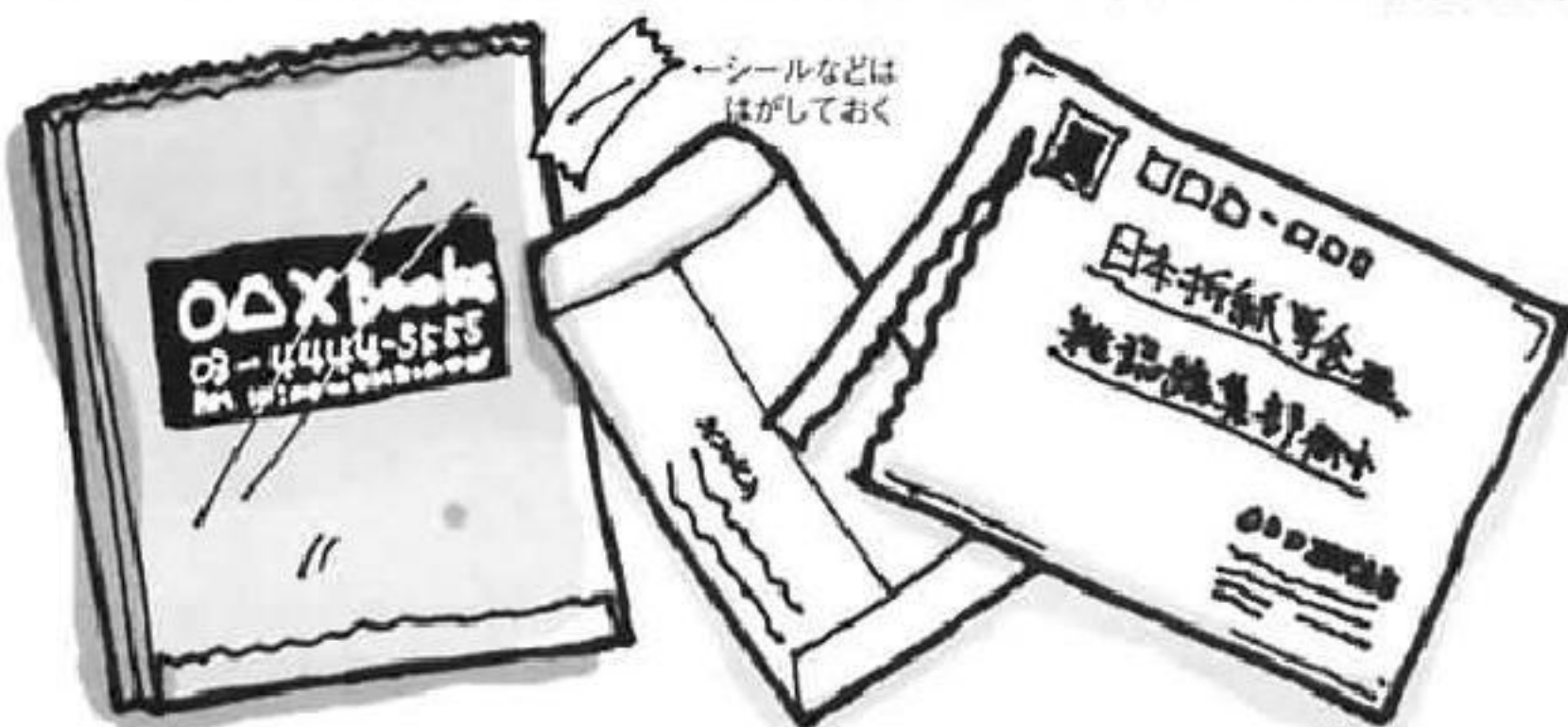
FILE 01 — Dyeing Used Paper —

古紙染色法

身近にある紙(古紙)を使って気軽に染色。とっても簡単に、しかもほとんど和紙にしか見えない紙ができあがります。折り紙探偵団コンベンションでのこの教室は、いつも満員の盛況ぶり。一度だまされたと思って試して下さい。

準備するもの

- 材 料 使用済み封筒 (事務用封筒、書店の紙袋、スーパーの紙袋 etc.)



- 染 料 DIYの店や手芸用品店にある、布を染めるための染料。

価格は300~1,000円くらい。粉末、液体いろいろで、様々な色があります。染料については、ブラシ染め・筆染め用の物でも、煮て染める物でもかまいません。



お勧めは「みやこ染・パラダイス本舗」の「コールダイオール」や「コールダイホット」。一つ360円で、かなりのカラーバリエーションがあります。

- 道 具 洗面器・新聞紙・手袋(手荒れや汚れの気になる方)・ぬるま湯(適量)



作り方

1 紙袋をぬるま湯に浸します。

- 長時間浸すと紙はちぎれやすくなってきます。ノリがはがれる以上の時間は浸さないこと。



2

10分ほどつけたら、接着部分を剥がします。

- 水性の接着剤ならきれいにはがれます。
- ボンド系の接着剤の場合は、ボンドの部分をどちらかの紙の部分に残して、ゆっくりとはがすようにしましょう。



5 染料とお湯を1対10の割合で溶かします。

染料 ×1 お湯 ×10



- お湯は少なめに、紙がやっとなつかうくらいにするのがコツ

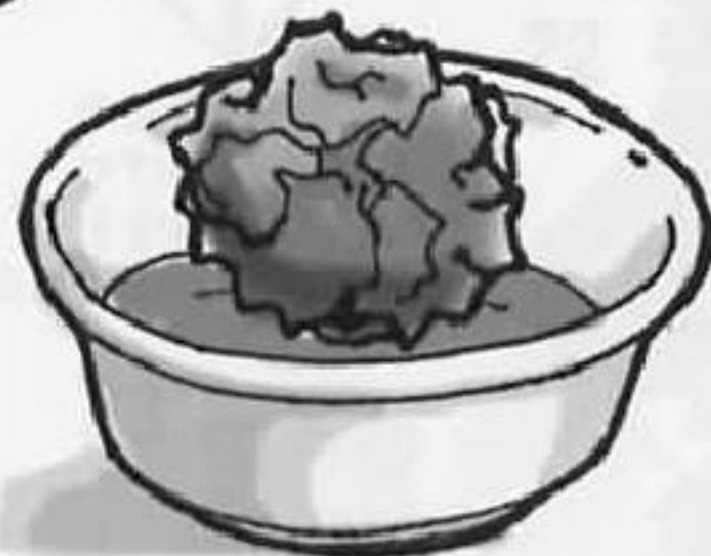
4 団子状にして、水分を切ります。



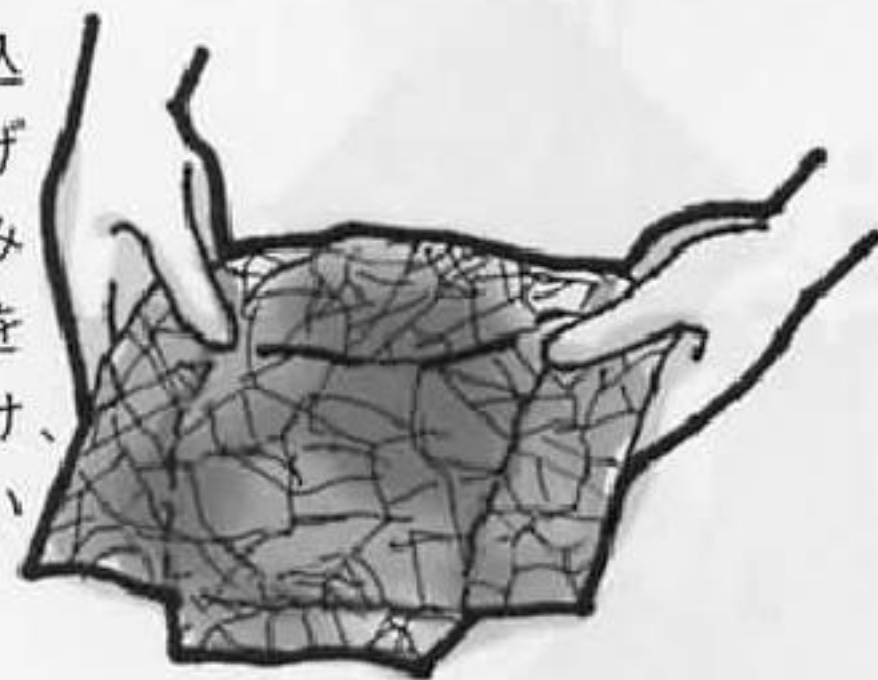
3 ノリをはがした紙を、やさしくもんで、全体にむらなくシワをつけます。



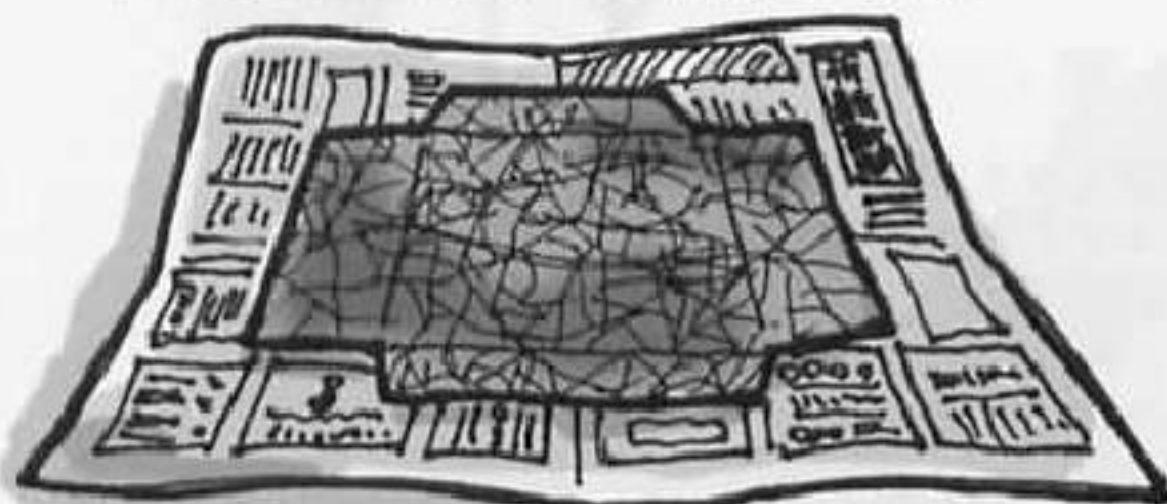
6 団子状の紙を液につけ込みます。



7 全体に染料を染み込ませたら、一度ひろげてみます。染料が染み込んでいない部分を再び染色液につけ、紙全体をムラのないように染めます。

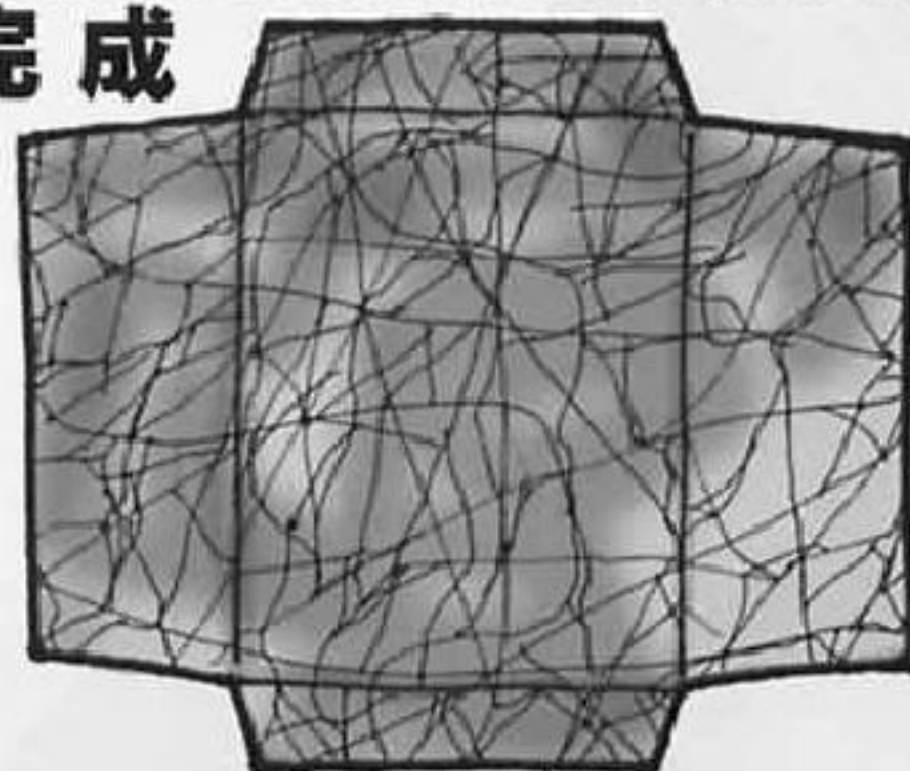


8 全体がムラなく染まったら、軽く絞り、水気を切って新聞紙などの上にひろげます。10分ほどしたら、別の新聞紙の上に移し、しわをきれいに延ばし、乾燥させます。



ある程度乾いてから、カーペットなどの下に入れておくと、仕上がりがよりきれいな平面になります。

完成



この紙を使った高井さんの折り紙は、カラーページに掲載されています。

カンガルー

Kangaroo

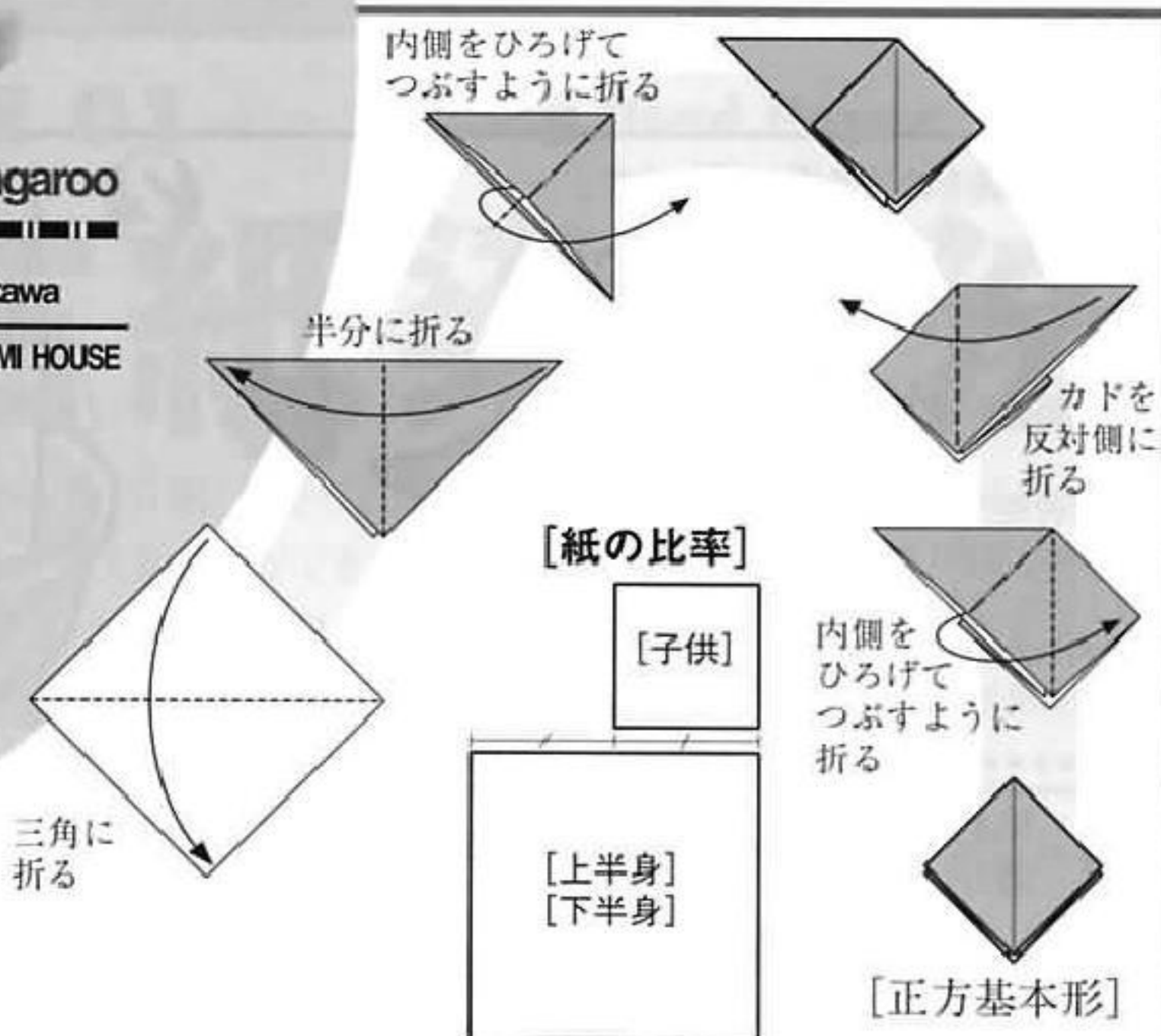
作・西川誠司

Model designed by Seiji Nishikawa

折り図・おりがみはうす

Diagrams Produced by ORIGAMI HOUSE

作者の言葉「耳の形がうまく出来たと、自分としては会心の作です。実は3部作(カンガルー、うさぎ、パンダ)はそれぞれ下半身にこだわりがあります。作者の思い入れは通じるのでしょうか。」



[上半身]

正方基本形から始める

1

カドとカドを合わせて折り筋をつける

2

カドを中心に合わせて折り筋をつける

3

縁と縁を合わせて折り筋をつける

4

縁と縁を合わせて折り筋をつける

5

つけた折り筋を使って内側をひろげてつぶすように折る

6

内側をひろげてつぶすように折る

9

縁を折り筋に合わせて斜めに折り筋をつける

10

つけた折り筋と縁の交点とカドのところで斜めに折り筋をつける

11

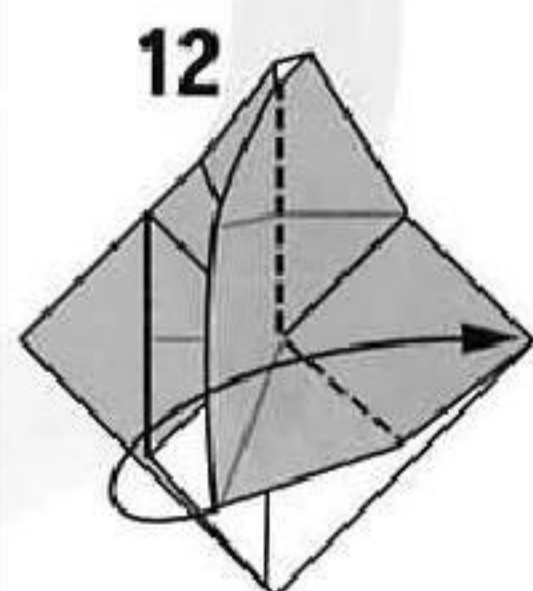
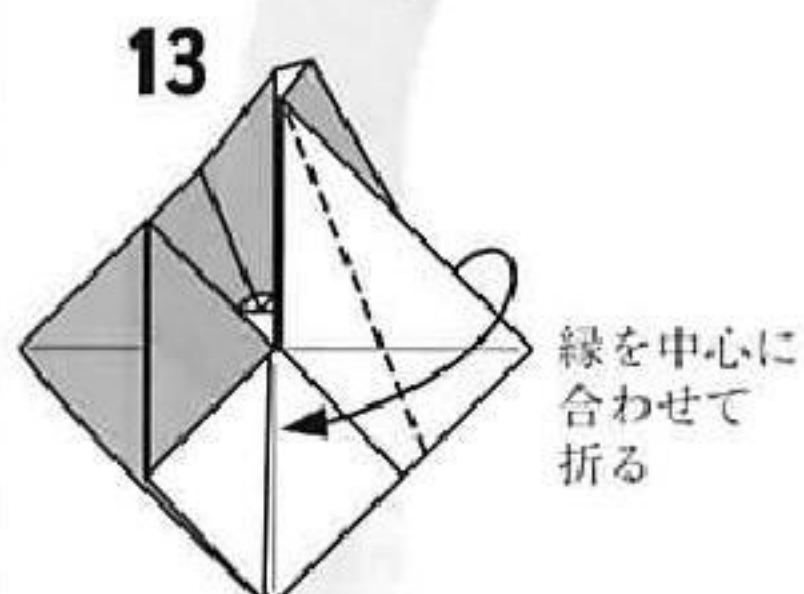
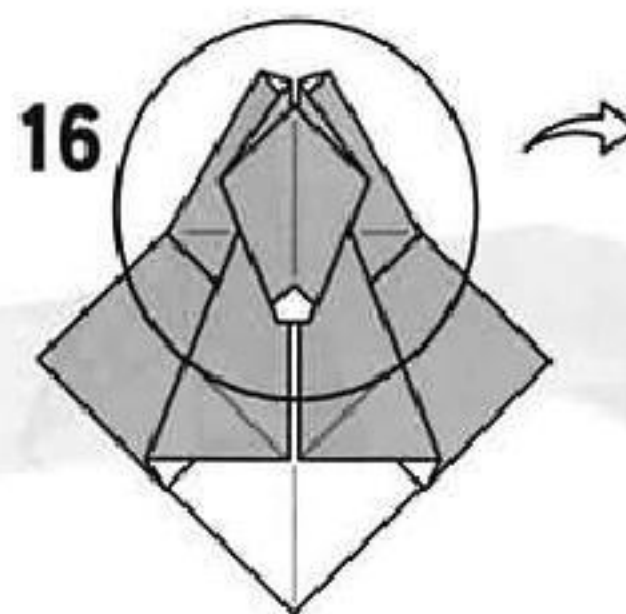
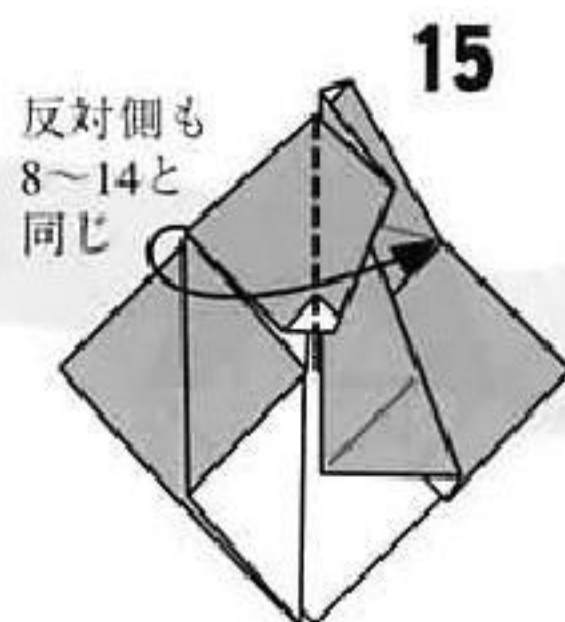
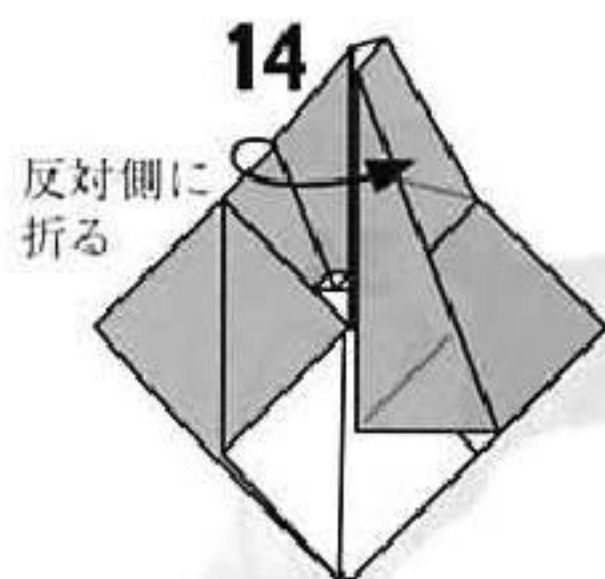
つけた折り筋で内側をひろげて黒矢印の部分を押し込むように折る

8

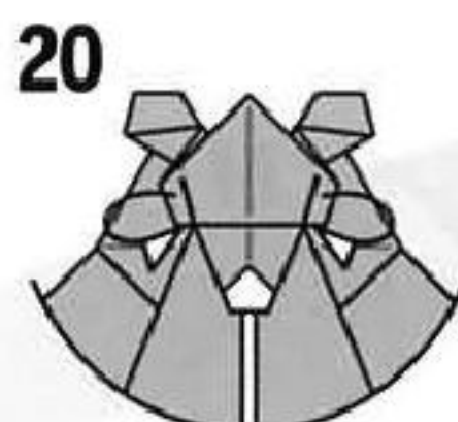
上のカドを反対側に折る

7

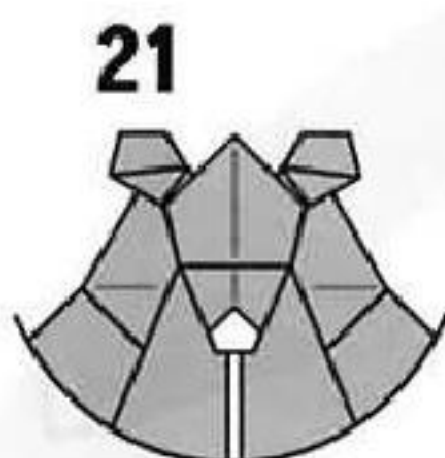
カドを少し上に折る



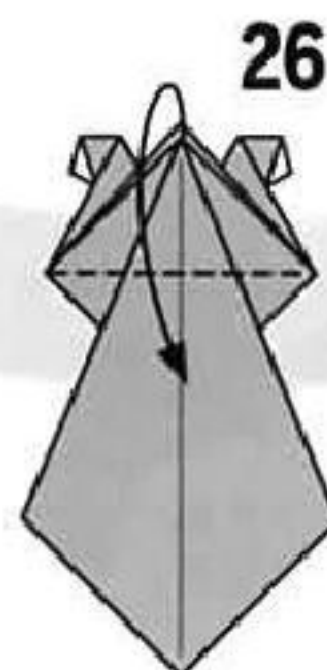
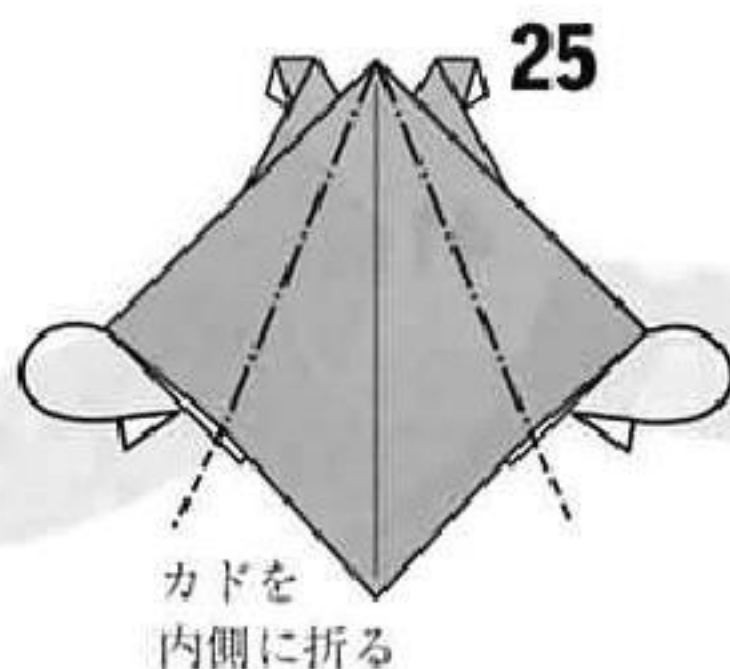
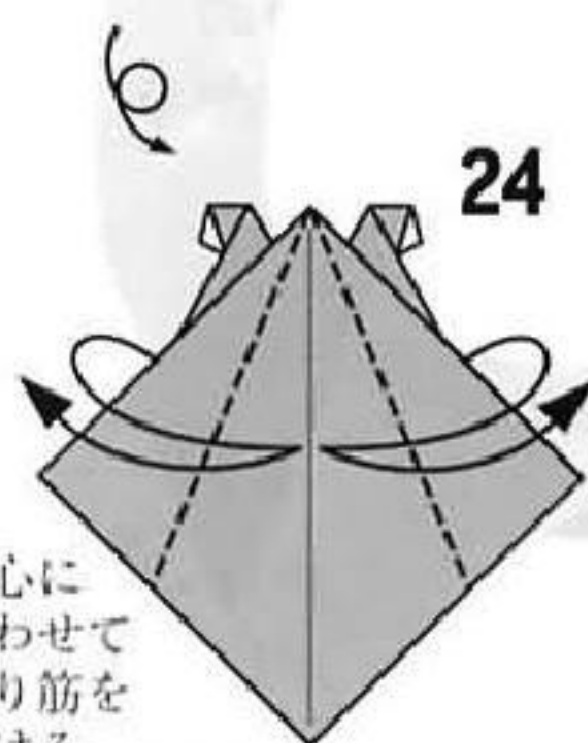
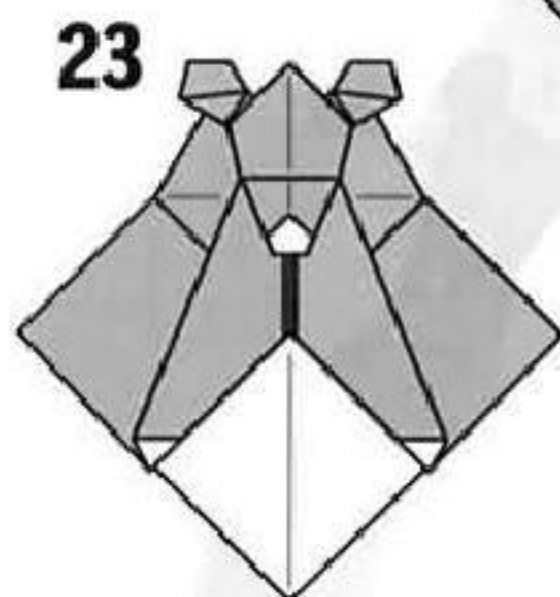
つれて上がった部分をつぶすように折る

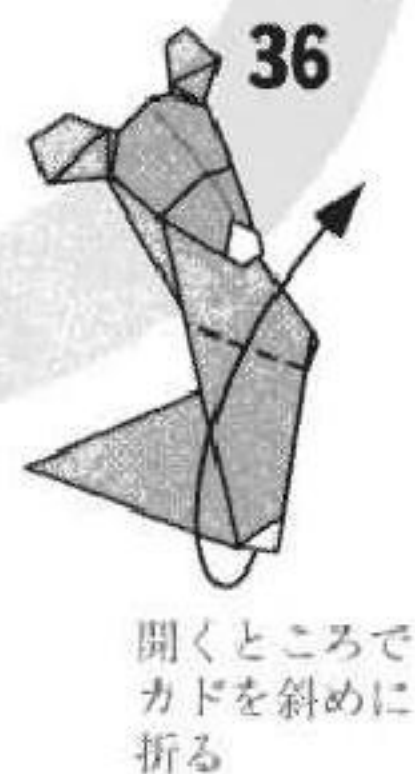
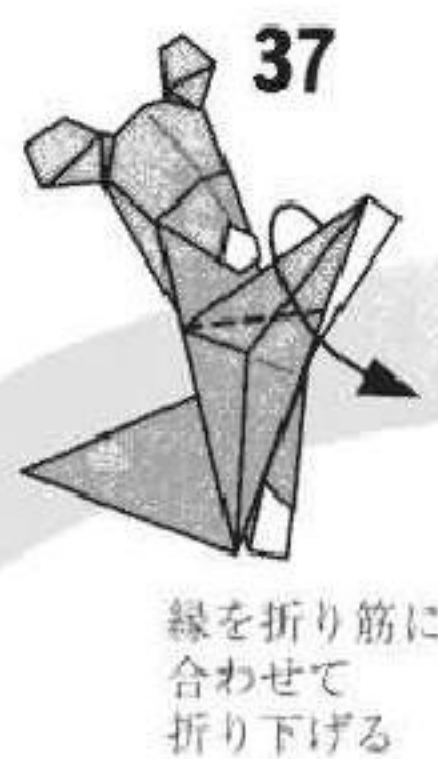
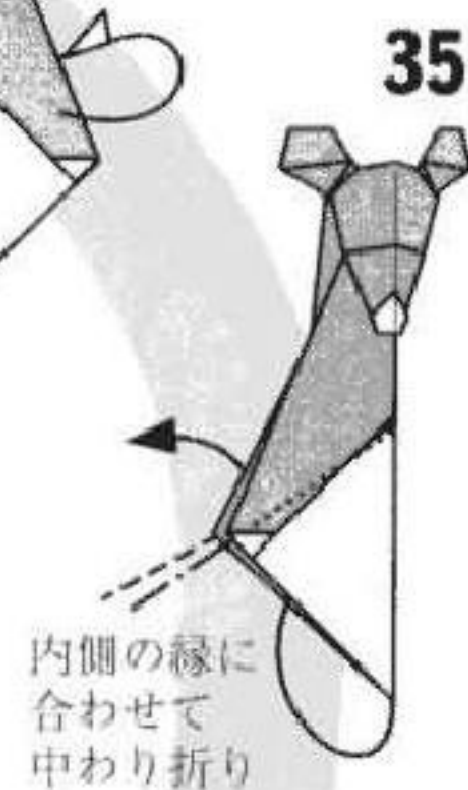
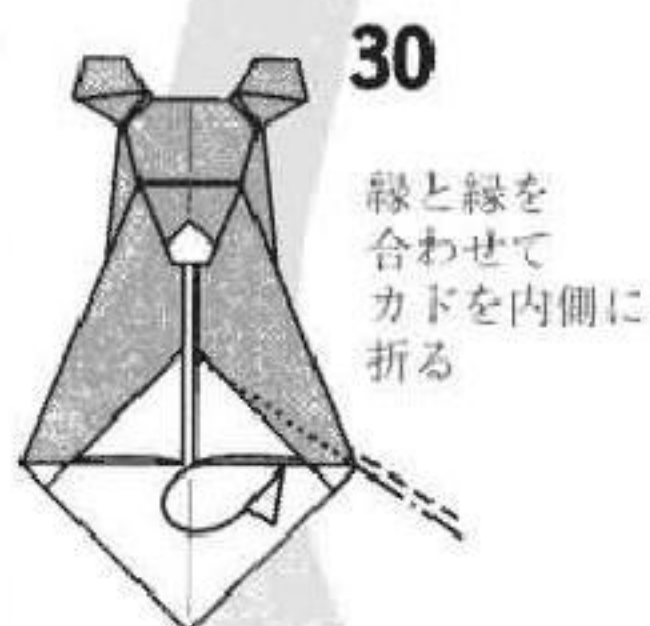
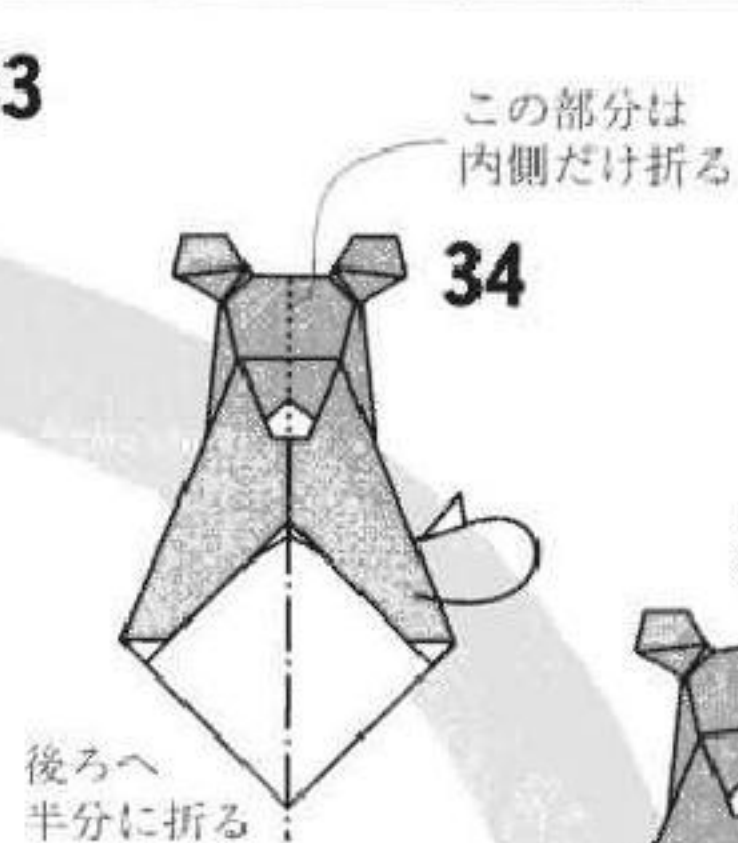
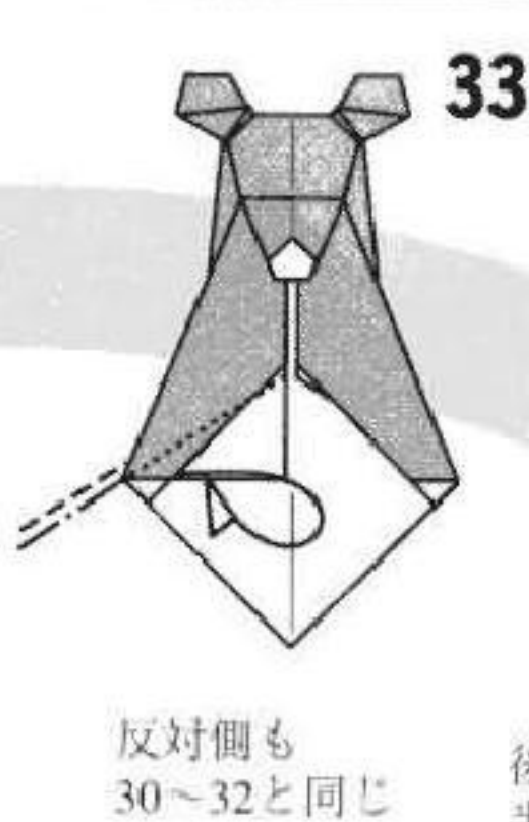
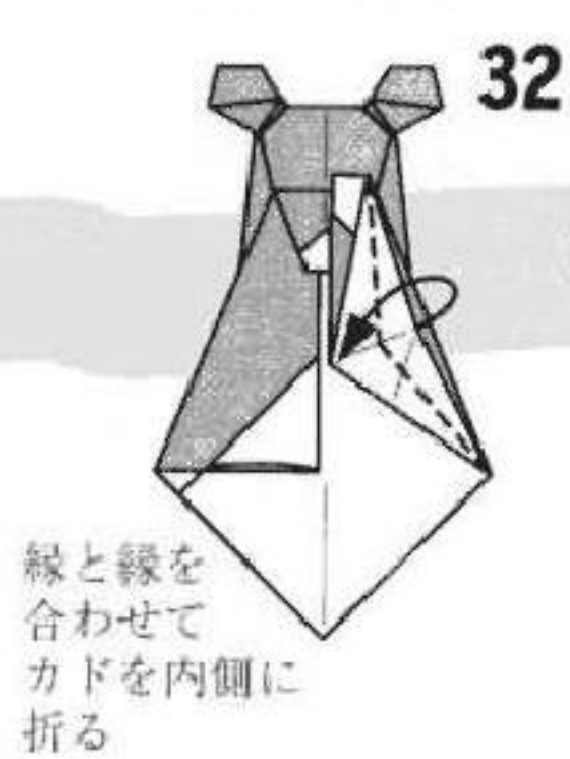
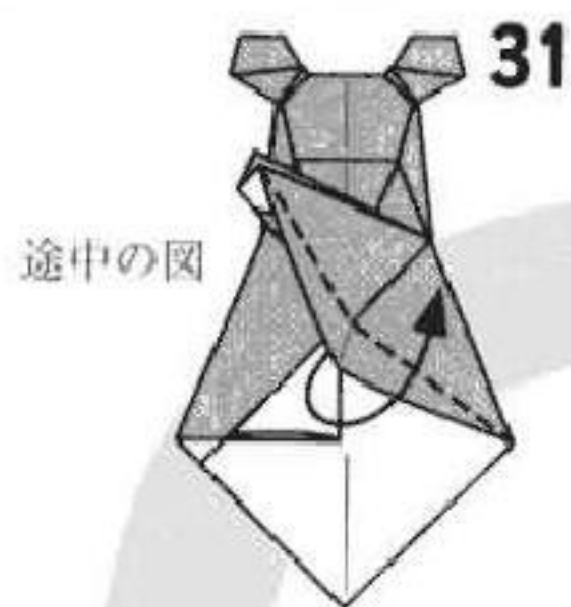


縁に沿って内側に折る

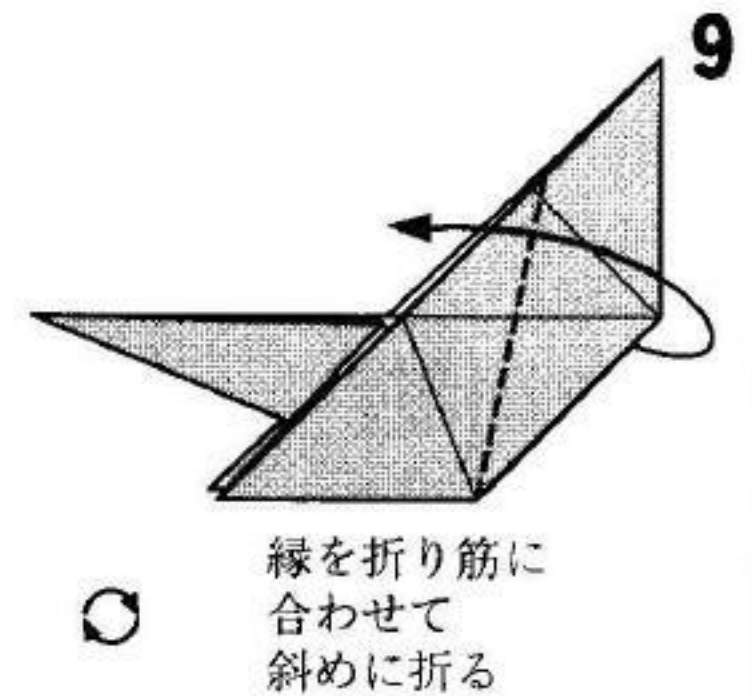
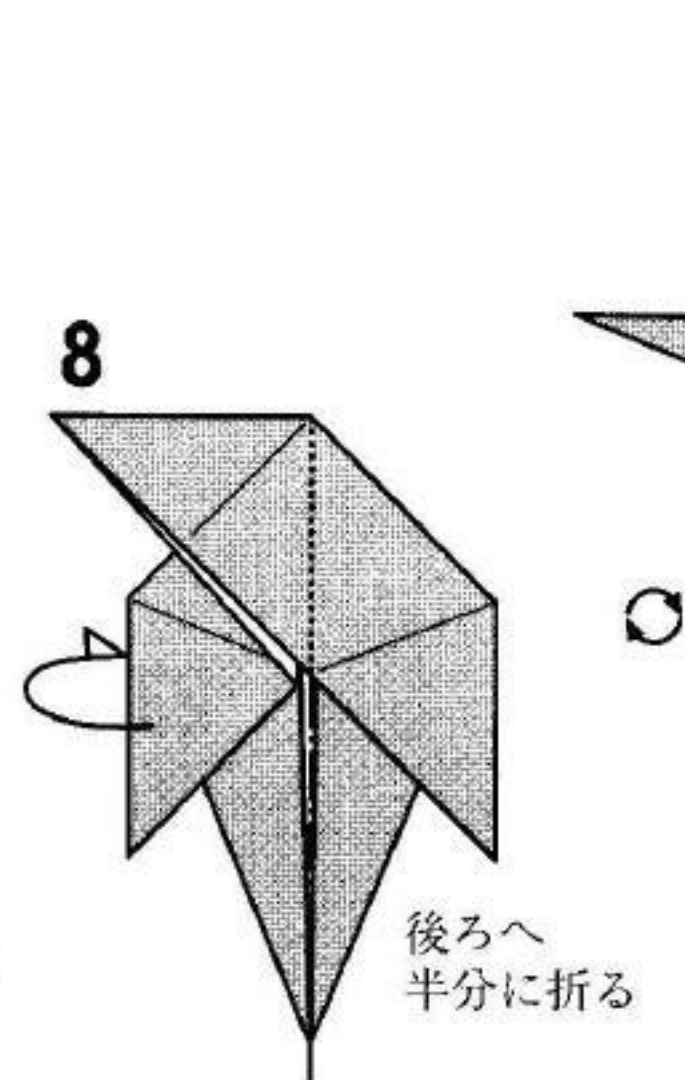
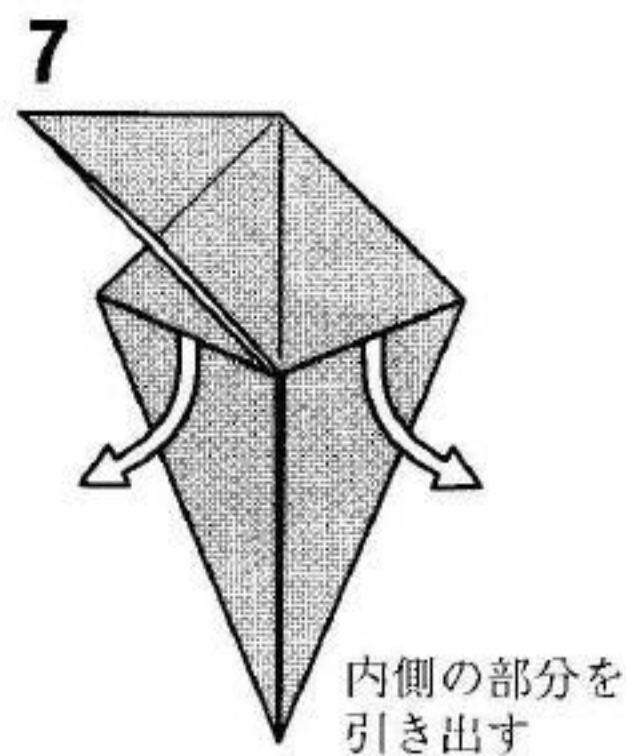
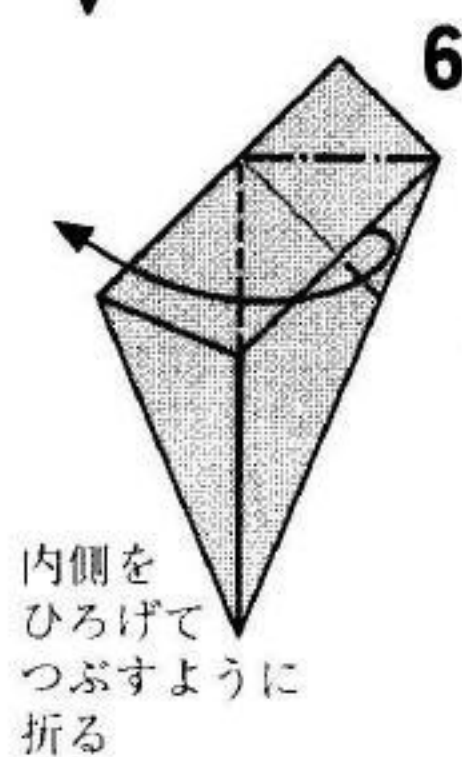
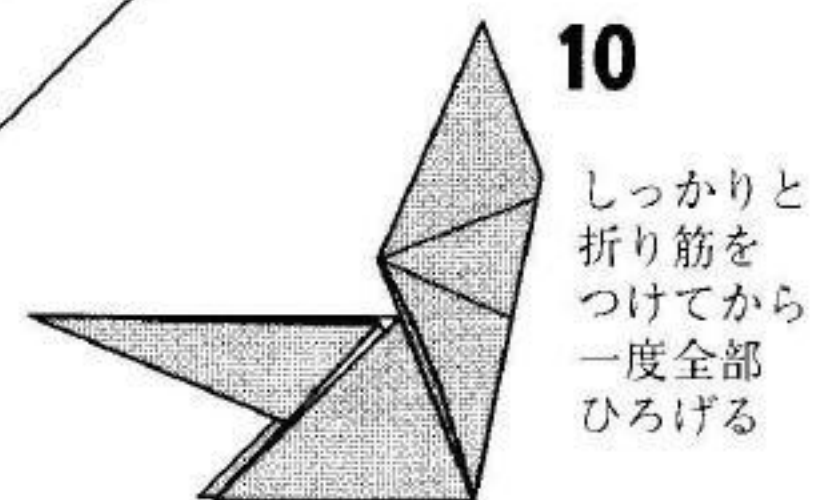
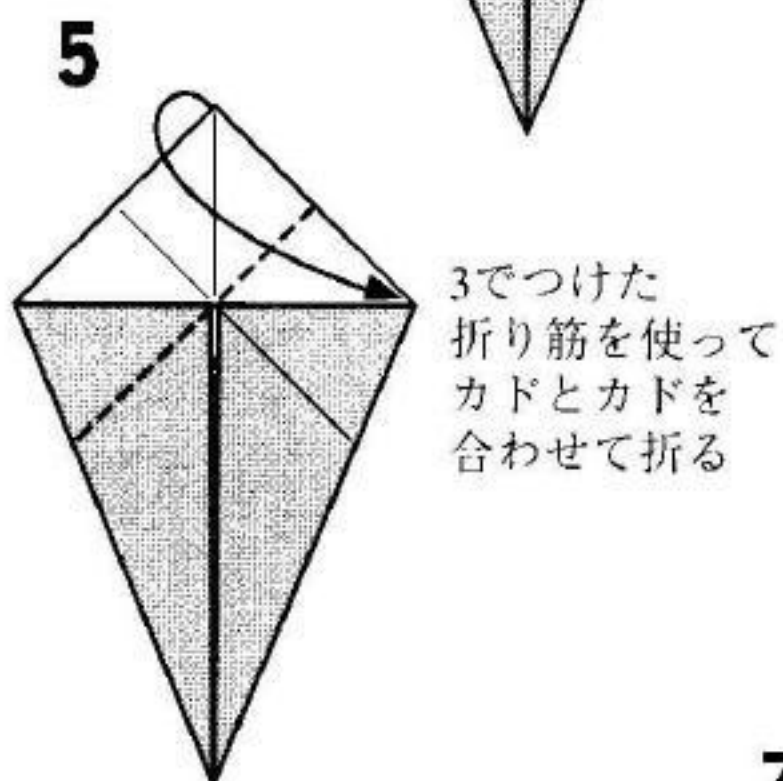
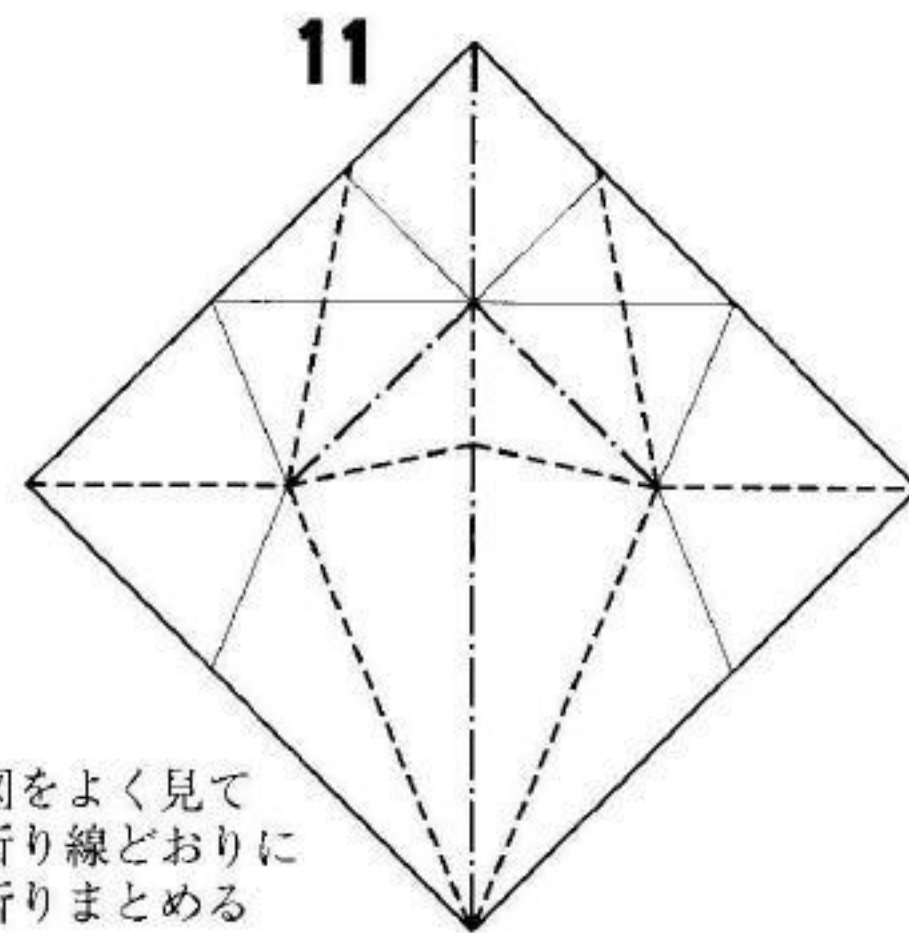
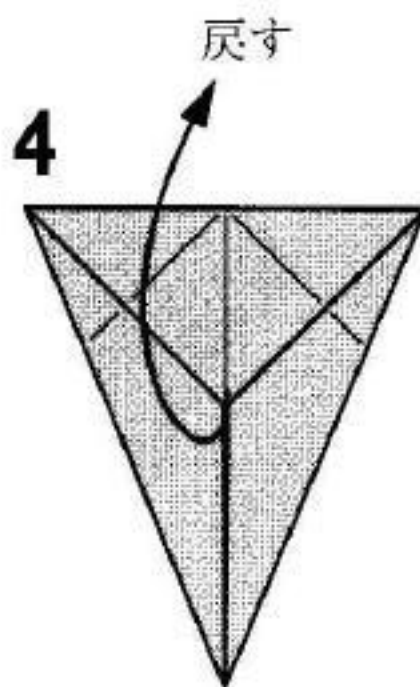
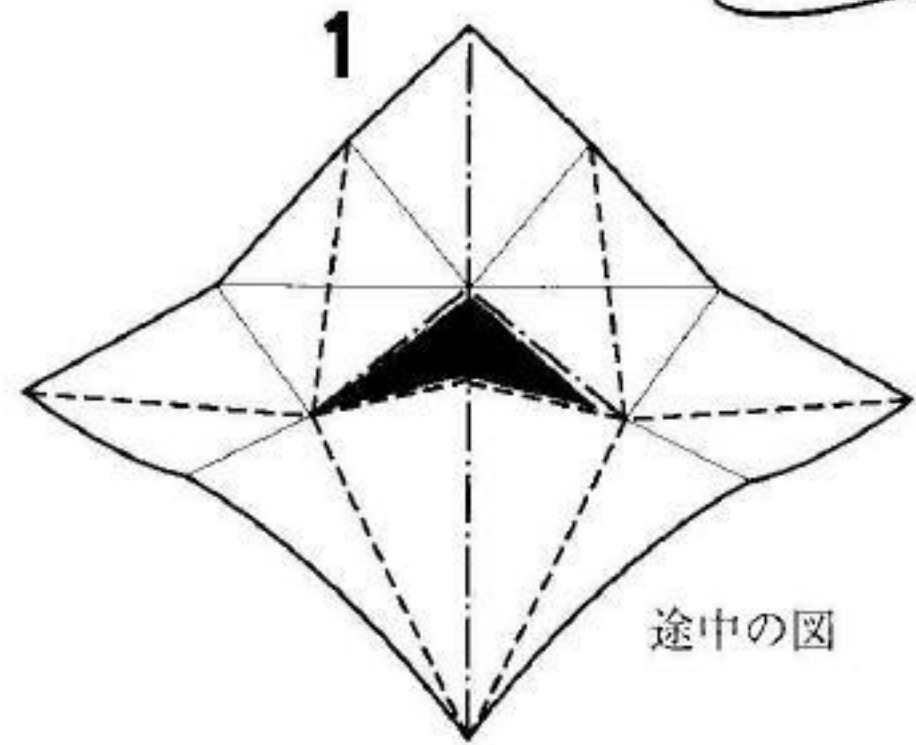
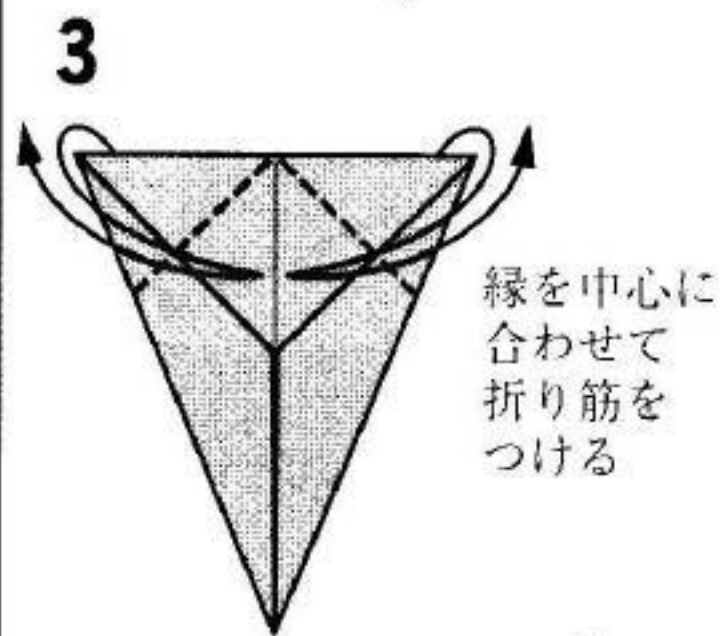
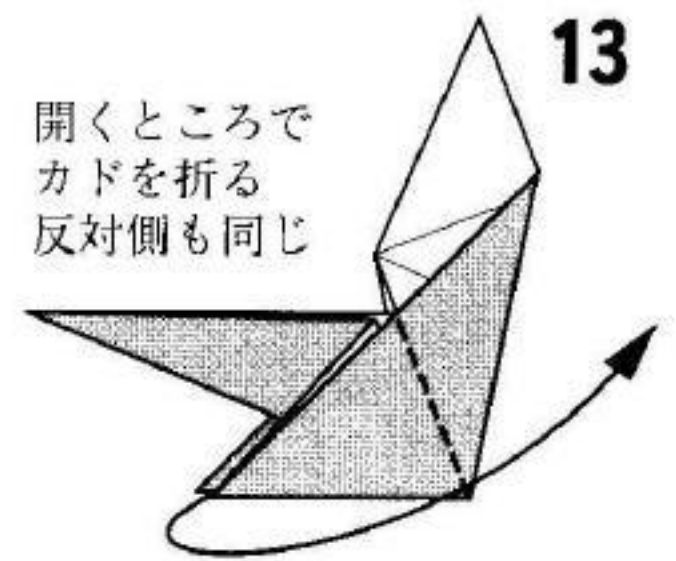
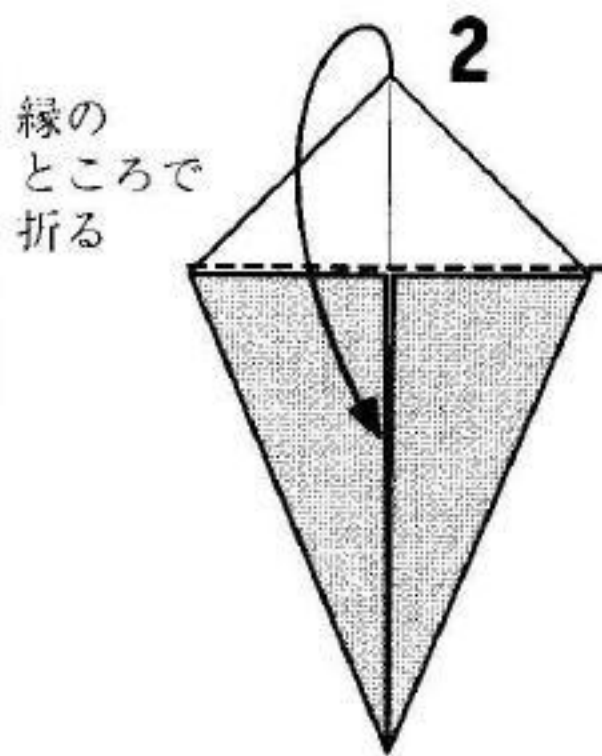
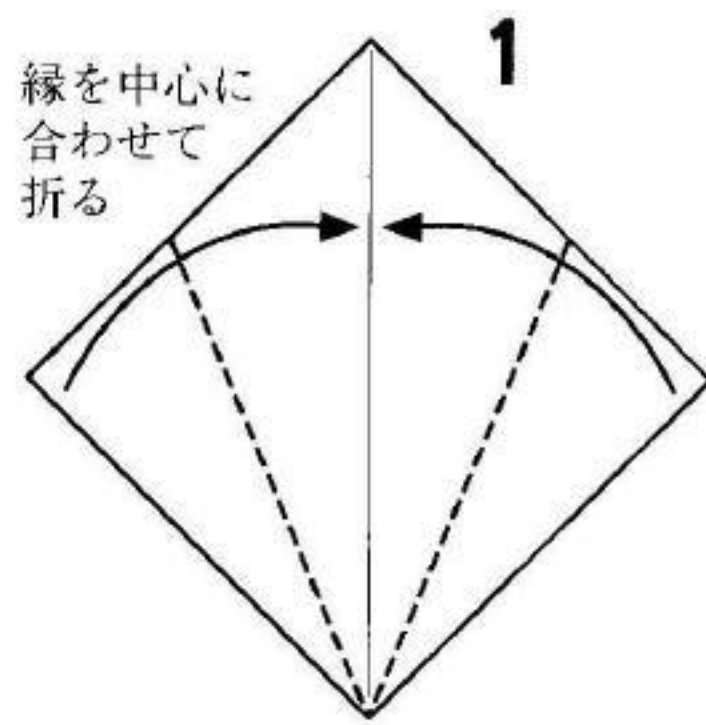


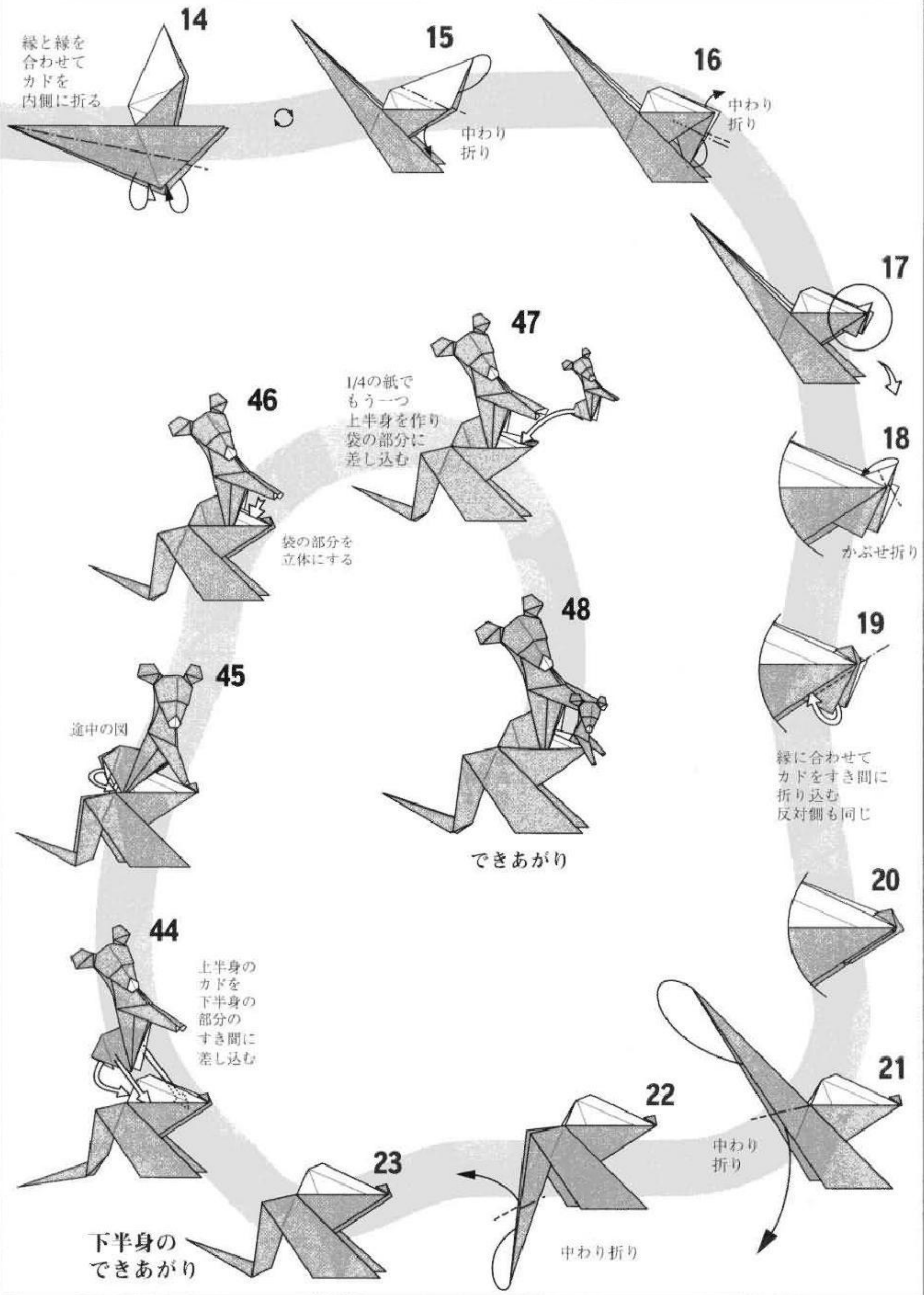
縁に沿って内側に折る





[下半身]





プレシオサウルス

Plesiosaur

作・西川誠司

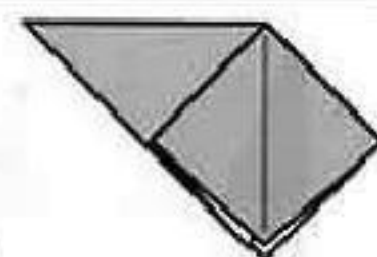
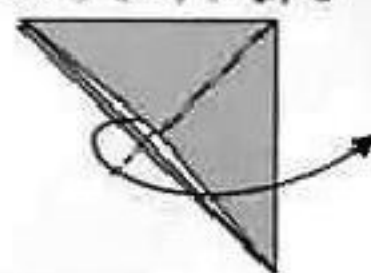
Model designed by Seiji Nishikawa

折り図・おりがみはうす

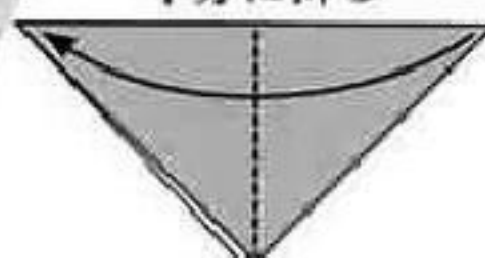
Diagrams Produced by ORIGAMI HOUSE

作者の言葉「恐竜おりがみ三人展に出品したものです。オーソドックスな手法で技術的に目新らしさはありませんが、お気に入りの一つです。」

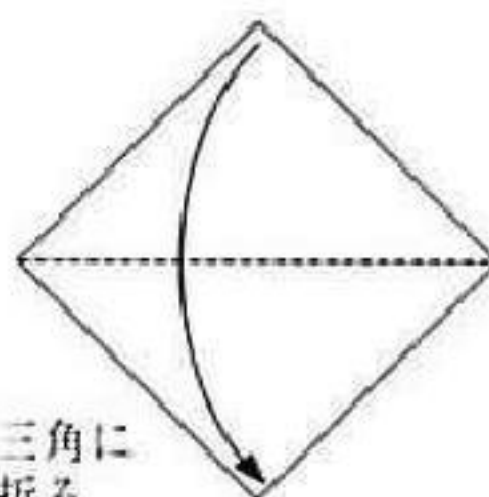
内側をひろげて
つぶすように折る



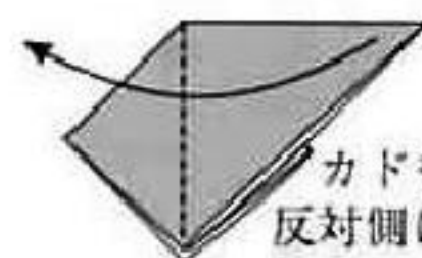
半分に折る



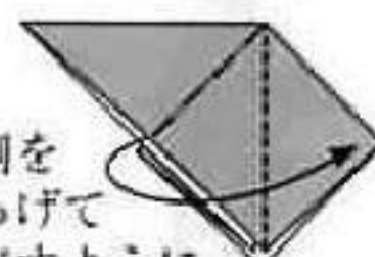
三角に
折る



カドを
反対側に
折る

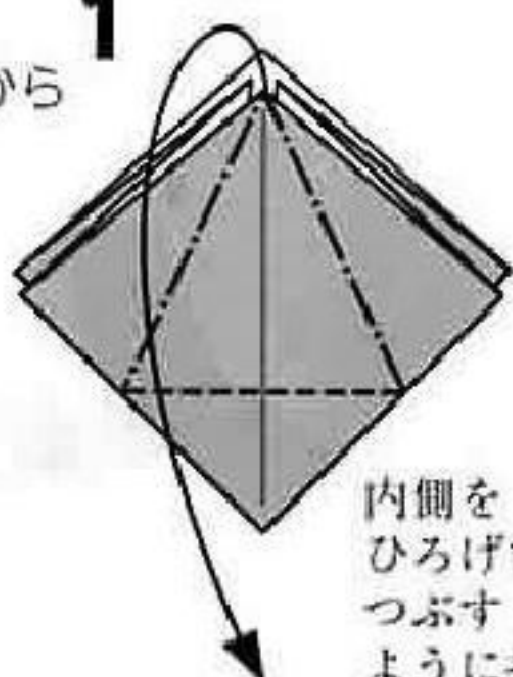


内側を
ひろげて
つぶすように
折る



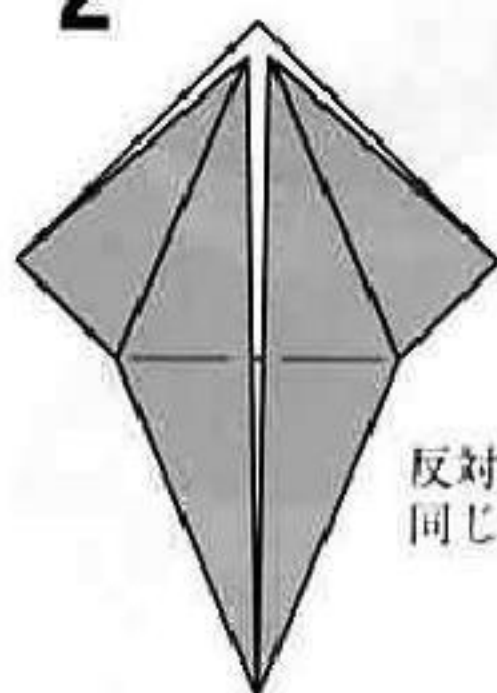
[正方基本形]

1
正方基本形から
始める



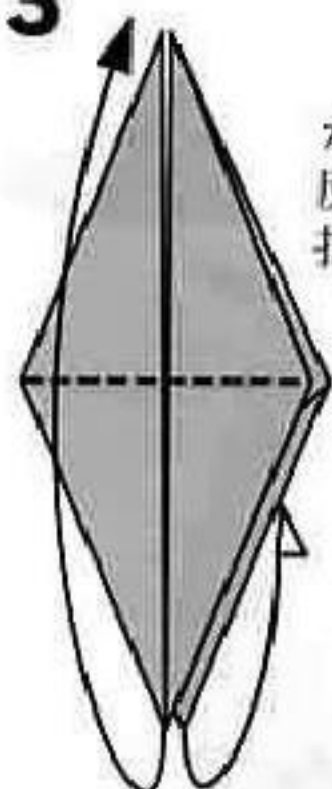
内側を
ひろげて
つぶす
ように折る

2



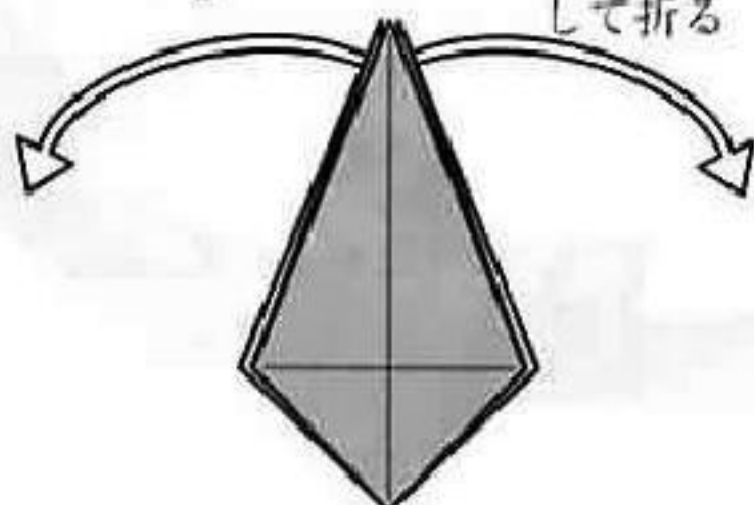
反対側も
同じ

3



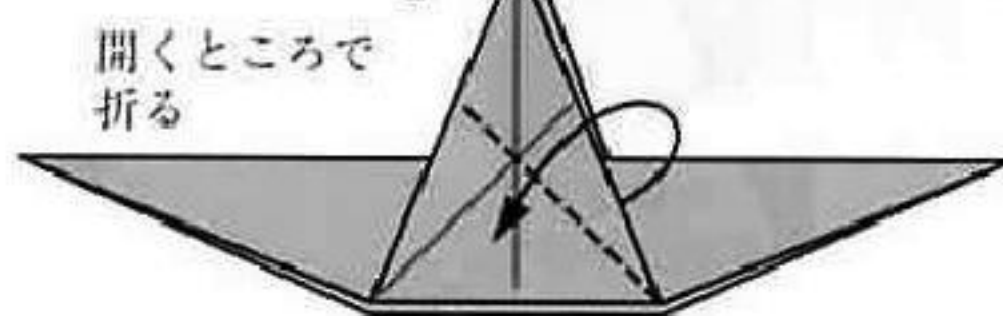
カドを
反対側に
折る

4



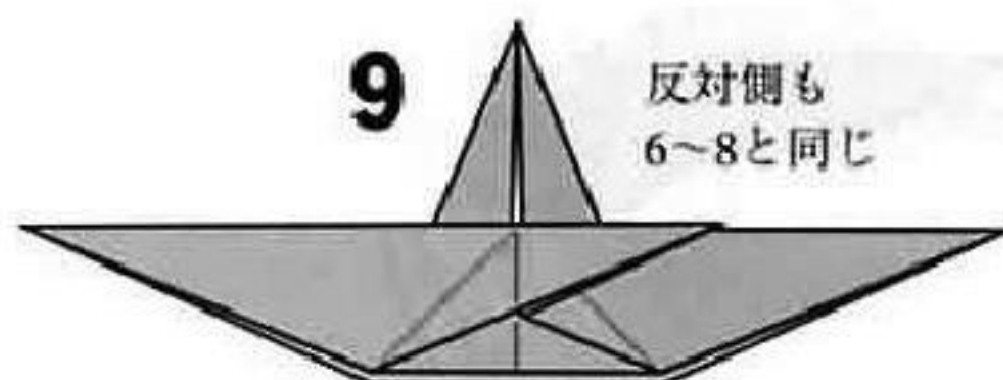
カドを左右に
引っ張るよう
にして折る

7



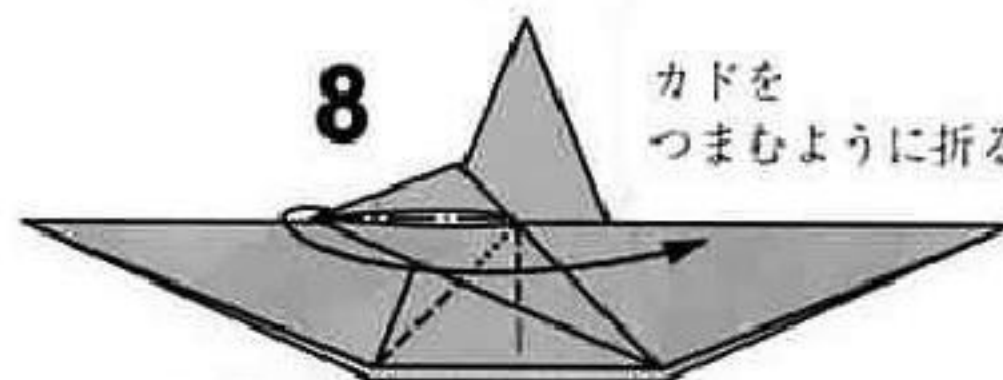
開くところ
で折る

9



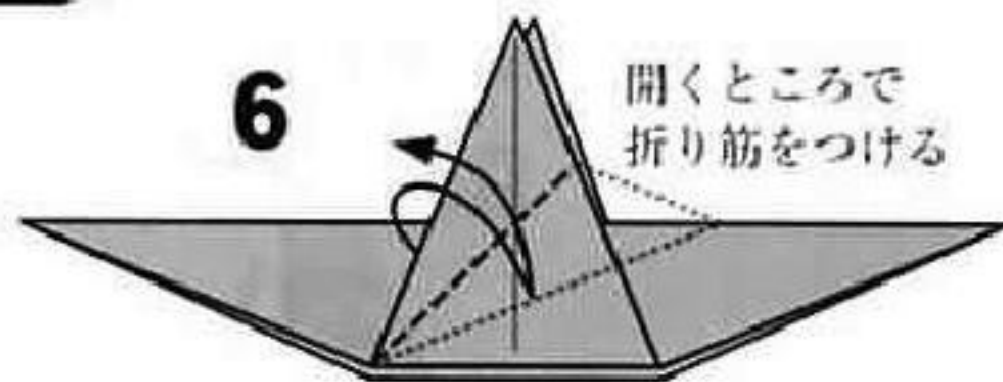
反対側も
6~8と同じ

8



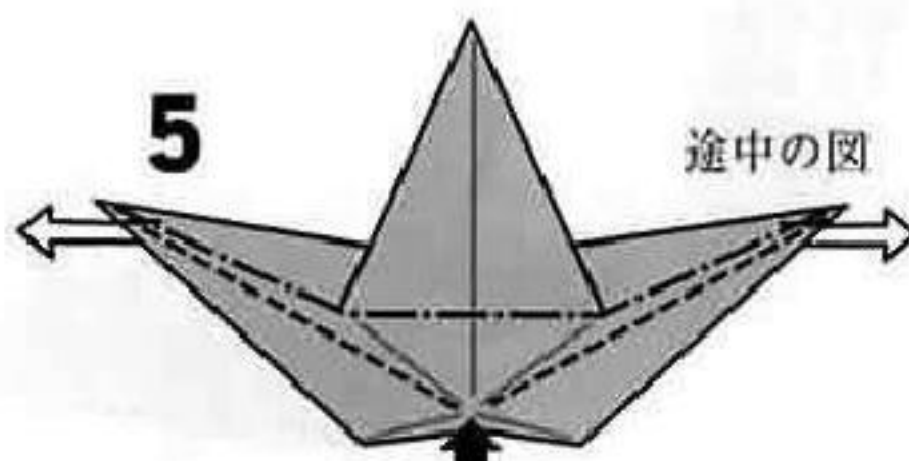
カドを
つまむよう
に折る

6



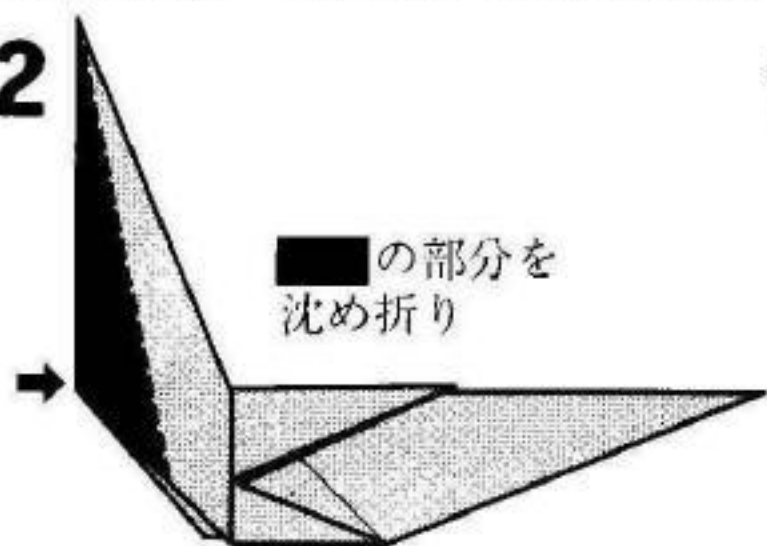
開くところ
で折り筋をつける

5



途中の図

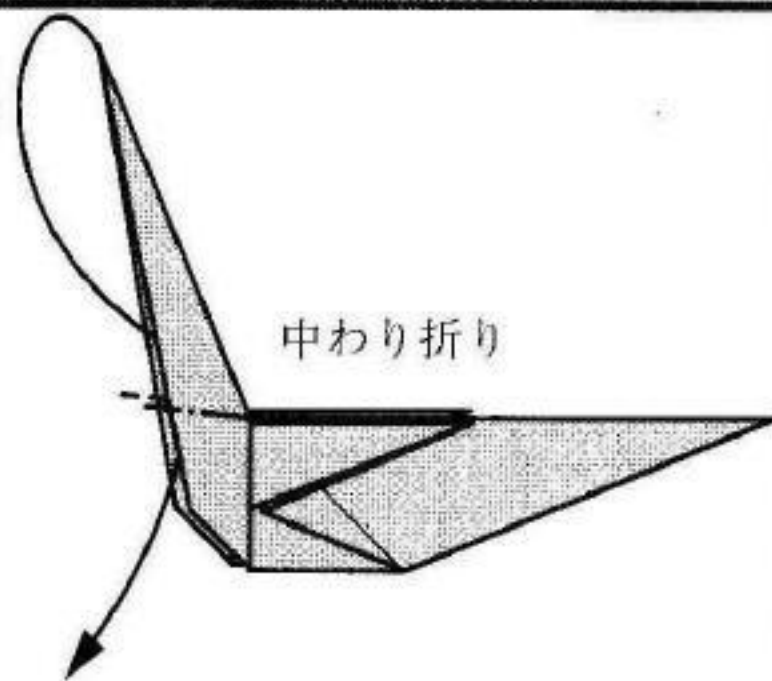
12



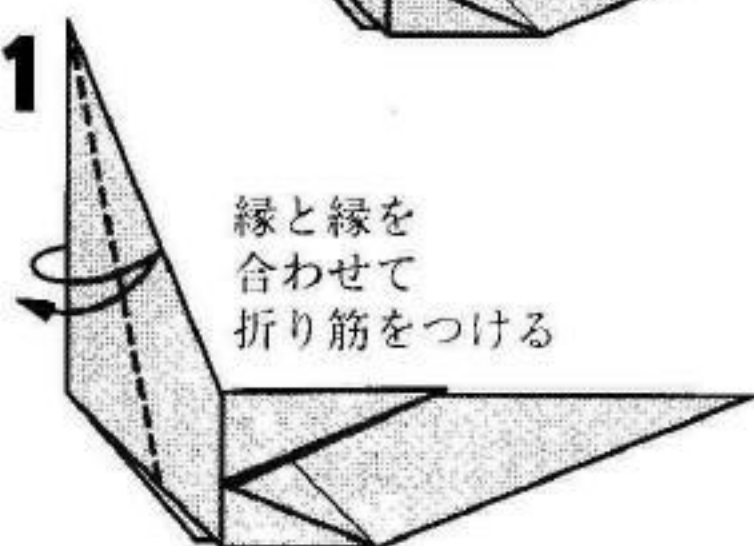
13



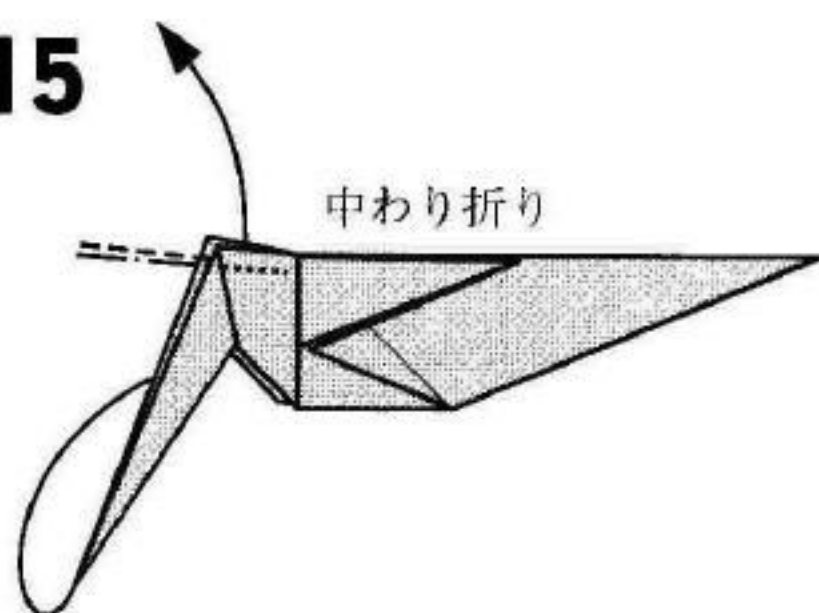
14



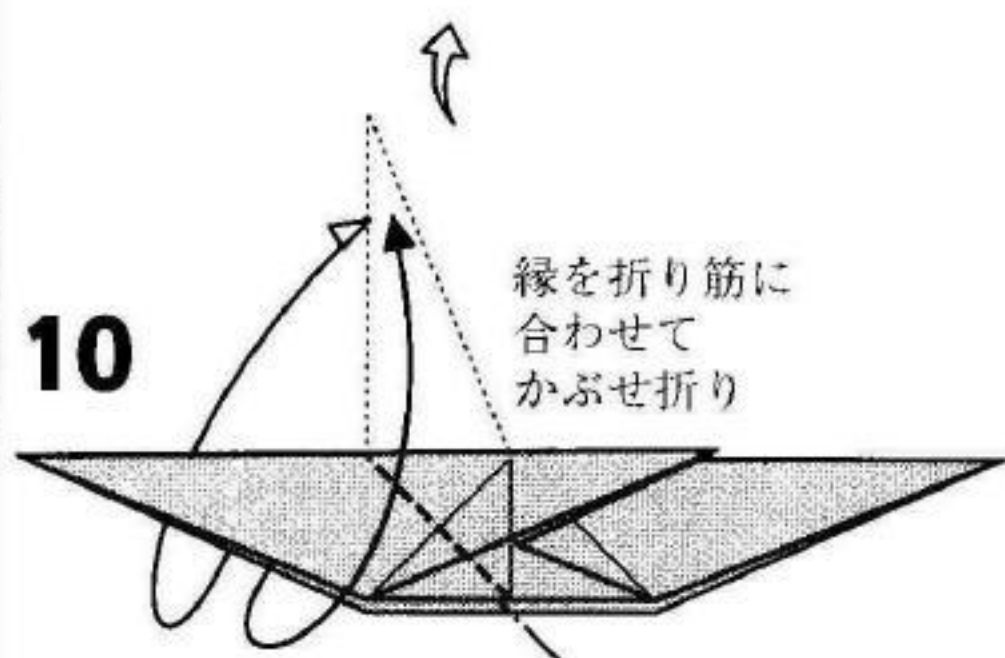
11



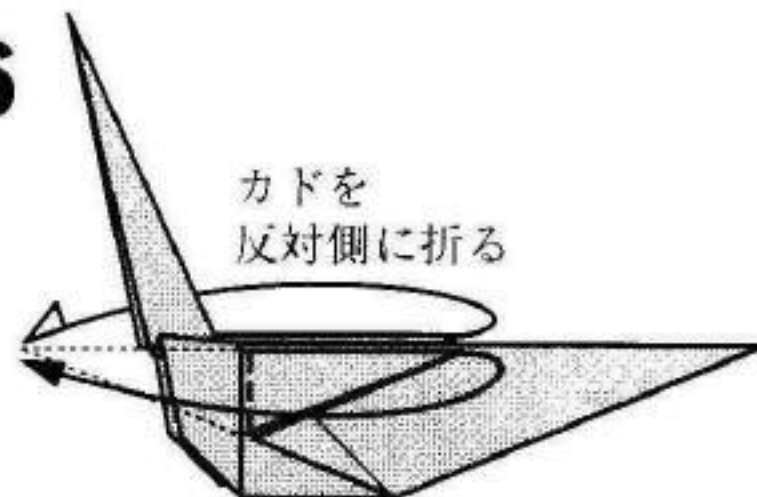
15



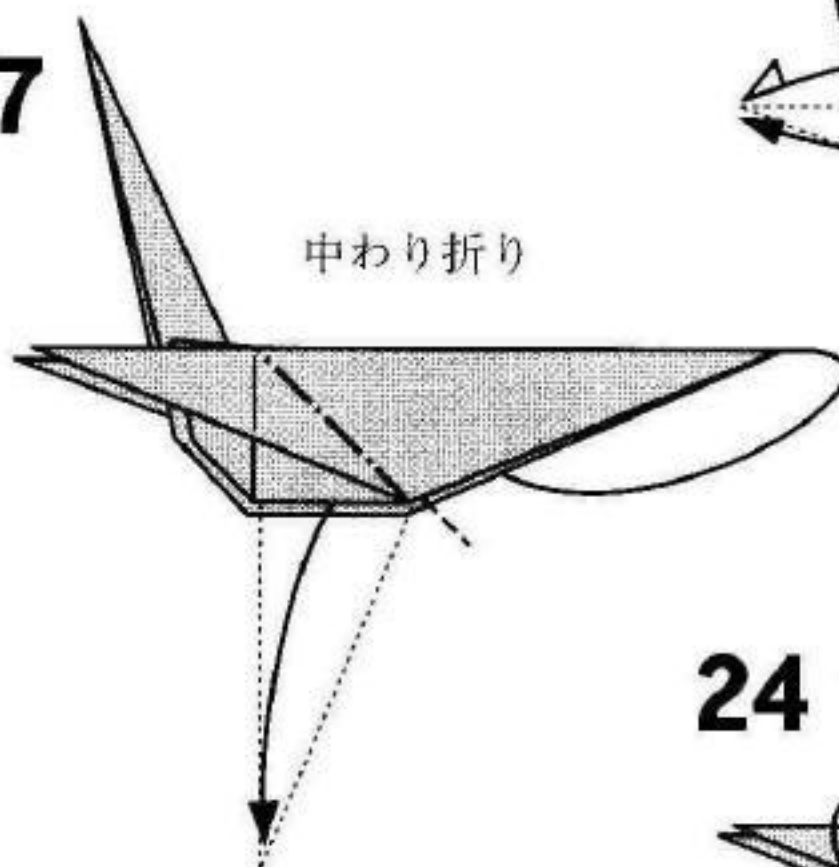
10



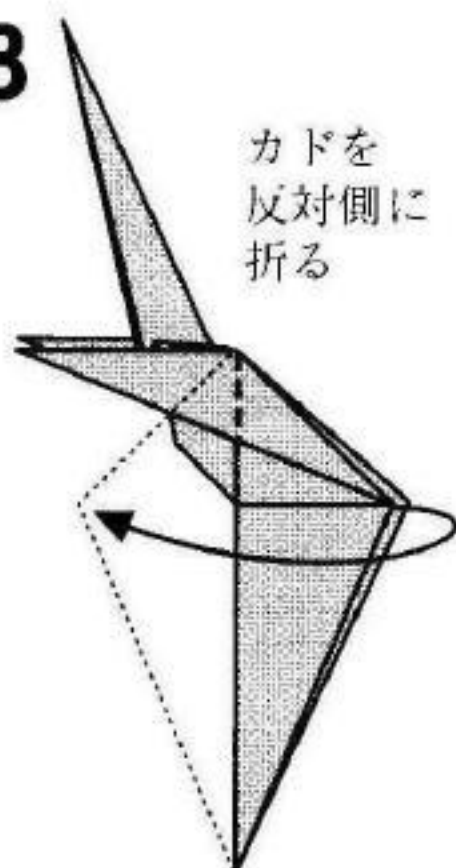
16



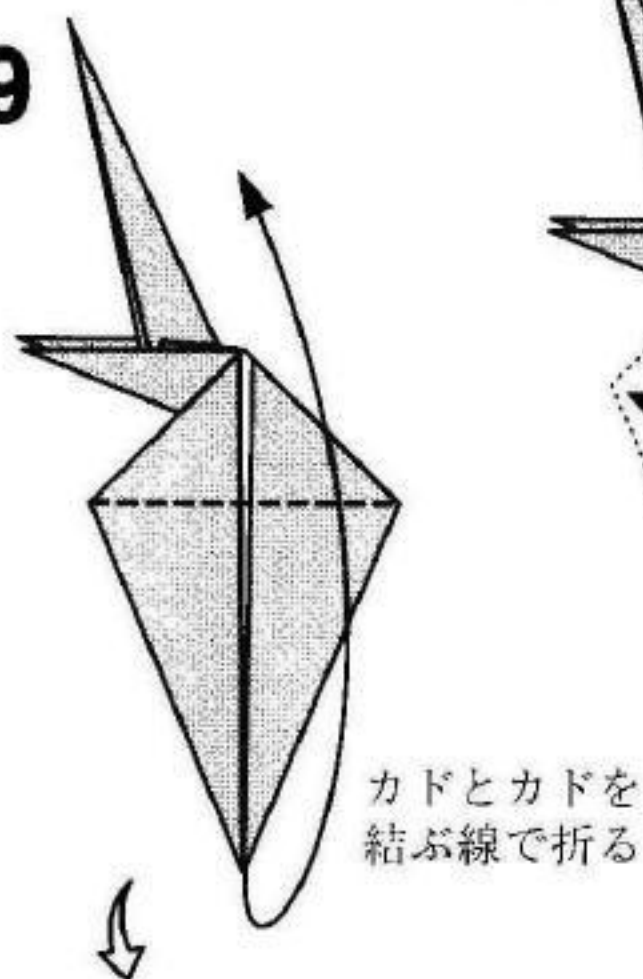
17



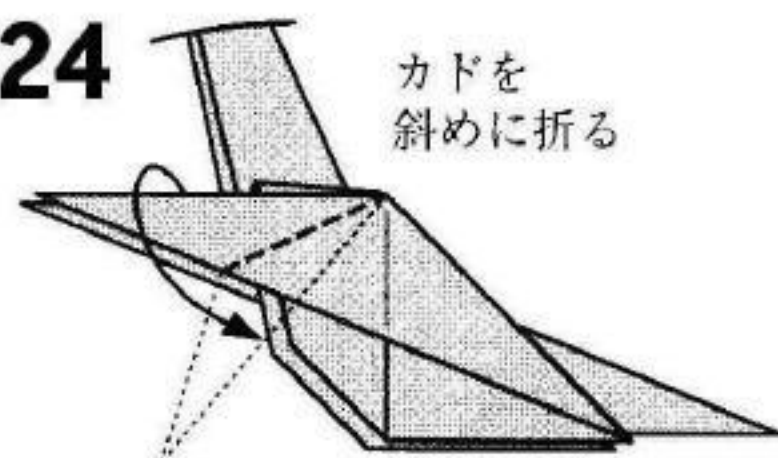
18



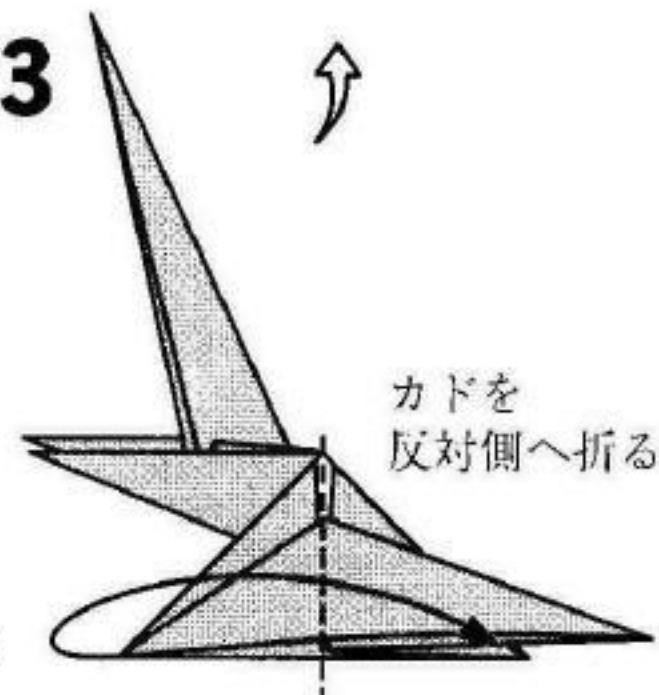
19



24



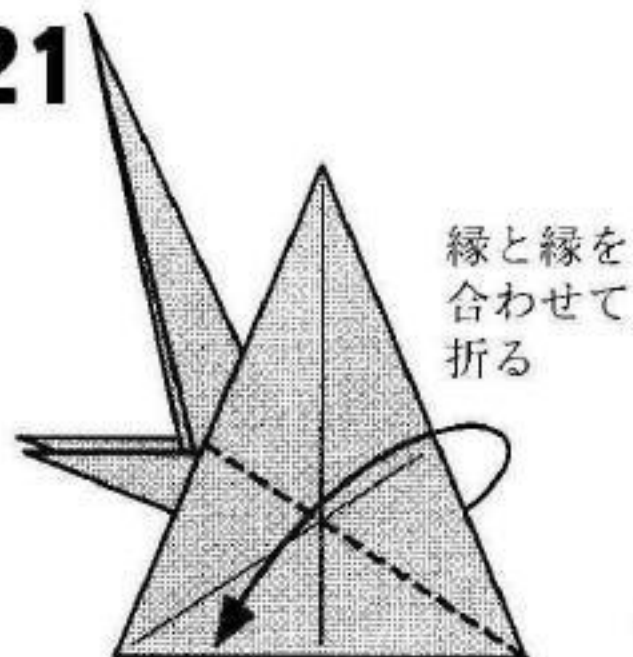
23



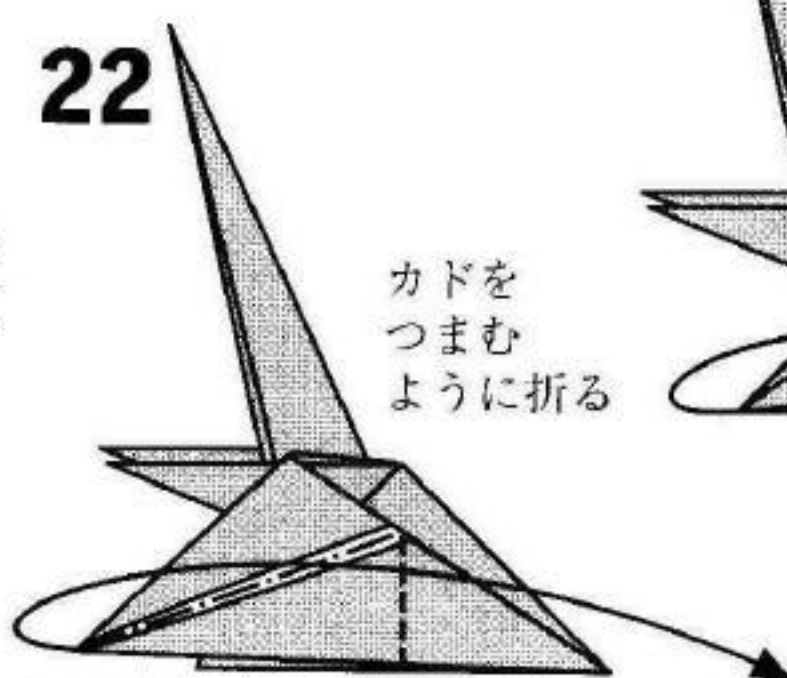
20

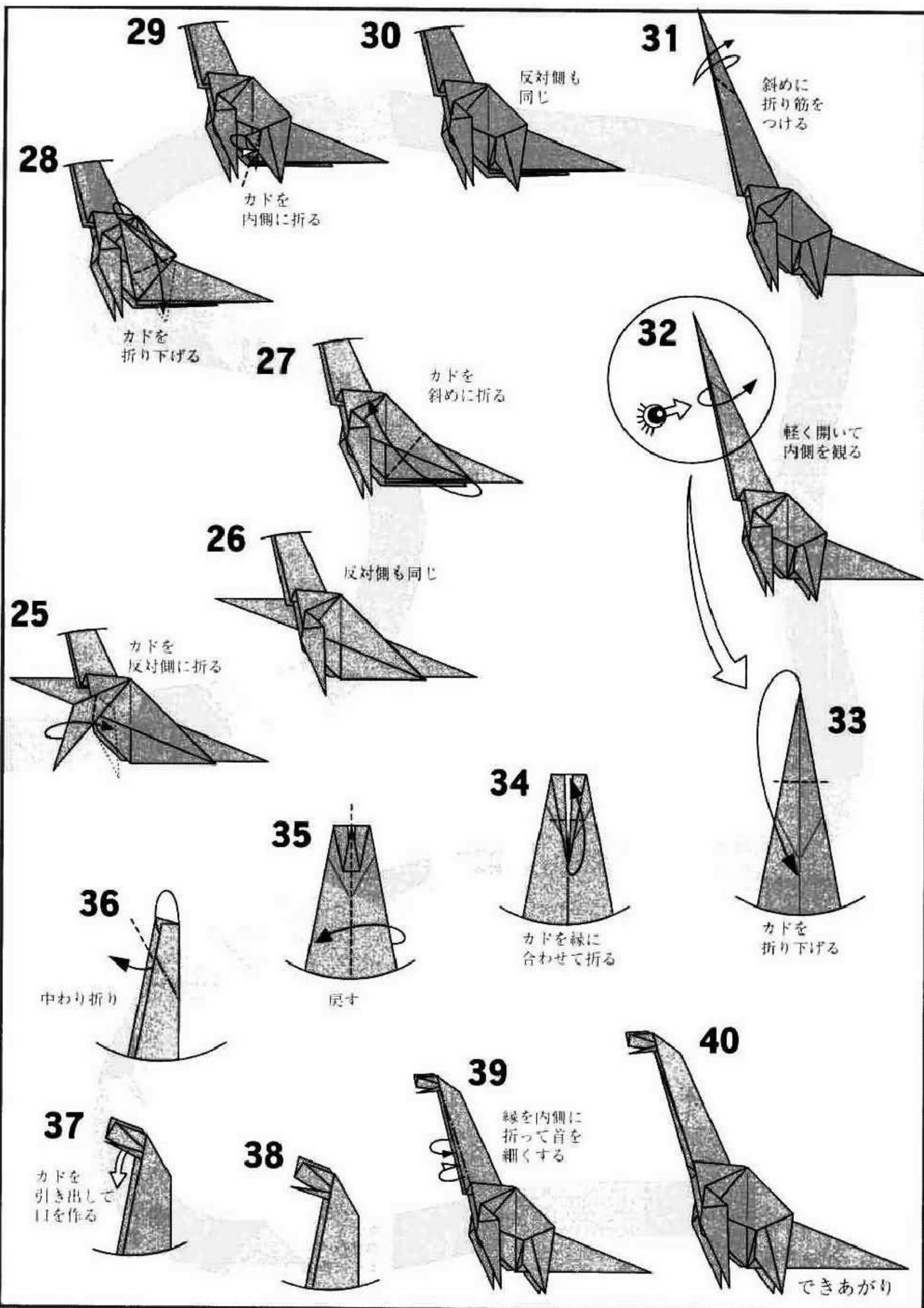


21



22





うさぎ

Rabbit

作・西川誠司

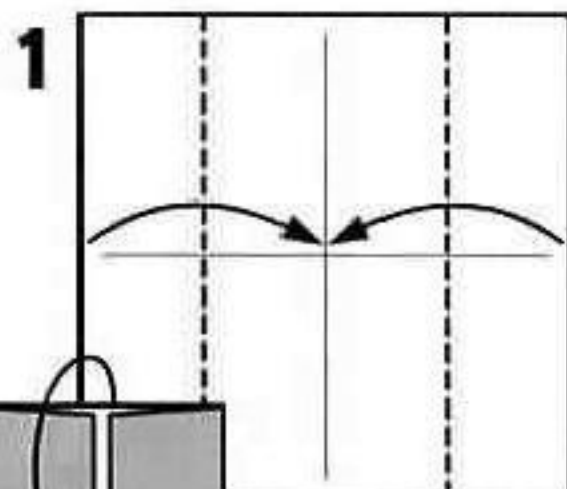
Model designed by Seiji Nishikawa

折り図・おりがみはうす

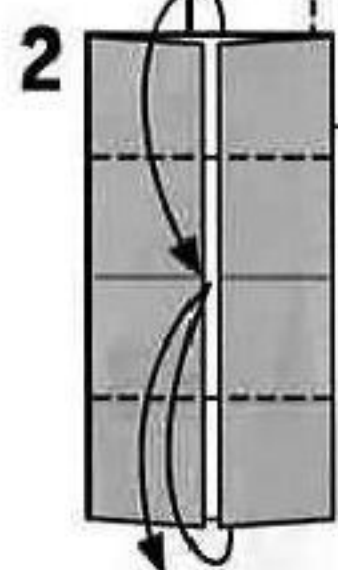
Diagrams Produced by ORIGAMI HOUSE

作者の言葉「ウサギ、カンガルーそしてパンダ（思い出の！）は、イラストチックな仕上がりを意識して創作した3部作と自分の中で位置付けています。今年の年賀状ではこのウサギに餅つきをさせました。」

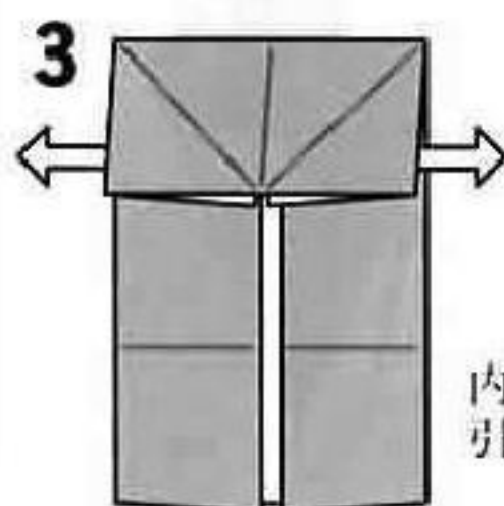
[体]



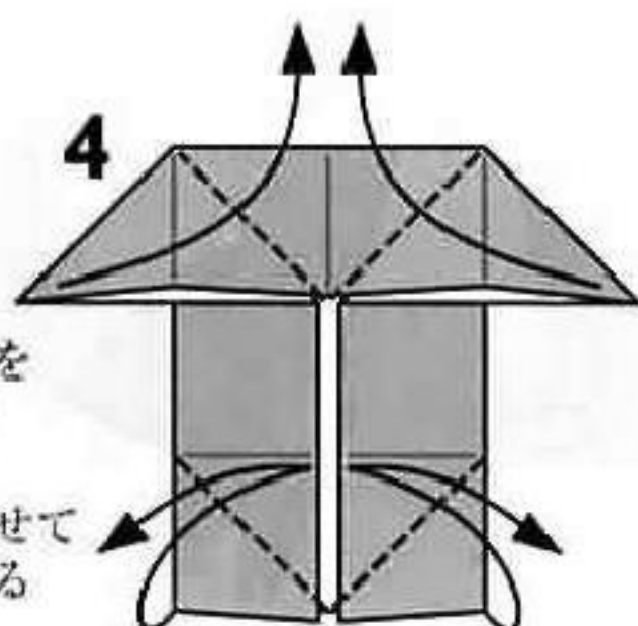
縁を中心に
合わせて折る



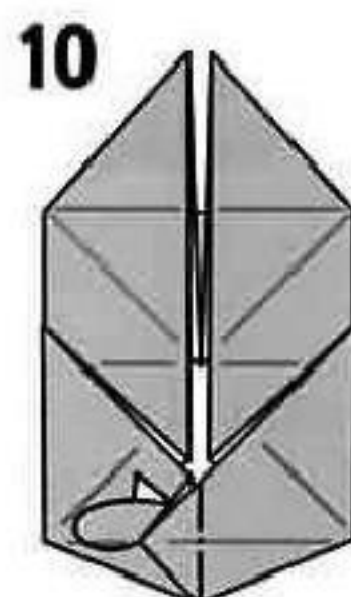
縁を折り筋に
合わせて
上半分は折って
下半分は
折り筋をつける



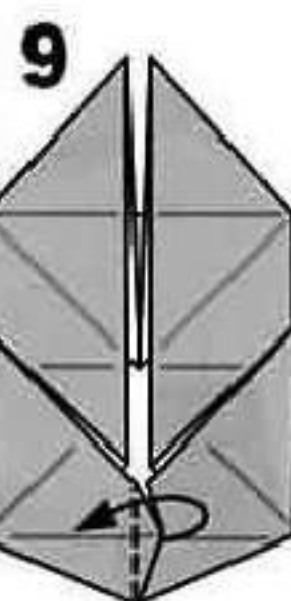
内側の部分を
引き出す



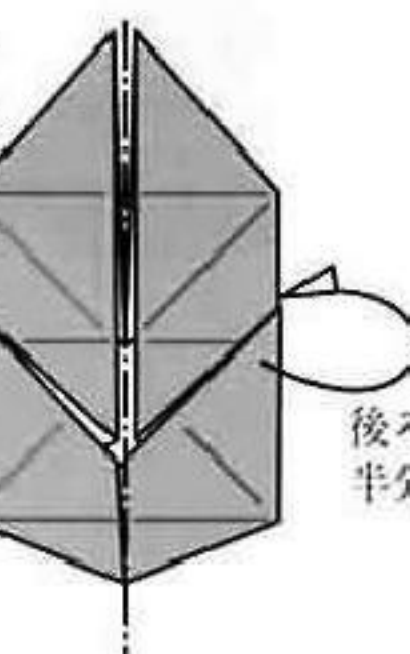
上半分はカドを
斜めに折って
下半分は縁を
折り筋に合わせて
折り筋をつける



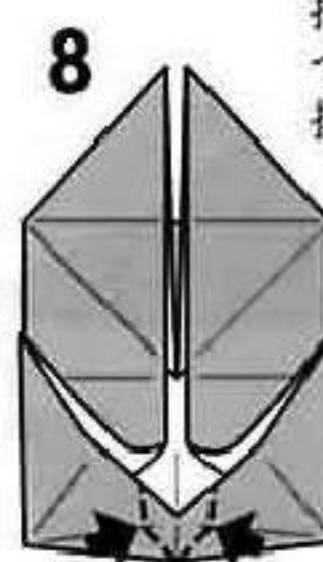
カドを
内側に折る



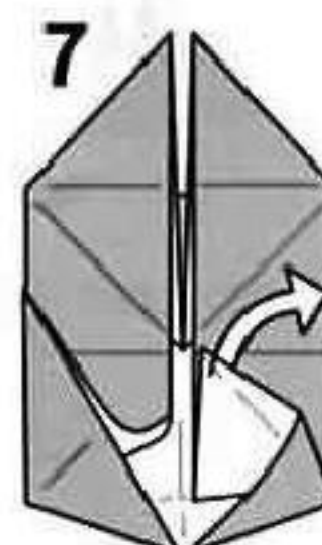
反対側に
折る



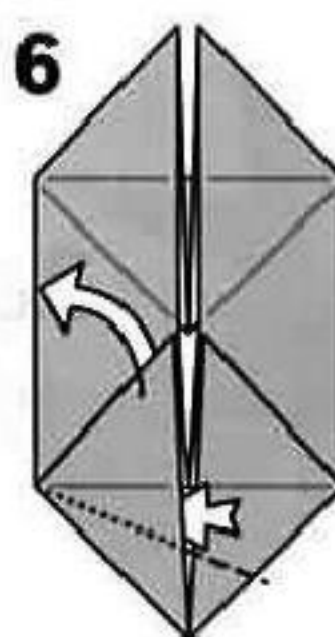
後ろへ
半分に折る



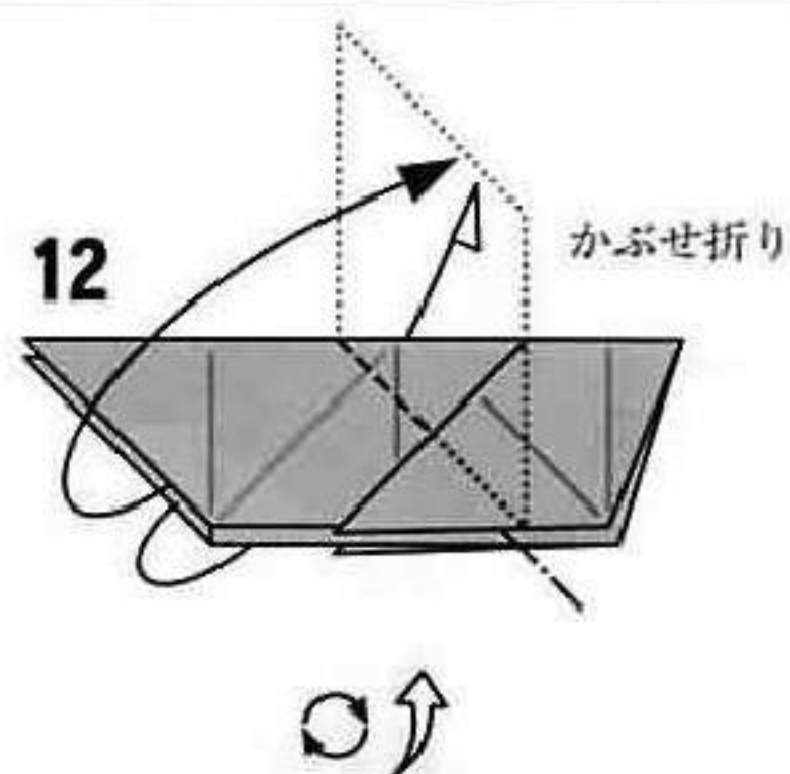
押しひろげて
つぶすように
折る



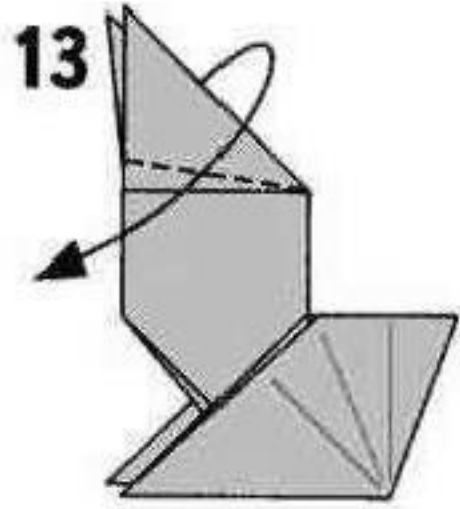
反対側も
同じ



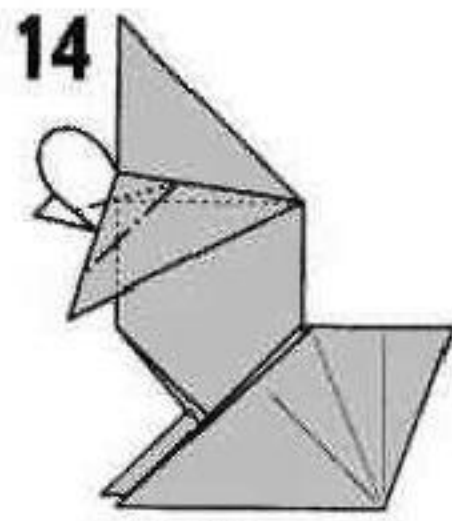
縁と縁を
合わせるように
ひろげる



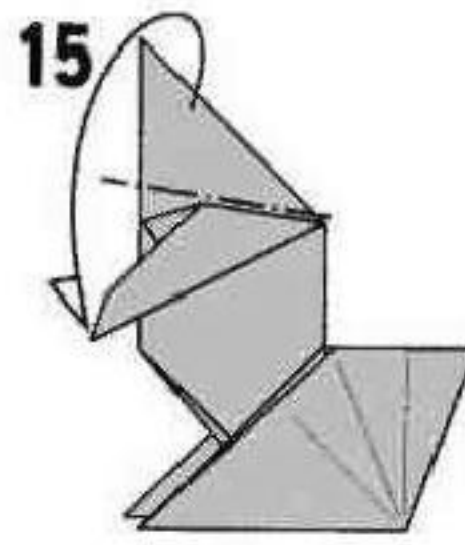
かぶせ折り



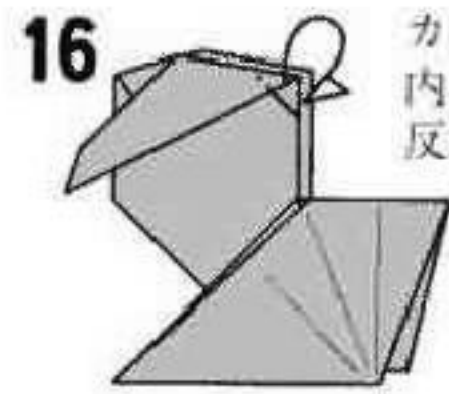
カドを
斜めに折る



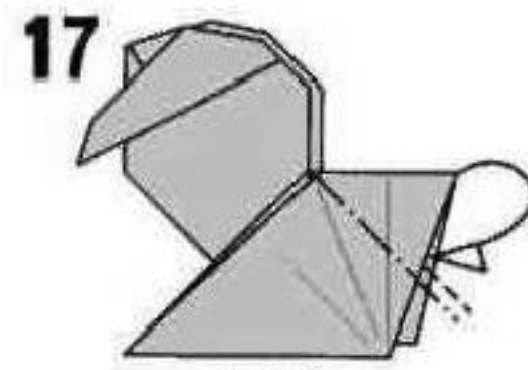
カドを
内側に折る



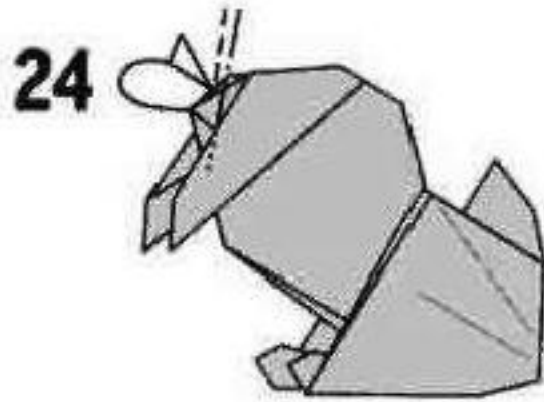
反対側も
15～16と同じ



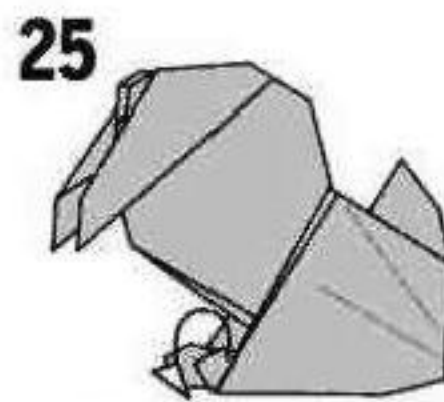
カドを
内側に折る
反対側も同じ



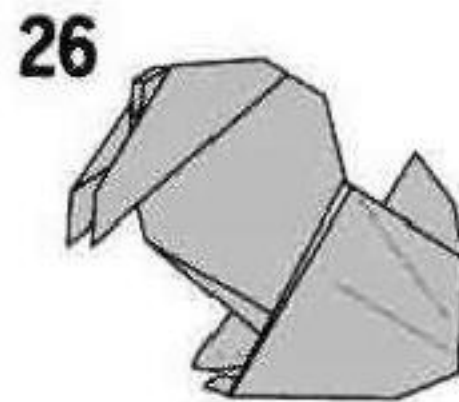
カドを
内側に折る



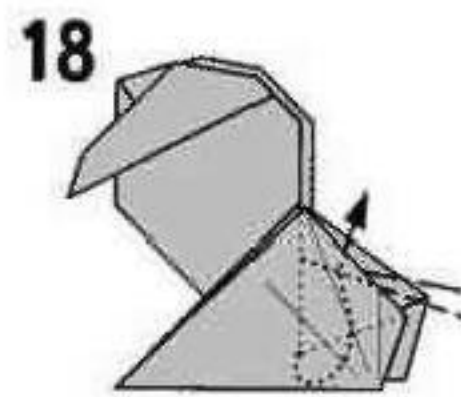
カドを
内側に折る



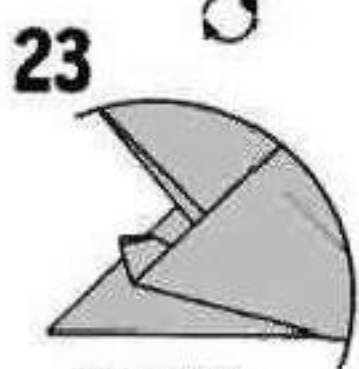
後ろ足の部分を
平にして
立たせる



[体]の
できあがり



内側のカドを
中わり折りして
少し立体的にする



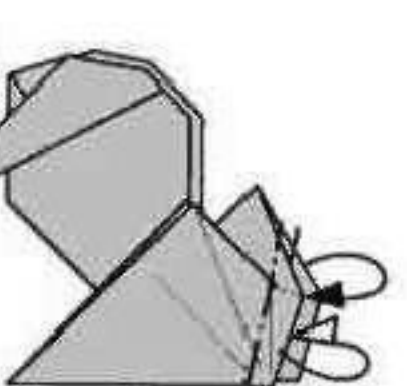
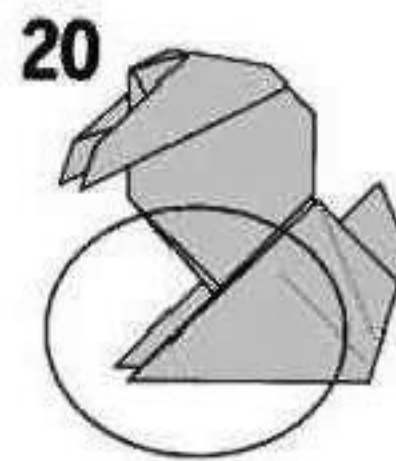
反対側も
23～24と同じ



カドを
内側に折る

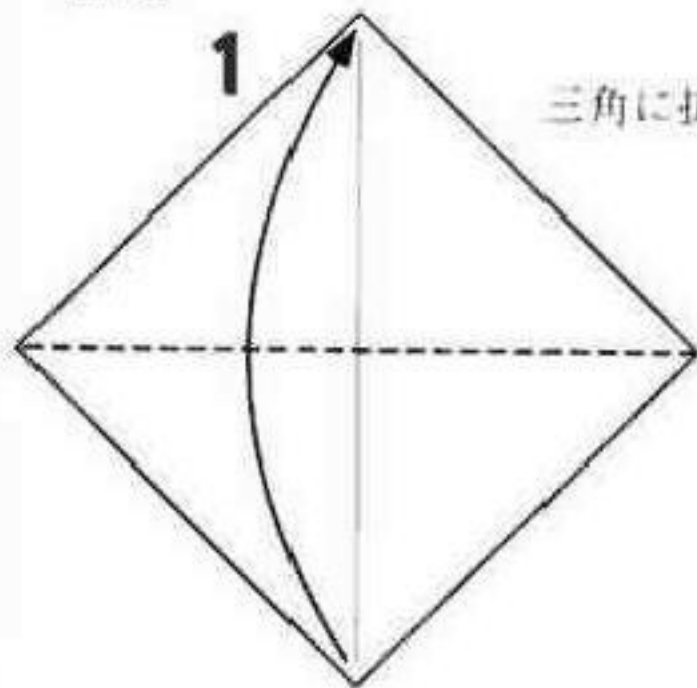


後ろへ
斜めに折る

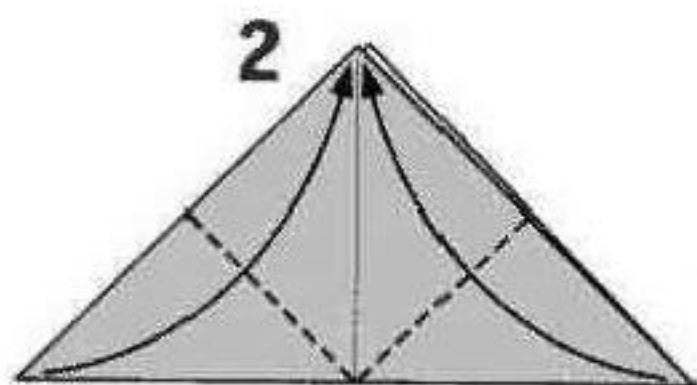


カドを
内側に折る

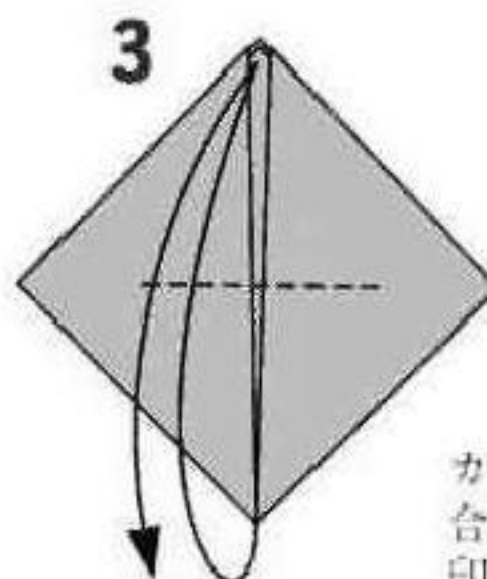
[頭]



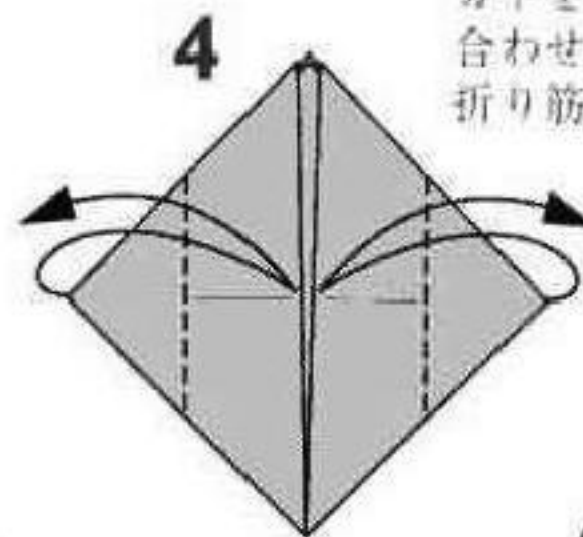
三角に折る



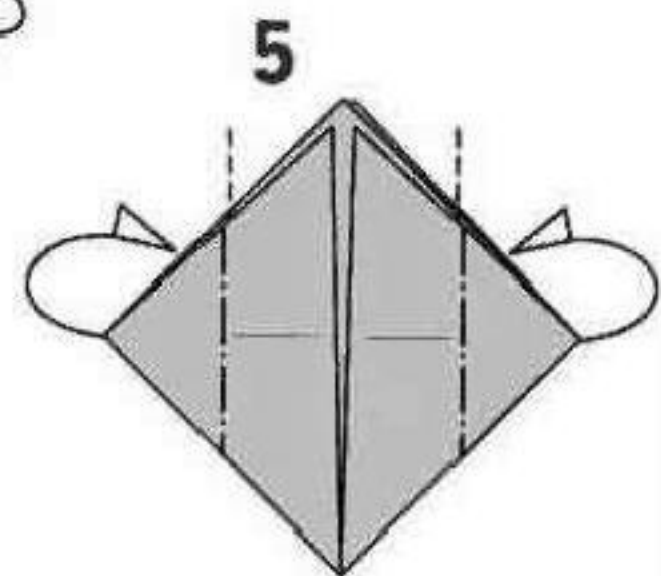
カドとカドを
合わせて折る



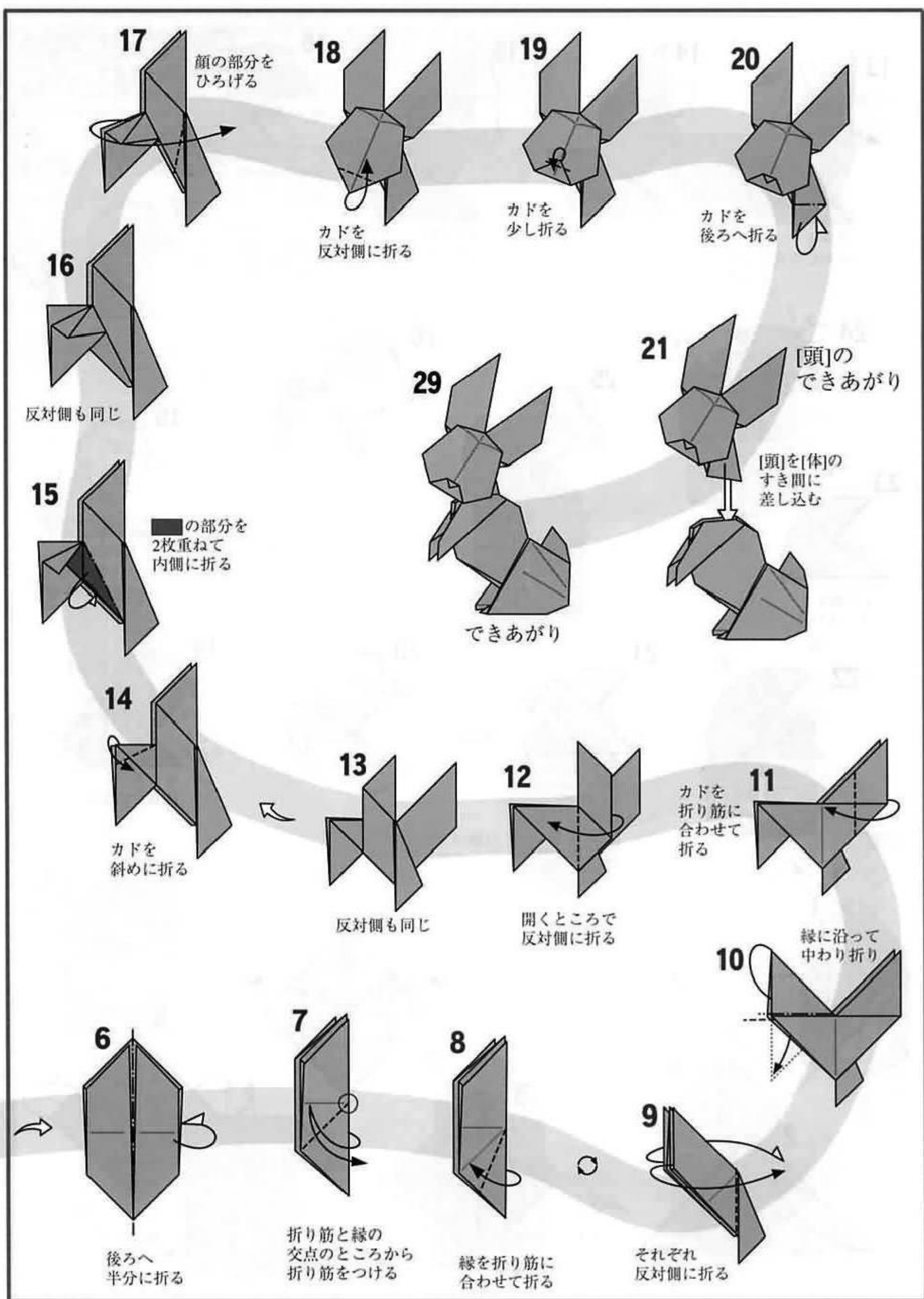
カドとカドを
合わせて
印をつける



カドを中心に
合わせて
折り筋をつける



カドを
内側に折る



神谷 哲史くんの

展開図折りに挑戦! Crease Pattern Challenge

第1回 Ancient Dragon

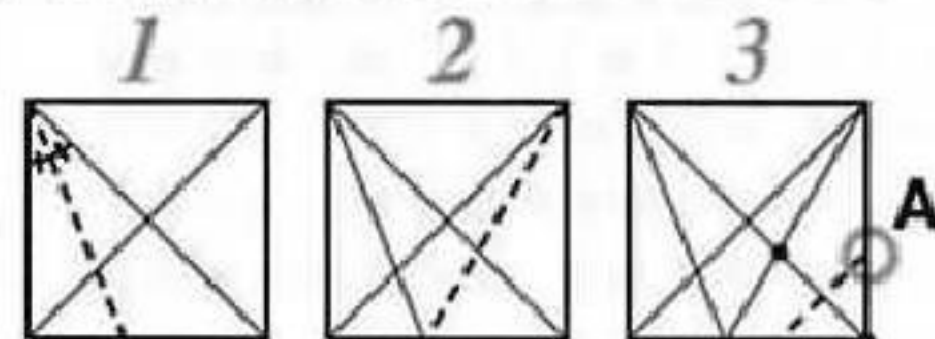
エンシェントドラゴン

“知名度が高く折図になりそうにないもの”をと言う事で、TVチャンピオンで使った竜“エンシェントドラゴン”です。展開図は意外とすっきりしています。

1 折り方ポイント

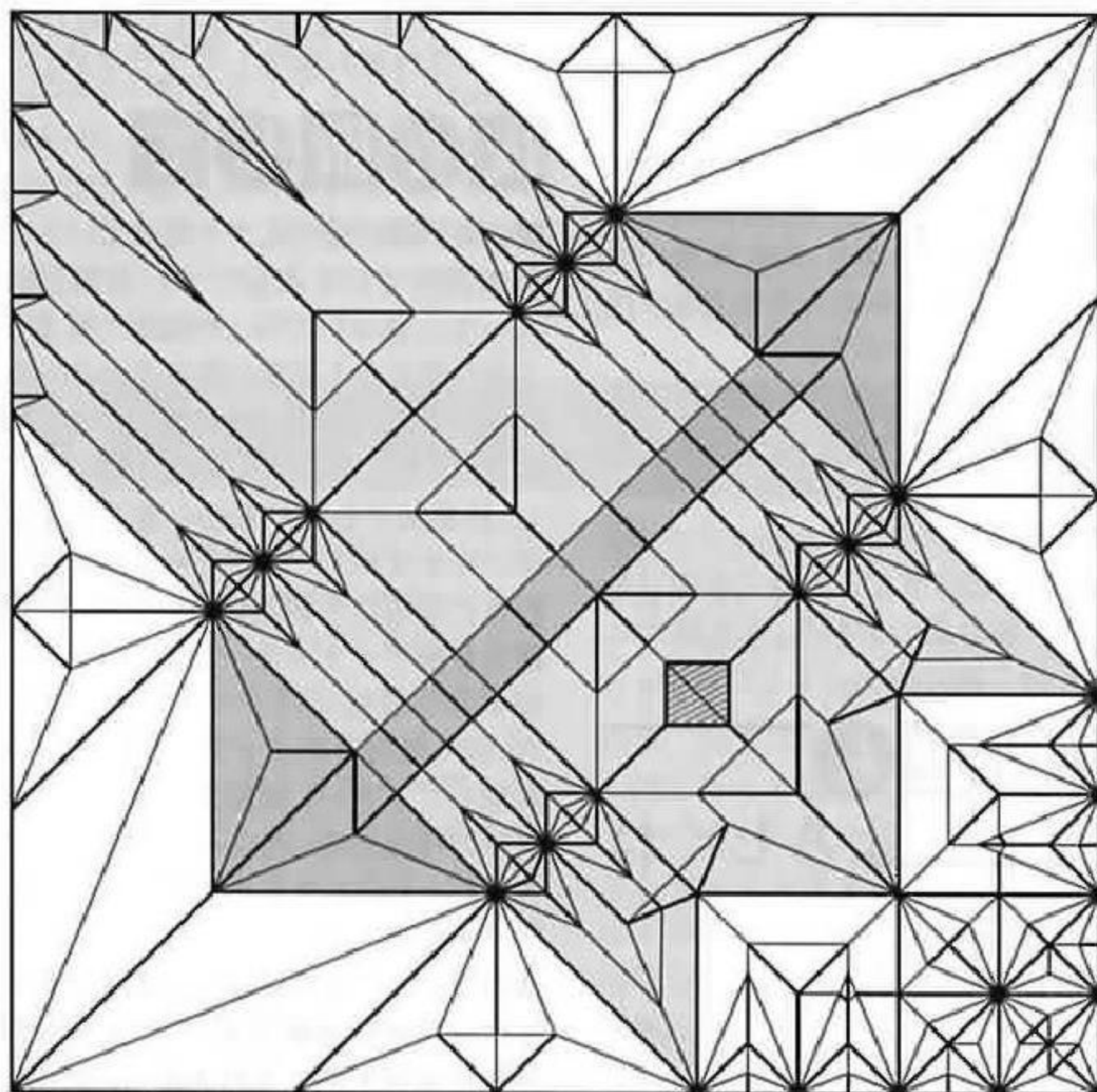
- まず、Aのポイントを折りだし、そこから線をつけていきます。
- 折る時は出来るだけ大きな紙を使って下さい。15cmで折るのはやめましょう。(笑)
- 色の濃い順に折ると、比較的折りやすいと思います。
- この作品は基本的には前後左右対称ですが、からんでいる部分があるので、注意して下さい。
- まん中あたりにある謎の四角(しまの部分)は“西川トラ”のような折りかたで首をのばしています。横の方で引っ掛かりますが、各自どうにかしましょう。
- 原作はさらにお腹にひだがつくのですが、今回は省略しました。どうしてもつけたいという酔狂な方は、自分で考えてみて下さい。ヒントは“はじめに折る鶴状の部分”です。
- 山谷が変な部分や線の足りない部分が多少あるかもしれませんが、気にしないで下さい。

2 A点の折りだし方



あっ、15cmでも角は出せた。でもこの後折り込める状態ではないので、おすすめはしません。

神谷 哲史
Satoshi Kamiya
創作：1999.01.13.
作図：1999.04.02.



—— 太い線・・・山 —— 細い線・・・谷



おたより大募集

折紙探偵団では、みなさんからの
お便りをお待ちしております。

求む、譲る、御意見御感想、前川さんの
折紙散歩へのネタ提供、などなど、あな
たのまわりの折紙情報をお寄せ下さい。

宛先 東京都文京区白山 1-33-8-216
ギャラリーおりがみはつす内
折紙探偵団編集部 〒113-0001

E-mail: webman@origami.gr.jp



日本折紙学会主催

折紙探偵団 10周年 記念大会

第5回 折紙探偵団 コンベンション情報

今年も夏が近づくとともに、探偵団のコンベンションも近づいてきました。今年
は探偵団結成10周年記念イベントとしての盛り上がりを見せていて、会期も3日
間開催となり、折り紙教室も充実。コンベンション折り図集はさらにページ数増
加か？未発表作品満載です。ますます見逃せない。折り図集ただいま制作中！

第5回

折紙探偵団コンベンション

会場：東京成徳短期大学
(東京都北区十条)

日程

8/20(金)12:00 受付、13:00～

17:00 吉野基金招待作家、国
内著名作家研究者の記念講演

8/21(土)10:00 受付、11:00～

17:00 折り紙教室、18:00～
懇親会

8/22(日)10:00 受付、11:00～

16:00 折り紙教室、16:15～
オークション、閉会式

上記の予定ですが、やむを得ない事情
により、予定が変更される場合もあり
ますのでご了承下さい。尚、参加費等
の詳細、申込み受付は次号でお知らせ
いたします。(初日の講演会のための参加
も可能。その場合、料金は初日参加費
のみとなります。)

■今年はなんと3日間の開催の予定。
初日は吉野基金招待海外作家、国内著
名作家、研究者の記念講演。幅広い研
究発表が期待できます。2日目、3日
目は折り紙教室。吉野基金招待作家は

もちろん、一般参加の海外折紙作家の
教室も予定されています。また、指導
作品もビギナーが安心して折れるもの
からマニア必見超難解ものまで難易度
を幅広く設定しています。幼児教育の
為の折り紙講座もあり、現在保育に携
わっている方やこれからその方面を目
指す方にもお勧めです。

開催中は、会場内に皆さん御自慢の作
品も展示されます。毎年レベルアップ
する作品群に今年も御期待ください。
ビギナーからプロフェッショナル、幼
児からお年寄りまでみんなで参加でき
るまさに折り紙のお祭り。3日間どっ
ぷりと折り紙に浸かってください。

懇親会も

よろしくね

■コンベンションときたら忘れちゃい
けない懇親会。

昨年ビンゴ大会や招待作家シェイ
ファー氏のパフォーマンスを上回る
ビッグイベントがあなたを待っていま
す。今年も海外からの招待作家はもち
ろん、探偵団常連メンバーは全員出席

するので、あこがれの作家とお話して
みたい人は絶対参加してください。

夜も徹して.....

■毎年異様な盛り上がりを見せているの
が宿泊所での2次会です。お風呂に
入って一息ついたら、大部屋に集まっ
て折り紙大会！昼間の教室でわからな
かったところを聞くもよし、ベテラン
オリガミアンに創作の極意を聞くもよ
し。初参加でも折り紙初心者でも遠慮
はいりません！一晩でもっと折り紙が
好きになること間違いなしです。

■折り紙アイテムオークション

毎年会の最後に行っているプログラ
ム。折り紙関連のグッズを持ってぜひ
参加して下さい。前回からは、作家手
折りの作品も多くなっています。前川
さんのためにレアな折り鶴アイテムを
持って参加しましょう。

■遠方の方で会期中宿泊を希望される
方はお早めご連絡下さい。文京区本郷
の日本旅館1泊2食付き8～8,500円、
朝食付きで6,000円位です。連泊可。そ
の他、気軽にお尋ね下さい。

◆「吉野一生基金」コンベンション招待者決まる

今年で 3回目

となる「吉野一生基金」による海外折り紙作家招待者が決まりました。今年は、折紙探偵団10周年記念第5回大会となる節目、海外招待作家も2名と大盤振る舞い。招待作家も特徴のある人が選ばれました。

■「吉野一生基金」は、「作品集」、「折紙探偵団新聞」、季刊「をる」、海外の折り紙コンベンションへの積極的な参加など常に若手のリーダー的存在であった吉野一生氏が、今から3年前の1996年8月に32才の若さで逝去されたことを偲び、2年前に若手の折紙作家の交流を目的とし設立された基金です。この基金は多くの方のご理解を頂き、支えられています。

■氏の才能と努力は、世界中の多くの折り紙愛好家の認めるところで、あまりにも早かった死は多くのファンを悲しませました。

■既に過去2回のコンベンションには吉野一生基金による招待者が訪れています。1回目の招待者は吉野さんと親交の厚かったイギリスのRick Beech氏。彼は折紙研究家として活躍しており、楽しい教室を展開してくれました。2回目の招待者はアメリカのJeremy Shafer氏。彼はジャグリングの大道芸人としての顔も持つ折り紙作家で、ユニークなモチーフ、動きのある作品と自身のパフォーマンスでコンベンションを大いに盛り上げてくれました。

今年のコンベンションは会結成10周年、コンベンション自体も第5回大会という記念大会になります。そこで今年は特別に一生基金による招待客を2名として、世界中に公募しました。その反応はこちらの予想を大きく上回るもので、最終選考でも7ヶ国、9人の候補者から選ばなければならませんでした。選考の結果選ばれたのは以下の2名です。

招待者2名

■イタリアのDavid Derudas氏(28歳)。イタリア折り紙協会(C.D.O)を中心に世に多くの作品を発表し、活躍している折り紙作家です。イギリス、フランスなどの折り紙協会とも交流を持ち、自らも折り紙のグループを主催しています。

■ロシアのYurii Shumakovs氏(42歳)。奥さんのKatrinさんと共に折り紙の創作活動をしており、多くの本を出版しています。心理学者でもある彼は折り紙を研究に取り入れているようです。共に初来日となる人物だけに、どのよ

うな出会いがあるかととても楽しみです。

■「吉野一生基金」は一口を1000円としていつでも受け付けています。一回の寄付で最大10口まで受け付けます。郵便振り込み口座は00190-3-727623。「吉野一生基金」宛です。

10期更新の際に寄付をして頂いた方々(敬称略)

笹田晋司、田尻芳子、河合良彦、藤原 具、堀江美香、中嶋孝志、森谷登喜男、園部誠司、新田百合子、木村哲夫、浅賀美恵子、新保貴志、齊藤 隆、伊藤 緑、釜島佑一、濱田隆幸、高井弘明、榎本京子、津田良夫、佐藤裕見子、吉村公明、嶋田浩一、伏見康治、齊藤征子、澤田やゑ、岩崎郁也、郷原利夫、丸山克己、中谷真司、北嶋那子、山口幸男、松田景吾、奥野嶺 樹、池田浩貴、黒川直子、山田重則、坂本和恵、三國啓子、橋高美保子、山崎美智子、立石浩一、牧野正博、初音みね子、寺澤慶子、池谷久美子、安藤賢司、福泉貴子、隅谷和夫、板東重子、島平恭江、千田則子、林 郁雄、瀬口三折、森 孝夫、渡部国明、橋奈都子、松浦英子、本位田那穂美、小松英夫、北條高史、小笹 一、綿田治紀、秋山一江、西川誠司、布施知子、岡村昌夫、西川直子、小花光広、山口天佐子、島村麗子、中西健一、吉野義也、坂口 久、内海一恵、徳岡敏子、浦上新吾、長田元子、横山清子、笠松 望、吉田圭介、安藤明子、福島邦幸、平館史子、川村みゆき、川上理子、山梨明子、竹林地俊人、橋田和志、加藤和子、石田佳教、大野依子、新田順子、田中陽子、伊藤美智子、大菅恵子、長畑郁子、苅谷雅人、田中稔憲、増田 旭、田中 純、島山久子、浜田 勇、川畑文昭、原崎はと子、世浪 健、田中正彦、山科節子、六島繁子、永田紀子、神谷哲史、高橋かづ、黒川紀男、木下 剛、舞木富貴子、鈴木美恵子、矢嶋和子、辰巳聡一郎、加藤万智子、善住雅子、石井静子、染谷淳一郎、佐藤仁誠、田村菜穂子、渡邊陽一郎、奥居恵子、田村清子、鈴木邦雄、稲葉 宏、前田 淳、阿部文子、岡島結子、河内浄介、稲田 均、山田勝久、渡辺 明瞭、坂本昭文、山本房子、和久敦也、上戸英二、山口 真(順不同)

◆待ってます、あなたの参加 探偵団例会に来ませんか

最近 参加人数が増えている月一回の例会。本誌の中だけだと前川さんや岡村さんには2ヶ月おきにしか会えませんが、例会に來れば毎月会うことができます。限られた人たちが來るところと思われがちですが、そんなことはありません。小学生から大学生、青年、中年、老年と様々な人たちが毎回40人程集まります。

■最初の2時間は折り紙教室。未発表の最新作を、作者本人が教えてくれます。その後は研究会。研究といっても堅苦しいことはやりません。各

自折り方の分かりにくかったところを隣の人に聞いたり、他の人が持ってきた新作をみんなで評価しあったりします。また、雑誌で見た折り紙の記事、街でみかけた折り紙ネタなども持ち寄って話に花を咲かせます。6～7時頃からは会場をうつして飲み会もやっています。(こちらは中学生以下参加不可となっていますので悪しからず。)

■地方に住んでいる方も、出張のついでに顔を出してみてもいかがでしょう？中には3ヶ月連続で名古屋から参加していた人もいます。2時

からずっといる必要はありません。好きな時間だけで大丈夫。ちょっとのぞいてみませんか？

日時…毎月最終土曜日午後2時から(6月は26日)

場所…文京区民会館内(会場は当日玄関の黒板に表示)

参加資格…折り紙が好きな人だれでも(会員、購読者である必要はありません。)

参加費用…無料

持ってくるもの…折り紙

※予約や参加申し込みなどは必要ありません。

◆折紙探偵団ホームページでの話題

関西で動きが

折紙探偵団

ホームページの掲示板で今、京都の新本さんが探偵団関西支部の結成を呼び掛けています。以下にその内容を抜粋して御紹介します。

■(01045) 99.04.08

久しぶりの書き込みです。4月になって、会社のクラブを申請する機会があったので「折り紙同好会」なるものを登録しました。とりあえず現在、社内の人集めに暗躍中です。探偵団の関西地方局の足がかりになればと密かにねらっているのですが・・・

■(01067) 99.04.23

以前、お話した社内「折り紙同好会」は16名の参加希望者がいたため、何とか同好会として成立することになりました。「折り紙」の良さを社内で言い続けて2年、社内でなんとか市民権を

得ることが出来ました。折り紙の素晴らしさを伝えるためにはまず自分が胸を張って「折り紙はすばらしい」ということが大切です。皆さんがんばりましょう。

■(01068) 99.04.23

探偵団関西支部を結成する気運が高まっています。ゴキブリは1匹見つけたら、家の中には10匹以上いると言います。書き込みでは3人以上の関西支部結成希望者がいるのですから、30人規模の希望者がいるはずですよ。この場で10以上の署名が集まれば一度どこかで集まりましょう！！

■以上がホームページの掲示板での呼び掛けです。これについて新本さんにその後の反響についてお聞きしたところ、次のようなお返事が返ってきました。「とりあえず取っ掛かりということで書き込んでみましたが、みんなの反応

があまり良くなかったので少し残念。『関西支部』の話は単なるおはなしではなく実現したいと思っており、ゆくゆくは例会が開催できるようになりたい・・・。インターネットでは、参加人数も少ないですし、話も詰めにくいと思うので、次は夏のコンベンションの時に声かけをして具体的な活動に出来ないかなと企んでいます。」

■コンベンションは1回目から参加しており、遠方からの参加の為に毎年折紙貯金を欠かせないという新本さん。探偵団関西支部結成は本気のようなのです。コンベンションまで待ちきれない、又は参加できないという関西周辺在住の方は下記まで御連絡を。

■〒613-0022 京都府久世郡久御山町市田新珠城238-2 新本祐一(しんもと ゆういち)

e-mail:shin@rbc.ncl.omron.co.jp

◆折ったり、教えたり一緒にいかがですかあじさい祭りで

折紙教室

■来る6月の12、13日(土、日)、19、20日(土、日)の2週に渡って、東京都文京区・白山神社で、「あじさい祭り」が行われます。

■今年で4回目を迎える「あじさい祭り」での折り紙教室。綺麗なあじさいの中での折り紙は、毎年多くの人に楽しまれています。教室と言ってもいつ入っても出ていってもいいという気楽なもので、今年も簡単なあじさいを折ってもらい、それをしおりに貼り付

けて持ち帰ってもらう、というのが内容です。材料費、受講料はなんとタダ。孫と楽しそうに折るおばあちゃん、出来を競い合うカップル、折り紙が珍しい小学生など、皆さん自分で折り上げた作品には愛着がわくのか、とても満足そうにしおりを持ち帰っています。

■あなたも自分で折ったあじさいのしおりを作ってみませんか？雨が降っても逆に引き立つこのお祭り。土曜日ならすぐ近くにあるおりがみはうすも開いています。御家族、お友達をお誘い

の上どうぞお越し下さい。

■折紙探偵団では、この折り紙教室のお手伝いをしていただける方を募集しています。折り紙が好きな人ならだれでも大歓迎です。折り紙仲間を増やしたいと思っている人はぜひ参加して下さい。連絡は03-5684-6080・折紙探偵団編集部まで。

■白山神社・・・都営三田線白山駅下車。A2出口を出て徒歩2分。

編集後記

■日本折紙学会になり、緊張感ある中で編集した今号。予定どおりにお届けすることができてホッとした。●更新手続きのお便り中に、「新装おめでとう」という言葉が多かった。中にはこんな価格でやっていけるのかと、心配して下さるお便りも多く、ありがたそう。将来的には不安だが、可能な限り現状を維持していきたいと思っています。●周囲から「思いつきの山さん」といわれています。何でも思いつきで行動しているように思われていますが、実はそのとおりなんです。しかし、その思いつきを思いつきだけで終わらないように努力はしています。(もともと探偵団も思いつきではじまった)今後も思いつきの山さんで頑張ります。(Y.M)

■「選ばれし者の不安と恍惚、二つ我にあり」とい

うのは言い過ぎですが、折り紙の世界に新しい一歩を記すこの雑誌の編集に携われることを喜ばしく思っています。皆様の期待に応えるようがんばりたいと思います。(T.A)

■初めての編集作業なので、毎日ドキドキでした。これからもドキドキは続くのでしょうか？続かないということは次号が出ないということなので、ずっとドキドキしていきなさいかねえですね。がんばります。(M.E)

■編集作業の間中、色々な意味でドキドキの連続でした。本誌を通して、より多くの折り紙好きの方が満足していただけたら、そして折り紙界の新しい息吹を感じてもらえたら・・・私のささやかな願いです。(H.T)

折紙探偵団

1999年5月25日発行

第10巻1号通巻55号

発行所/日本折紙学会

〒113-0001

東京都文京区白山1-33-8-216

Phone 03-5684-6080

発行人/西川誠司

編集人/山口 真

編集スタッフ/田尻敦士、松浦英子、

濱田隆幸

折り図制作・デザイン/おりがみはうす

発売/おりがみはうす

定価 500 円

■ORIGAMITANTEIDAN / No.55 / Published on 25, May 1999 by Japan Origami Academic Society, 1-33-8-216 Hakusan Bunkyo-ku 113-0001 Tokyo JAPAN / Cover Photo: "Odd number point box" Produced by Fuse Tomoko Photographed by Sato Hitoshi / publisher: Nishikawa Seiji / Editor in Chief Yamaguchi Makoto / Editor: Tajiri Atushi, Matuura Eiko, Hamada Takayuki / Editorial Design: ORIGAMI HOUSE

◇折紙探偵団 年間購読者募集中◇

日本折紙学会では、「折紙探偵団」の定期購読者を随時受け付けております。

必要事項をご記入の上、購読料金を郵便振替または現金書留にて下記宛先までお送り下さい。

必要記入事項	1.住所／2.氏名／3.電話番号・FAX番号／4.職業／5.性別／6.生年月日 ●1～3は必ずお書き下さい。●名前にはふりがなをつけて下さい。 ●郵便振替をご利用の際には、振替用紙の「通信欄」にご記入下さい。●E-Mailアドレスをお持ちの場合は、そちらもご記入下さい。				
年間定期購読料金	3,000円(送料込)	郵便振替口座番号	00180-8-579860	郵便振替口座名	折紙探偵団
宛先	日本折紙学会 事務局 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216 TEL・FAX:03-5684-6080				

折紙探偵団URL <http://www.origami.gr.jp/>

※期(5月～4月)の途中からのお申し込みでも、1期分は全て発送致します。

会員パスワードはPyramid(大文字・小文字区別)です。

◇会員募集のお知らせ◇

日本折紙学会では、ただ今会員(折紙探偵団新聞54号で賛助会員と呼んでいたもの)を募集しています。本会は、本誌の冒頭にも述べましたように、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびにそれらを通しての広く国内、外の折紙愛好家との交流の促進を目的としております。会の理念に賛同していただける方をお待ちしております。

申し込み方法

上記宛先に「折紙学会入会希望」と明記し、年間会費5,000円を郵便振り替え又は現金書留でお送り下さい。

※「日本折紙学会」の詳細な規約につきましては、現在、草案を作成中であり、年内には誌上でお知らせできると存じます。

I ♥ ORIGAMI — おりがみはうす ガレージブックス —

おすすめ!

折り紙色紙百花 田中具子・著 山口 真・編 — 女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル。 —
B-5判/120ページ/カラー口絵8ページ/定価2,500円(税込)送料390円(梱包込)

面~The Mask~ 布施知子・著 山口 真・編 — 作者がまだユニット折り紙に出会う前の情熱の作品群 —
B-5判/200ページ/全27作品カラー写真紹介/定価3,300円(税込)/送料430円(梱包込)

好評発売中

空想おりがみ 川畑文昭・著
B-5判180ページ カラー口絵4ページ
定価2,600円(税込)送料430円(梱包込)

一生おりがみ 吉野一生 著
B-5判200ページ カラー口絵8ページ
定価2,900円(税込)送料430円(梱包込)

ティラノサウルス全身骨格折り図
B-5判 76ページ 吉野一生 著
定価1,545円(税込)送料380円(梱包込)

折紙探偵団コンベンション折り図集

第2回 B-5判120ページ
定価1,000円(税込)送料380円(梱包込)

第3回 B-5判144ページ
定価1,000円(税込)送料380円(梱包込)

第4回 B-5判192ページ
定価1,500円(税込)送料380円(梱包込)

はうすオリジナル 折り紙専用和紙

**和紙両面
おりがみ** 2枚の民芸紙を貼り合わせて作りました。
作品づくりの幅が広がる逸品です。
サイズ/30cm×30cm 5色調/20枚入り 定価1,350円
送料:1セット/390円, 2セット/580円, 3~4セット/700円

※上記商品の見本をお分けしています。御希望の方は80円切手を同封の上、下記宛先まで御連絡下さい。

**手漉き手染め
越前和紙** 折り紙色紙百花用「はな」
紙の手触りはもとより、何ともいえないほかし染めの味は、
田中作品に使うことで100%の実力を発揮します。
定価2,500円(税別)送料300円(梱包込)

新刊予告

折紙図鑑シリーズ

「昆虫」 川畑文昭、西川誠司、北條高史、前川 淳、目黒俊幸 共著
世界で一番難しいおりがみの本。(99年夏発売予定・価格未定)

「犬」 佐野康博・著 犬おりがみ第一人者の作品集。

西川誠司折り紙作品集 西川誠司 著

西川氏の初めての本。魅力溢れる作品群を丁寧な折図でお届けします。



ギャラリー **おりがみはうす**

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216

TEL:(03) 5684-6040

URL <http://www.remus.dti.ne.jp/~origamih/>

●申し込みは、郵便振替か現金書留でお願いします。

郵便振替番号 **00120-9-715400**

加入者名 **おりがみはうす**

■複数商品ご注文の際は送料など電話でお問い合わせください。

可能性の海を求め 折り紙は、一滴の水であれ



緩やかに流れる川を見ていると、
穏やかな気分になるものです。
ふと、視線を川とともに下流に向けたとき大河を想像し、
あらゆる生命の源でもある、海を連想するでしょう。
トーヨーの折り紙は、
様々な可能性の海の源である、
水の一滴一滴であり続けたいと考えています。

株式会社トーヨー

本社 〒120-0022 東京都足立区柳原1-35-4 TEL 03-3882-8161
大阪支店/名古屋営業所/札幌営業所/広島営業所/福岡営業所